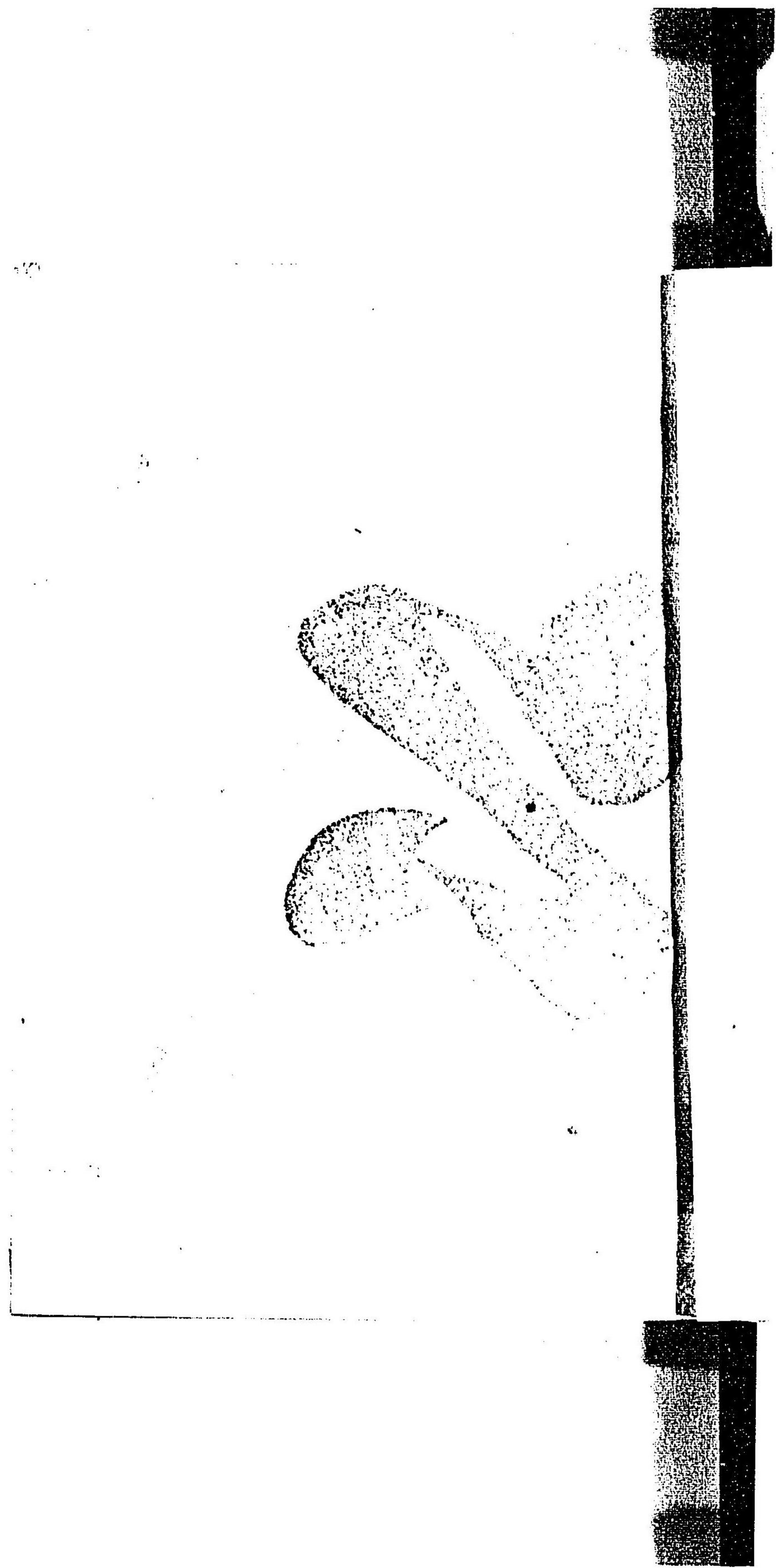


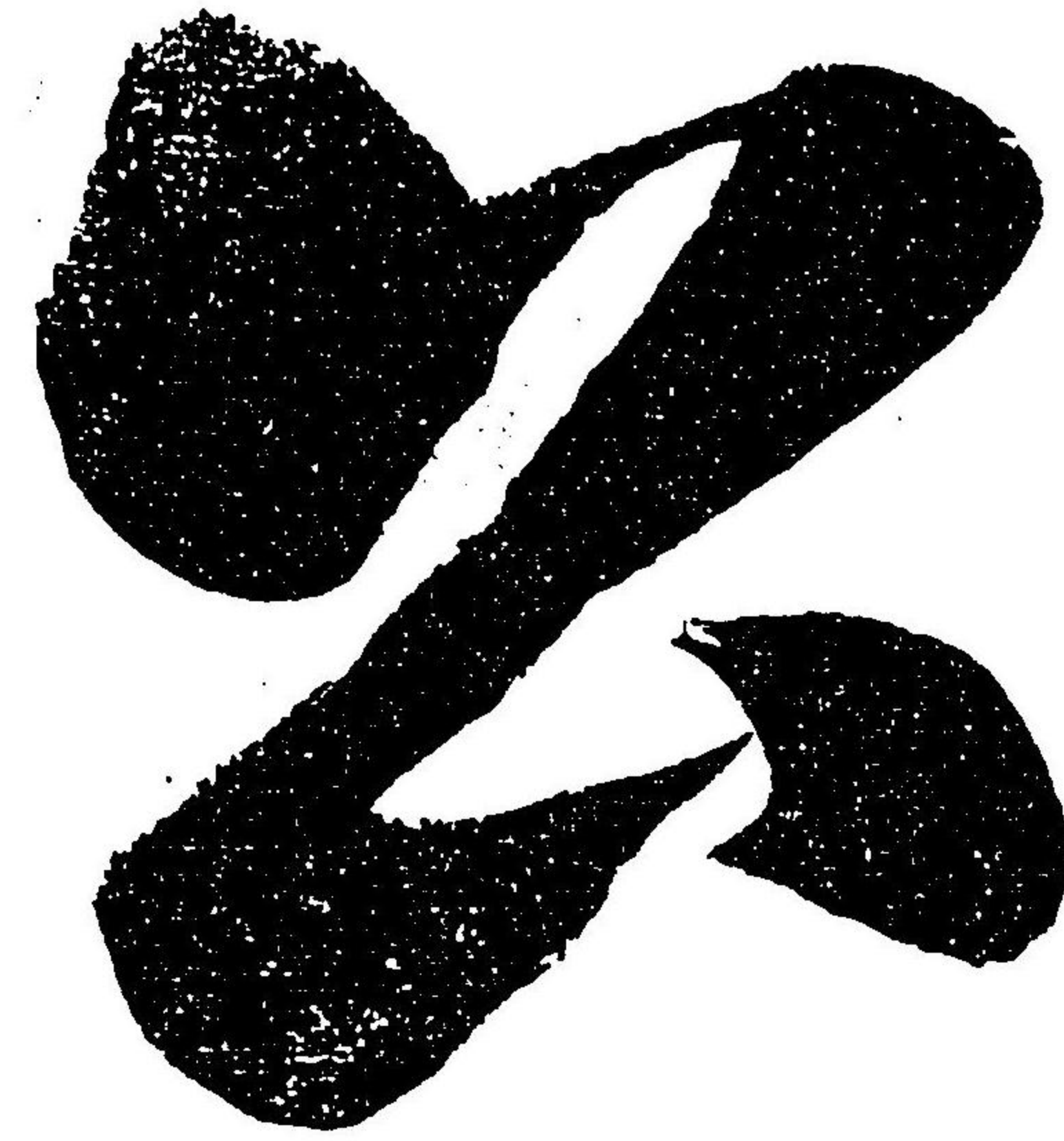
特61 464

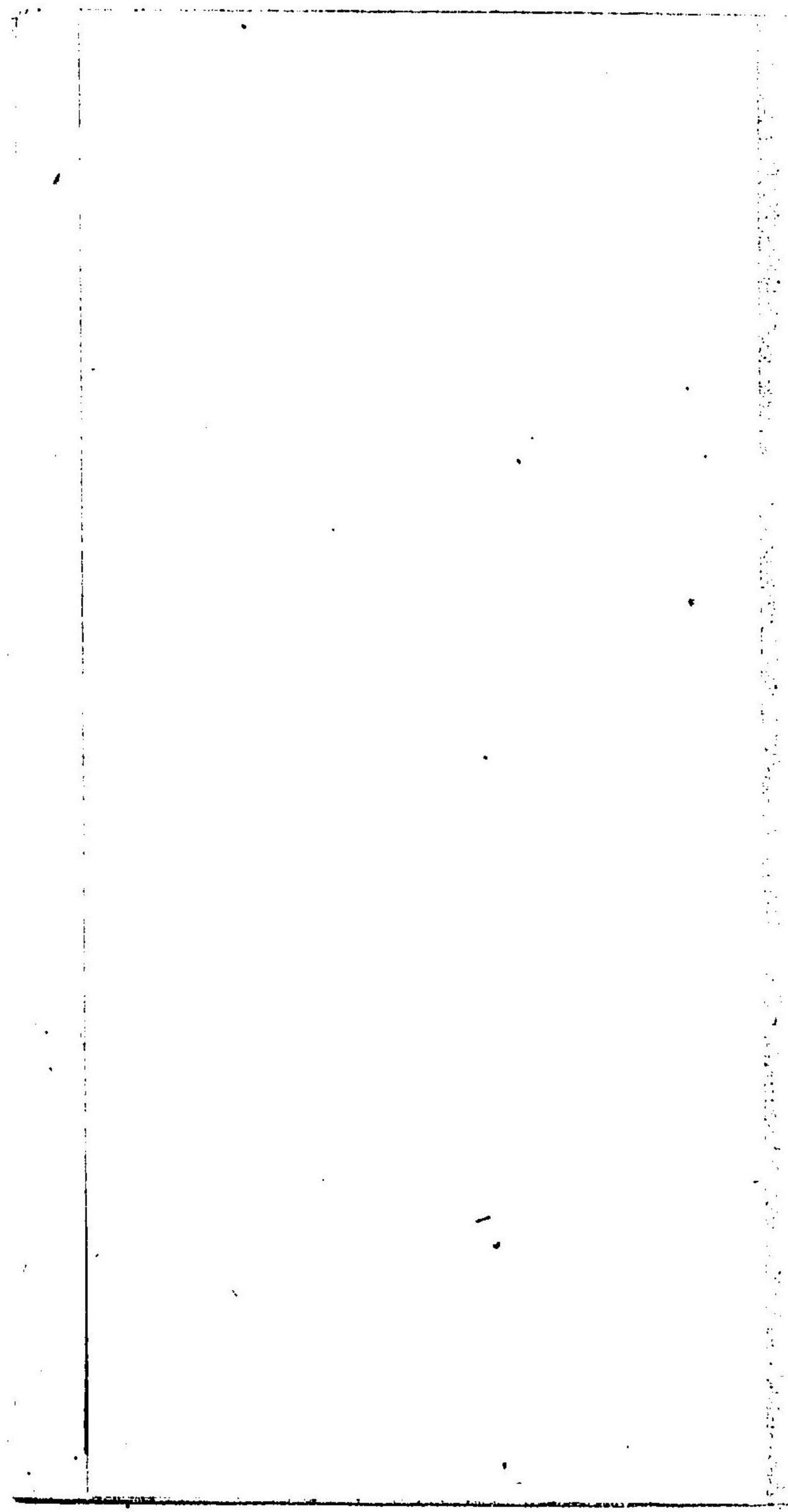
陸軍省藏板

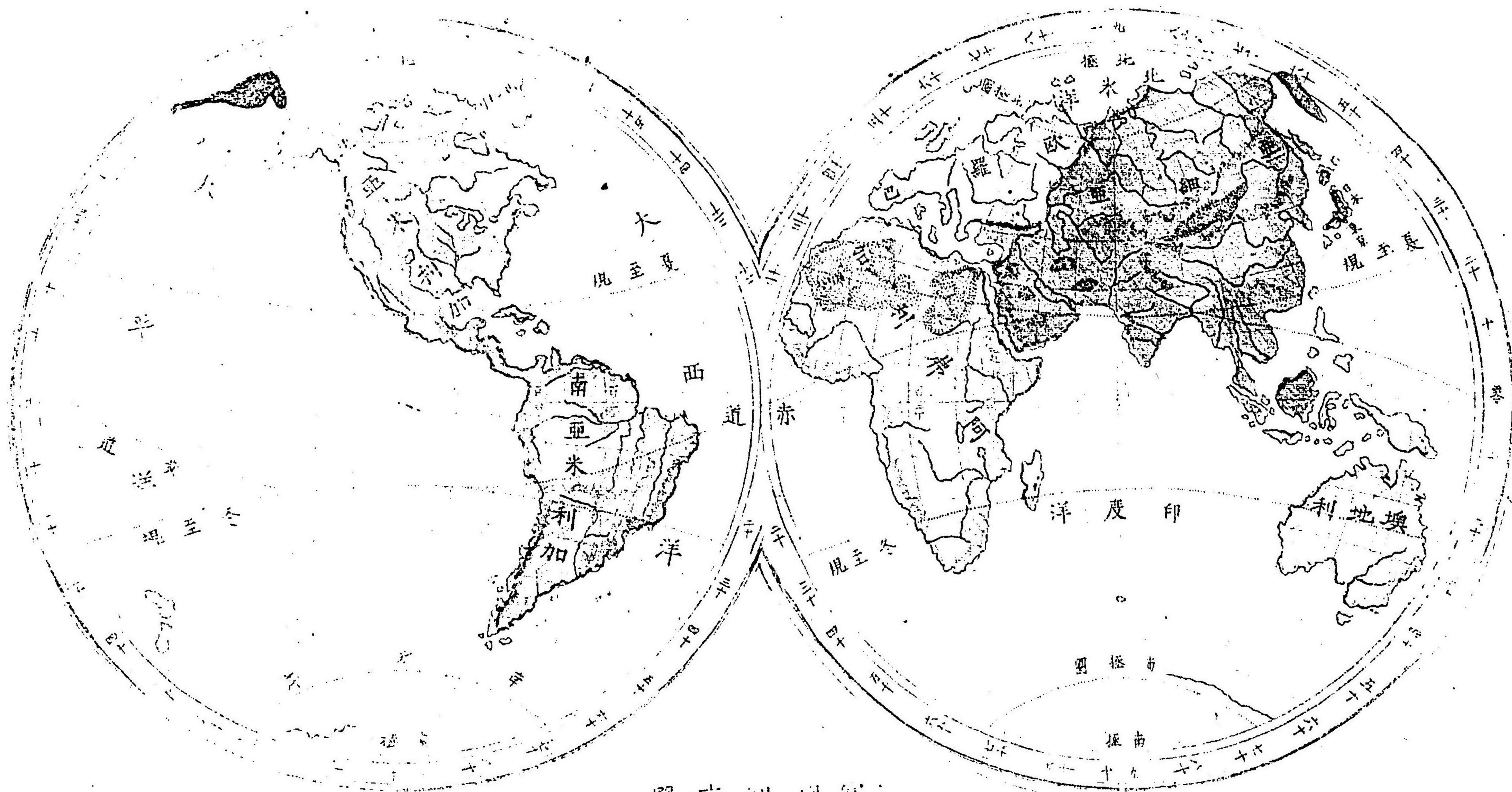
訂改  
兵要日本地理小誌

書林 文金堂



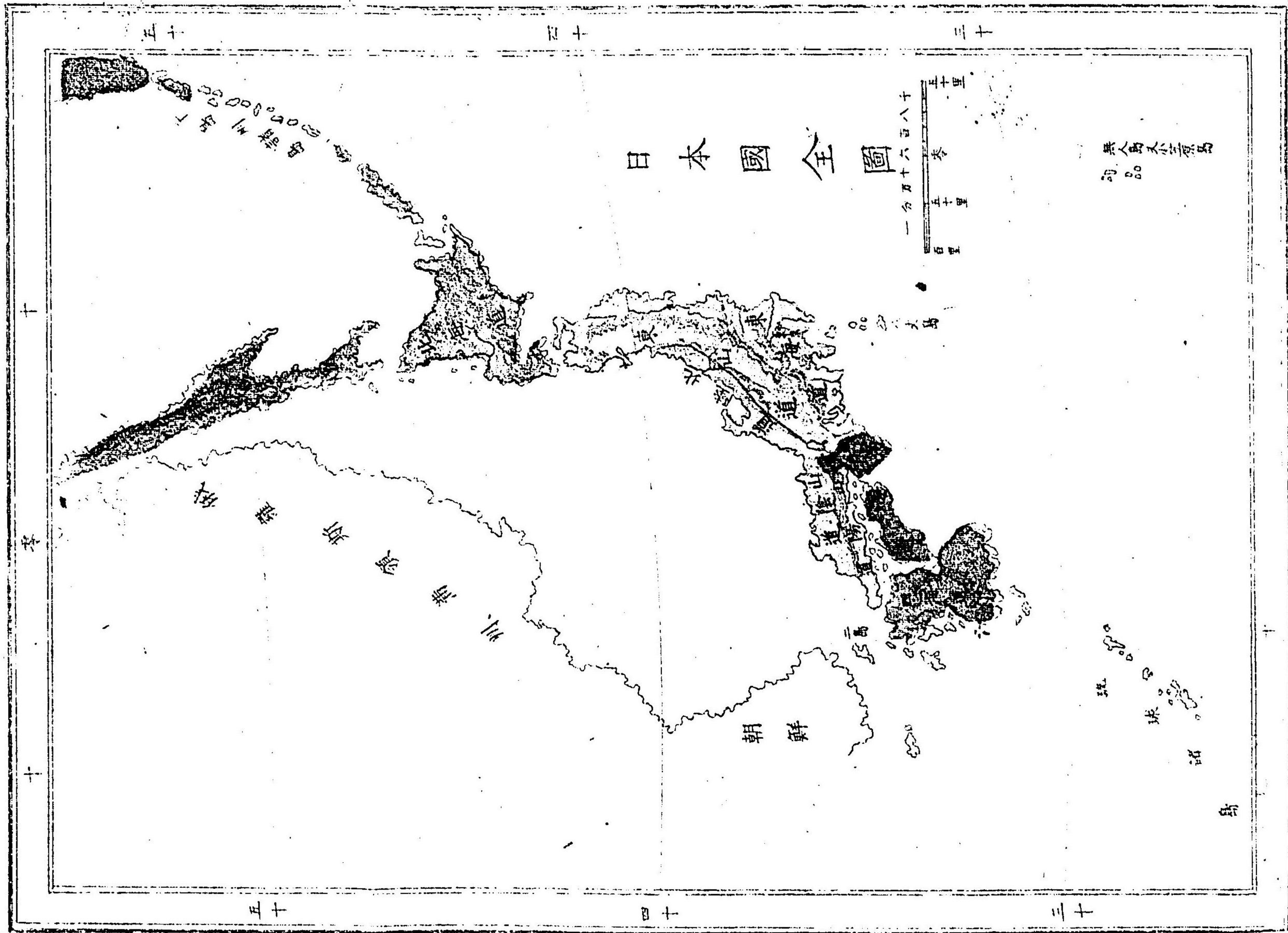






圖六 世界圖





日本國全圖

一 名 里 十 八 十  
五 十 里  
百 里

島  
山  
水

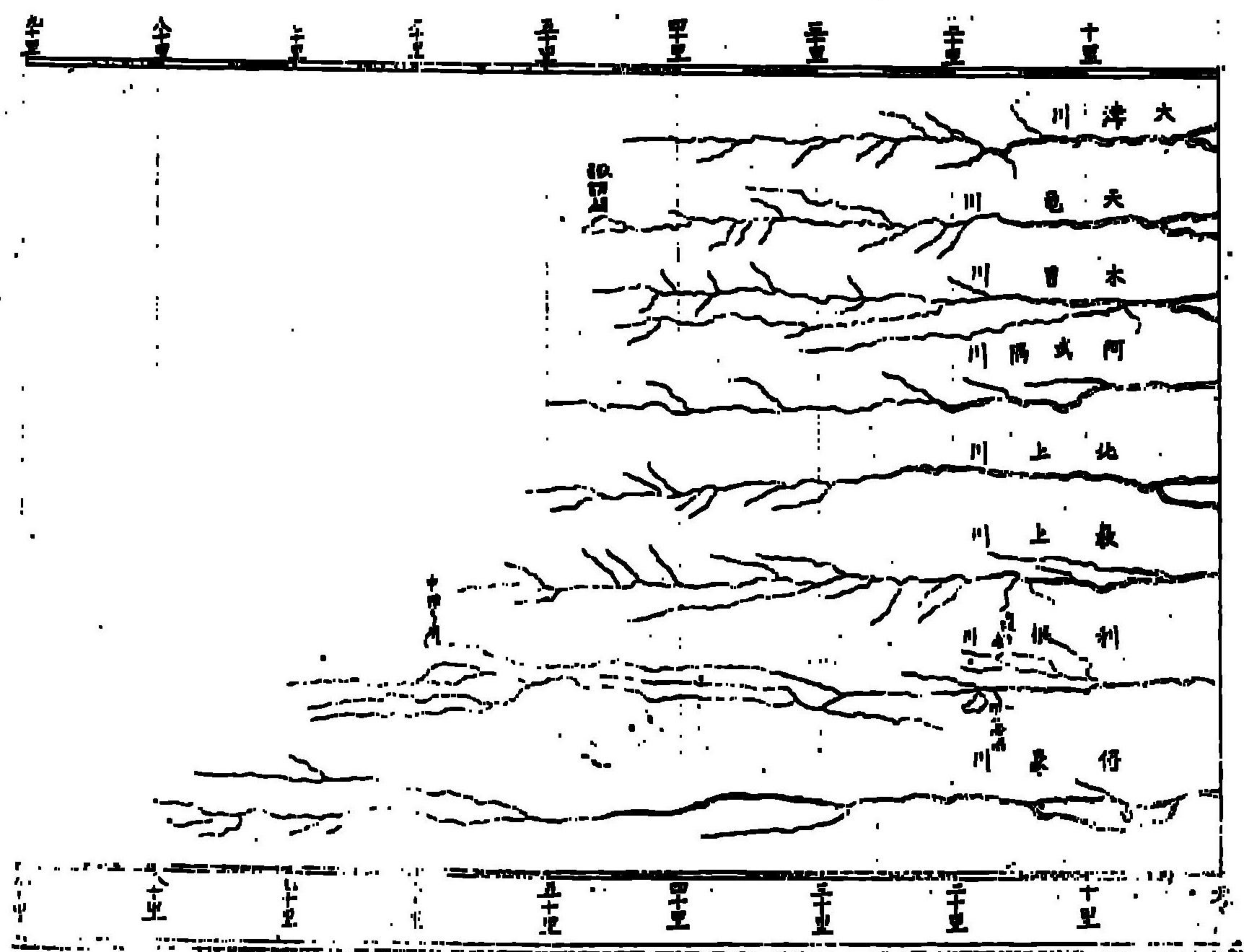
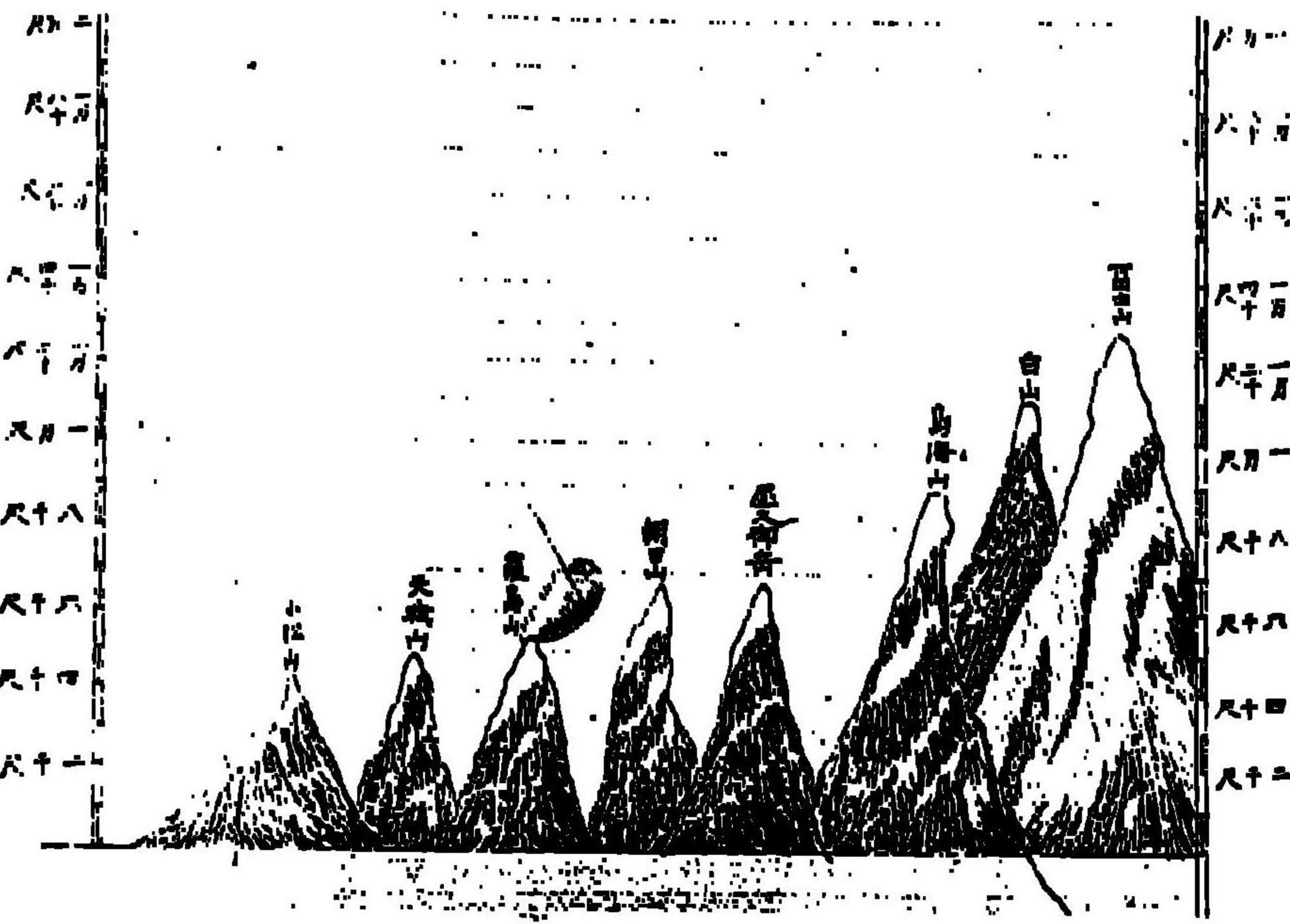
五十 四十 三十  
十 十  
五十 四十 三十

朝鮮  
新羅

琉球

島

山岳ノ地ニ在ル者共高度未タ知ル可ラサル  
 甚ク多シ河流ノ長諸書載スル所亦一定ナラス  
 他日其精意ナル者ノ得テ之ヲ載スヘシ是特ニ  
 其大抵ノ舉ルノミ



兵要日本地理小誌

凡例

- 一 地誌ノ體先ツ地球ノ轉回各國ノ位置ヲ畧説シ而メ後其國ノ事ニ及フヘシ然レモ是等近日人ノ能知ル所而ノ此書本邦ノ事ヲ擧ルヲ主トスルヲ以テ卷首ニ畧圖ヲ掲ケ以テ其大概ヲ示スノミ
- 一 全國論ハ各國ニ概ノ説ルナレハ先ツ之ヲ讀ニ非サレハ一國ノ事亦從フテ詳ナリ難シ比ヘハ中國ノ山脉東ヨリ西ニ亘ルトアレハ山陰ノ國ハ南高ク北卑ク山陽ノ國ハ北高ク南卑ク其水經モ從フテ南北ニ分流スルヲ坐メ知ルヘシ其他此類猶多シ推テ知ルヘキナリ
- 一 各國ノ内其一國ノ地形ヲ知ント要セハ必ス隣國ノ地形ヲ按メ後其實ヲ得比ヘバ東海道ノ國ニ在テ北方山多シト云フ者ハ即チ東



山道南方ノ山ト同一ノ山脉タリ或ハ駿河ノ富士山ハ甲斐ニ在テ之ヲ見レハ其國ニ在ガ如シ如賀ノ白山ハ越前ヨリ之ヲ見レハ又其國ノ山カト思ハル故ニ四隣ノ地理ヲ按ノ後其國ノ地從フテ詳ナルヲ得ヘシ

一 此書本陸軍軍人ノ爲ニ設ク故ニ其地勢ヲ論スルニ至リテ某ノ南ニ某アリ某ノ北ニ某アリ等ノ語多シ山河ノ順序ヲ畧知セシメン爲ナリ

一 各道論ノ如キ地勢ト戰陣トヲ混説ス是軍人ノ要道ナルヲ以テナリ然レトモ若シ其地形ヲ細論セハ絶險ノ地亦平地アリ而ノ平夷ノ地亦險據ルヘキアリ是則兵家ノ詳ニス可キ所此ニ論スル所ノ如キハ特ニ其大勢ヲ云フノミ者者一ヲ執テ百ヲ廢スル勿レ

一 各國歴史ハ其國ノ沿革及ヒ戰鬪等ヲ記スト雖凡封建ノ後一國數

氏ニ屬スル者ハ一々之ヲ記セス其戰鬪モ大戦ヲ記メ自餘ノ小戦ヲ畧ス此書歴史ヲ以テ主トスルニ非ザレハナリ

一 盤城岩代以北ノ數國及ヒ北海道ノ如キハ近歲分國スル所ニメ記スル所ノ事ハ大抵分國以前ニ在リ故ニ其史亦之ヲ合セ記ス讀ム人ノ曉リ易カラント欲シテナリ

一 豊臣氏徳川氏相尋テ天下ヲ総統ス故ニ戰國以後天下ノ國大抵ニ氏ノ所轄トナリ而メ今時皆朝廷ニ帰ス今一々之ヲ記セス替メテ簡ニ從フヲ以テナリ

名解

地ノ最モ大ナル者之ヲ洲ト云フ其小ニメ四圍水ヲ環スル者之ヲ嶋ト云フ地ノ高ク聳ユル者ヲ山ト云ヒ其卑クメ小ナル者ヲ丘陵ト云フ山勢連續メ斷サル者之ヲ山脈ト云ヒ山嶽ト云フ地ノ平且

四  
 二廣き者原ト云ヒ野ト云フ地勢山ノ如クニノ上平カナル者ヲ高  
 原ト云フ二山ノ間水ノ赴ク處ヲ溪谷ト云フ地ノ三面水ヲ帯ルモ  
 ノヲ隅ト云ヒ半嶋ト云フ彈丸ノ地海中ニ斗出入ル者之ヲ岬ト云  
 ヒ角ト云フ共山ヲ以テ盡ル者之ヲ岨ト云フ兩地ノ間地勢一綫路  
 ヲ通シ左右ニ水ヲ受ル者之ヲ地峽ト云フ  
 水ノ尤モ大ナル者之ヲ洋ト云フ洋ヨリ分チテ大地ニ近キ者ヲ海  
 ト云フ海ヨリ支分メ地中ニ入ル者之ヲ灣ト云フ船ヲ停泊入ヘキ  
 處之ヲ港ト云フ二地ノ間海水流通メ勢狹隘ナル者之ヲ海峽ト云  
 フ水ノ地ヨリ流出メ細小ナル者之ヲ泉ト云ヒ其流レテ漸ク大ナ  
 ル者之ヲ川ト云フ水ノ一處ニ匯メ淺ク且泥アル者之ヲ沼ト云ヒ  
 其深ク且清ル者ヲ湖ト云フ

兵要日本地理小誌

卷之一

全國論

位置

分界

道國郡及ヒ府縣

山原

河湖

海湾

港中

隅嶋

海峽

地峽

氣候

人精

風俗

歷史

政治

物產

戶口

各國論

東海道總論

各國誌附小並原島誌

卷之二

畿內總論

各國誌

東山道總論

各國誌

北陸道總論

各國誌

卷之三

三陸道總論

各國誌

山陽道總論

各國誌

南海道總論

各國誌

西海道總論

各國誌

二嶋總論

各國誌

北海道總論

各國誌附錄

共要日本地理小誌卷ノ一

中根淑 著

位置

我大東日本國ハ東半球亞細亞ノ東邊ニ表立シ緯線赤道ノ北三十度ヨリ起リ四十五度ノ間ニ盡シ經度東京偏東十一度ヨリ起リ偏西十一度ニ盡シ其地北ハ西伯里ニ密通シ東南太平洋ニ枕シ而メ西ハ支那朝鮮及ヒ滿州ト遙々海水ヲ隔ツ其地東北ヨリ斜ニ西南ニ至ル綿亘六百餘里廣袤或ハ三十里或ハ六十里脣カラス而メ其面積大約ニ萬二千九百二十方里アリ其地形恰モ龍ノ天ニ翔ルカ如シ西方ヲ首トシ中央ヲ身トシ而メ北方ヲ腰トシ尾トス

我國四大島及ヒ許多ノ小嶼ヲ以テ國ヲ立ツ其中央ニ位スル大地ヲ本土トシ南ニ在ル者ヲ四國トシ西ニ在ル者ヲ九州トシ而メ北ニ在ル者

カ蝦夷ト稱ス近嶽之ヲ改メテ北海道ト云フ

經緯西度前節舉ル所ノ如シト雖モ洲外諸島並ノ其外ニ出ル者アリ則チ小笠原島ハ北緯線二十六度半東經線三度餘ニ至リ琉球諸島ハ北緯線二十四度西經線十七度ニ及ヒ而メ千嶋樺太諸島ハ北緯線五十四度東經線十一度ノ外ニ出ツ

分界 道國郡及ヒ府縣

全國四洲之ヲ分チテ畿内八道トス本土ノ東方海上ニ並列スル國ヲ東海道十五國トシ小笠原嶋ヲ之ニ附ス其背ニ沿フテ東シ終ニ北・海中ニ延出スル國ヲ東山道十三國トス其北面ニ在テ北海ニ臨ム國ヲ北陸道七國トス此三道ノ西尚一帶ニ在ル五國ヲ畿内トス古ヨリ近嶽ニ至シル迄皇家毎ニ此間ニ王城ヲ奠メ玉ヲ以テ此稱アリ畿内ノ西ニ在テ北海ニ面スル國ヲ山陰道八國トシ是ト相表裏メ内海ニ面スル國

ヲ山陰道八國トス畿内ノ南海中ニ斗出スル地ヨリ四國ヲ併セテ南海道六國トス九州一帶ヲ西海道九國トシ琉球ヲ以テ之ニ屬ス又其西海中ニ在ル二國ヨリ二島トス其他北海道ヲ十一國ニ分チ樺太ヲ以テ之ニ

附ス

東海道ノ東邊六國及ヒ之ト連接スル東山道ノ二國ヲ合セテ關東八國ト云ヒ東山道ノ北邊諸國ヲ東北ト云フ其外北陸道ヲ北國ト云ヒ山陰山陽兩道ヲ中國ト云フ

東海道十五國

武藏 安房 上総 下総 常陸 相模 甲斐 伊豆 駿河  
遠江 三河 尾張 志摩 伊勢 伊賀 附小笠原島

畿内五國

山城 大和 河内 和泉 攝津

東山道十三國

近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 磐城 岩代 陸前

陸中 陸奥 羽前 羽後

北陸道七國

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡

山陰道八國

丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐

山陽道八國

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝 周防 長門

南海道六國

紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫 土佐

西海道九國

筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後 日向 大隅 薩摩 附琉球

二嶋

壹岐 對馬

北海道十一國

渡嶋 後志 石狩 天塩 北見 釧路 日高 十勝 釧路 十勝 附樺太

郡ノ制國中ヲ分畫シ地理ノ形勢田畝ノ利便ニ就テ之ヲ立ツ故ニ大小廣狹固ヨリ一ナラズ其少キ者ハ一國三郡多キ者ハ十數郡アリ而シテ郡ノ下ニ又村アリ故ニ北海道ノ外諸道ヲ分チテ七十三國トシ其下ニ六百三十一郡アリ又其下ニ七万一千二百十六村アリ北海道十一國ノ内八十六郡アリ而シテ其村邑部落ノ數ハ未ダ詳ナラス府ノ制國中ニアル者アリ西國ニ跨ル者アリ東京府ハ武藏五郡ヲ兼ヌ

而ノ其三郡ハ半隣縣ニ属ス京都府ハ山城八郡及ヒ丹波三郡ヲ保ツ大坂府ハ摂津七郡ヲ供ス之ヲ三府ト云フ是皆大都會ノ地而ノ皇室大城ノ在ル所ナリ

縣ノ制三府ノ外全國更ニ分チテ六十縣トナス故ニ一國ヲ以テ一縣トスル者アリ一國ヲ分チテ二縣トスル者アリ二三國ヲ合セテ一縣トスル者アリ或ハ一國ノ内一二分メ他縣ニ属スル者アリ而ノ北海道ハ與ラサルナリ

府縣ノ設自ラ國界ト同カラス蓋國ハ山河ノ形勢ニ由テ以テ其境域ヲ分ツ而ノ縣ハ政治ノ便宜ニ由テ以テ其區畫ヲナス是具異同ヲ致スユ

三府

一東京府 武藏 在ル處ナリ

二京都府 山城 京都

三大阪府 摂津 大坂

六十縣 縣名ノ下ニ注スル地名

高知	山口	飾磨	相川	鶴岡	水澤	朽木	堺	熊谷	神奈川	六十縣
高土	山周	橋磨	相佐	鶴同	陸中	朽下	堺和	熊同	武藏	縣名ノ下ニ注スル地名
高知	山口	飾磨	相川	鶴岡	水澤	朽木	堺	熊谷	神奈川	六十縣
福岡	和歌山	北條	豊岡	秋田	岩手	磐前	滋賀	濱松	兵庫	千葉
福岡	和歌山	北條	豊岡	秋田	岩手	磐前	滋賀	濱松	兵庫	千葉
三浦	名東	岡山	鳥取	敦賀	青森	若松	岐阜	茨城	長崎	新潟
三浦	名東	岡山	鳥取	敦賀	青森	若松	岐阜	茨城	長崎	新潟
小倉	香川	小田	島根	石川	置賜	福嶋	筑摩	足柄	新潟	山梨
小倉	香川	小田	島根	石川	置賜	福嶋	筑摩	足柄	新潟	山梨
大分	愛媛	廣島	濱田	新川	山形	宮城	長野	山梨	山梨	山梨
大分	愛媛	廣島	濱田	新川	山形	宮城	長野	山梨	山梨	山梨

佐賀肥前

白川肥後

宮崎日向

鹿児島薩摩

十一

山脈

我國ノ山脈北樺太東千島ヨリ起リ共ニ北海道ニ入テ暗結シ遂ニ南東  
山道ニ接リ蜿蜒起伏ノ畿内ニ赴キ山陰山陽ノ間ヲ馳セ西九州ニ濟リ  
屈曲ノ西南ニ盡ク而シ中間一大支アリ即チ伊勢大和紀伊ノ際ヨリ南  
ニ分ク四國三入ク西ニ盡ク其餘各國ヨリ處山峯ヨリ是皆小枝片葉ノ  
三

山ノ至峻ナル者駿河ニ富士山アリ陸奥ニ岩城山アリ加賀ニ白山アリ  
伯耆ニ大山イナアリ肥後ニ阿蘇山アリ後志ニ淺志羊蹄山アリ其他山岳甚  
ク多シト雖モ皆其兒孫ノ如シト云フ

洲内火山十數坐アリ故ニ温泉亦從テ多シ中ニ就テ伊豆相模信濃ノ  
三國上野下野以北ノ諸國及ヒ豊後肥後ノ二國最ニ多シ而シテ其善ク疾

ノ瘵スヘキ者ハ伊豆ノ熱海アツミ相模津ノ有馬上野ノ草津伊豫ノ道後肥前ノ  
古湯等以下數湯アリ

洲内ノ國皆山脊ヲ分チテ前後ニ位ス其四境山雲ヲ繞ラスノ國之ヲ稱  
ノ山國ト云フ其二山ノ間ニ位スル者則チ畿西稱スル所ノ溪谷是ナリ  
而シテ武藏以北及ヒ摂津河内筑後肥前肥後ノ地ノ如ク郊野遼闊一望際  
ナキ者之ヲ稱シ曠原ト云フ其他各國小原多シ遠江ニ味方原アリ信濃  
ニ桔梗原アリ下野ニ那須野アリ其外相模ノ仙石原大和ノ大壘原備後  
ノ仙養原等ノ如ク山上或ハ山間ニ在ル者ハ之ヲ稱シ高原ト云フ又古  
ノ原野ト稱シ而シテ今已ニ由畝トナル者アリ關原阿倍野ノ如ク是ナリ  
是特ニ其名存スルノミ

河湖

我國大河アルナシ獨リ利根川上野ヨリ發シ下野下総常陸ノ境ヲ過テ

十七



東海ニ朝ス十隅川信濃ニ發シ越後ヲ貫通メ北海ニ注ク此ニ河水源稍  
 遠シ其次ハ遠江ニ天龍川アリ岩代ニ阿武隅川アリ陸中ニ北上川アリ  
 羽前ニ最上川アリ石見ニ郷川アリ石狩ニ石狩川アリ其他武藏ノ角田  
 川アリ駿河ニ富士川アリ美濃尾張ニ木曾川アリ山城摂津ニ淀川アリ  
 越中ニ神通川アリ越後ニ阿賀川アリ紀伊ニ紀川アリ阿波ニ吉野川アリ  
 ノ筑後ニ筑後川アリ十勝ニ大津川アリ是亦其次ナリ  
 湖ノ最モ大ナル者ヲ近江ノ琵琶湖トス其次ハ常陸ノ霞浦羽後ノ八郎  
 潟下総ノ印幡岩代ノ猪苗代出雲ノ松江信濃ノ諏訪樺太ノ楚江辨連戸  
 等ナリ是皆ロアルノ湖ナリ其餘小湖傳指スルニ暇アラヌ

海湾

海ノ大ナル者東南ヲ太平洋トシ西北ヲ日本海トシ最北ヲ荷哥斯科海  
 トス

沿岸附近ノ海常陸一帯ヲ鹿島灘ト云フ相模ノ海ヲ相模灘ト云ヒ伊豆  
 ヲリ志摩ニ至ル一帯ヲ遠州灘ト云ヒ紀伊ノ海ヲ紀州灘ト云ヒ土佐ノ  
 海ヲ土佐ノ沖ト云ヒ中國四國ノ間ヲ内海ト云ヒ其東ヲ播磨灘ト云ヒ  
 西ヲ水島灘ト云ヒ又伊豫ノ海ヲ燧灘ト云ヒ其西ヲ碓夷灘ト云ヒ周防  
 ノ海ヲ周防灘ト云ヒ長門ノ海ヲ警灘ト云ヒ筑前ノ海ヲ玄海灘ト云ヒ  
 日向海ヲ日向灘ト云ヒ石見一帯ヲ石見潟ト云ヒ能登一帯ヲ能登ノ海  
 ト云フ  
 湾ノ最モ大ナル者東海道ニ品川ノ湾駿河ノ湾伊勢ノ海アリ東山道ニ  
 松島ノ湾陸奥ノ湾アリ畿内ニ大坂ノ湾アリ西海道ニ有明沖鹿兒島ノ  
 湾アリ北海道ニ箱館ノ湾及ヒ膽振根室ノ湾アリ樺太ニ亞尼華哈地尼  
 室ノ湾アリ

港岬

武藏ノ横濱港越津ノ兵庫港越後ノ新潟港肥前ノ長崎港渡島ノ箱館港  
之ヲ五港ト云フ皆海外商船ノ至ル所ナリ次ニ武藏ノ品川港伊豆ノ下  
田港駿河ノ清水港志摩ノ鳥羽港摂津ノ大坂港陸前ノ石巻港陸奥ノ青  
森港越前ノ敦賀港能登ノ七尾港佐渡ノ小木港長門ノ下関港土佐ノ高  
智港薩摩ノ鹿児島港琉球ノ那覇港此見ノ宗谷港樺太ノ白主港亦皆貴  
帆輻輳ノ港ナリ

岬ノ最モ顯カク者上総ニ富津岬アリ下総ニ大吠岬アリ遠江ニ御前岬  
アリ志摩ニ天王岬アリ陸奥ニ尻矢龍飛ノ二岬アリ能登ニ珠洲岬アリ  
紀伊ニ淡路岬アリ伊豫ニ三崎アリ土佐ニ室津足摺ノ高岬アリ豊後ニ  
嵯峨岡岬アリ日向ニ土肥岬アリ大隅ニ佐多岬アリ日高ニ選藻岬アリ  
此見ニ知床岬アリ樺太ニ白主知床真知床ノ三岬アリ其餘小岬枚舉ス  
ルニ暇アラズ

隅嶋

隅ノ大ナル者東海道ニ安房伊豆ノ北海道ニ能登アリ西海道ニ肥前  
アリ北海道ニ渡島アリ其他各地小隅甚ク多シ  
州外島嶼極ク多シ其ノ数大約四千ニ下ラス其内伊豆ニ八嶋アリ其  
東南ニ小笠原嶋アリ南海道ニ淡路アリ大隅ニ種子屋久アリ其最南ニ  
琉球アリ肥後ニ天竺アリ肥前ニ平戸五島アリ其北ニ壹岐對馬アリ西  
北海ニ隠岐佐渡アリ北海道ニ千島アリ是其最モ著ナル者

海峡

海峡ノ樞要ナル者紀伊阿波ノ間ニ紀伊岬アリ淡路ノ東紀伊ノ間ニ音  
島岬アリ北播磨ノ間ニ岩屋岬アリ而メ西南ノ間ニ鳴門岬アリ伊豫  
豊後ノ間ニ豊後岬アリ長門豊前ノ間ニ赤間関岬アリ陸奥渡島ノ間ニ  
津經岬アリ此見樺太ノ間ニ知主岬アリ

地候

地候ハ陸奥ニ北郡峽アリ備中ニ藤戸アリ肥前ニ諫早愛津ノ二峽アリ

氣候

東海道諸國地氣溫和西嶺以西冬ヨリ春ニ至リテ海風強ク而メ以東ハ陸風ヲ吹ク畿内諸國風少ク寒暄宜キヲ得東山道諸國霜露早ク降ル之ヲ東海道ニ比スレハ殊ニ料峭ヲ覺ユ其岩代以北ノ地冬時氷雪凝積春半ニ至リテ漸ク消融ス而メ雨羽ノ地風カ甚メ強ク動レハ屋ヲ徹ス北陸道諸國寒時寒暄計氷点ヨリ下ルテ五六度而メ熱時九十度以上ニ至ル其國皆風強ク雪多シ山陰道諸國寒暄俱ニ強ク大抵北陸西方ノ國ト相似タリ而メ冬時雪積ル三四尺之ヲ常トス北陽道諸國地氣温平風少シ嶺畿内ト相伯仲ス南海道諸國皆煖燥高寒ニ甚テハ雪ヲ積マス夏時頗ル炎蒸而メ夜ニ至リテ熱ヲ洗フノ涼風アリ西海道諸國暖ダク寒

少シ冬時僅ニ雪ヲ見ル其南方ハ炎威特ニ酷シ北海道諸國寒威凜烈盛夏ノ晝間ニ非ナレハ單衣ヲ穿ツ者ナシ冬時大雪密封テ出ル能ハス五六月ノ交雪融ルニ及ヒテ花木一齊ニ花ノ而メ其東北ノ國ハ淫寒殊ニ甚シト云フ

人情

東海道ノ人ハ疏通慧敏其甲斐ノ人ハ強ニメ險東京府ノ人ハ快ニメ淳二総入ハ淳良肅陸ノ人ハ武ニメ固王畿ノ人ハ心匠精密其京都府ノ人ハ雅ニメ約大阪府ノ人ハ達ニメ俗東山道ノ人ハ大約樸厚其信濃上野ノ人ハ武ニメ頑其岩代以北ノ人ハ朴直驍果謂テ所北方ノ強ナリ北陸道ノ人ハ大約直實其加賀以北ハ少ク固而メ其越後ハ甚メ淳雅山陰道ノ人ハ温順ニメ扶同山陽道ノ人ハ異項ニメ文雅南海道ノ人ハ大約敦厚其土佐ノ人ハ積武健其阿波讃岐ノ人ハ稍寬裕西海道ノヒトハ大約

剛直其薩摩大隅ハ稍驚悍其肥後ハ稍峭直其肥前ハ稍矜嚴北海道ノ人其箱館ニ在ル者篤厚人ヲ愛ス迨北主生ノ人ハ強健ニメ愚魯意フニ是ホク教化ノ普ク及ハサルニ由ルニミ天ノ勅民ヲ生スル豈化ス可ラサルノ徒アラシメンヤ其他日都文ノ民ニル亦知ル可ラサルナリ

風俗

上古風俗詳ナラス中古唐ニ通スルニ及ヒテ宮室衣服ヨリ其他凡百多ク其制ニ擬ス家屋ノ制板築ヲ高クシ厚席ヲ以テ其上ニ鋪ク故ニ家中椅卓ヲ設ケス坐スルヲ以テ禮トナス衣服ハ闊袖大襟布帛ヲ以テ之ヲ裁ス男子ハ額髪ヲ剃テ結髪人女子ハ髻ヲ結ヒ笄挿ヲ戴キ紅粉ヲ柱シ長衣大帯ヲ着ケリ述歳ニ至リテ宮室服飾禮節ヨリ學術工藝技能ニ及ブ迄大ニ泰西ノ習俗ヒ習俗從フテ變化セリ奉スル所ノ教神教佛教アリ

歴史

今ヲ距ルル二千五百三十有餘歳皇祖神武天皇海内ヲ平定シ大和ノ樞原ニ即位シ五ヒテヨリ三十四世皇極天皇ノ時ニ至リ蘇我蝦夷父子皇家ヲ蔑如シ王權ヲ弄セシカハ皇子中大兄藤原鎌足ト謀リ之ヲ誅シ神武ノ續ニ復シ玉フ是ヲ天智天皇トス十餘世ヲ歷テ文德天皇ニ至リ藤原氏ノ勢威甚ク熾シニナリ教世ノ後政終ニ其掌中ニ帰ス保元平治以來平氏漸ク興リ藤原氏王家ト共ニ衰フ源賴朝平氏ヲ亡ホシ頼朝ヲ鎌倉ニ闢クニ及ヒテ政權全ク武門ノ歸ス既ニメ北條氏陪臣ヲ以テ國命ヲ執リ源氏從フテ亡フ後醍醐天皇ノ時勤王ノ師ヲ募リ北條氏ヲ討滅シ國政王家ニ復歸ス幾モ無メ足利尊氏兵ヲ舉ケテ反シ故ノ後深草天皇ノ胤ヲ立ツ是ヲ北朝トス後醍醐天皇南大和ニ幸シ吉野ニ據リ玉フ是ヲ南朝トス五十四年ニメ南北合メ一トナリシカ比政權全ク足利氏ニ

在リ十餘世ヲ經テ政令四海ニ行ハレズ諸侯並ヒ起リテ戰國トナレリ  
織田氏勃興ノ足利氏ニ代リシカニ功業遂ケス中道ニメ亡ヒタリ豊臣  
氏尋テ興リ海内ヲ蕩平シ二世ニ傳ヘ從フテ亡フ徳川氏之ニ續キ天下  
ヲ統治スル一二百五十餘年終ニ政ヲ王家ニ致ス是ニ於テ王家後政ヲ  
親ラシ玉フ

政治

神武天皇國造縣主ヲ置キ天下ヲ治メ王トシヨリ列世相承ル一數十世  
中古ニ至リ唐ノ制度ニ倣ヒ文武百官ヲ設ケ國ニ守ムヲ置キ軍國ヲ造  
リテ以テ不虞ニ備フ源平氏ノ時ニ至リ制度漸ク鮮弛シ諸國ノ武士皆  
私ニ二氏ニ屬シ守ムノ令殆ト行ハレス然レニ上古郡縣ヲ以テ國ヲ建  
シヨリ此ニ至ル迄ホク封建ノ勢アラサルナリ源賴朝天下ヲ掃蕩スル  
ニ及ヒテ自ラ乞フテ天下總追捕使トナリ國衙ニ守護ヲ置キ莊園ニ地

頭ヲ置キ以テ國政ヲ執レリ是ヲ霸府ノ始トス而メ其守護多ク其土ヲ  
子孫ニ傳ヘ漸ク封建ノ勢ヲナセリ足利氏ニ至リテ大ニ其功臣將士ヲ  
封シ全ク封建ノ制ヲ成セリ織田豊臣及ヒ徳川氏各其法ヲ異ニスト雖  
此亦皆其制ニ倣フ迄歳王室親ラ政ヲ執リ玉ヲニ及ヒテ各藩ヲ廢シ再  
ヒ郡縣ノ制ニ復シ官省ヲ建テ海陸軍ヲ設ケ府ニ知事ヲ置キ縣ニ令ヲ  
置テ以テ天下ヲ統轄シ玉フ

國初ヨリ今ニ至ル迄二千五百三十有餘年治亂屢革一ナラスト雖モ我  
國政躰常ニ立君獨裁ノリ明治八年ニ至リ始メテ元老大審ノ二院ヲ置  
キ地方官會議ヲ設ケ以テ立憲政體ヲ基ヲ成セリ

物産

國中金銀銅鉄諸礦及ヒ煤坑數千處アリ出入所ノ木料杉檜栴檀檜其  
他大小竹類アリ花木ハ則チ山櫻海棠梅花桃花紫微夜合アリ花卉ハ則

牡丹芍薬番椒櫻桃牡丹芍薬花等アリ果實ハ則チ橘柑橙梨杏李林檎葡萄西瓜甜瓜等アリ布穀ハ則チ稻黍粟麥及ヒ絲麻棉花等アリ走獸ハ則チ牛馬猪鹿猿兔熊羆豺狼狐狸等アリ而メ虎豹犀象ノ類アルナシ家畜ノ獸牛馬ノ外更ニ猫狗等アリ飛禽ハ則チ鷹鶴鴉雁鶩鴛鴦鸚鵡鷓鴣鸚鵡等アリ魚貝ハ則チ鯨魚江豚棘鱗北目鰻子準鰈海鰻大口鱈鯊鮭鱒鱒鱒鱒鱒及ヒ龍蝦望湖決明漆螺理螺蛤蚌等アリ而メ其他海參魚翅海參類尤モ多シトス

戸口

全国戸数七百一十一萬零一百七十七戸  
 同人口三千三百四十二萬三千七百一十五人  
 東京府 朱印時  
 戸数 一十四萬九千三百八十三戸

人口 五十九萬五千九百零五人

京都府

戸数 六萬三千二百一十七戸

人口 二十三萬八千六百六十三人

大坂府

戸数 七萬八千七百八十九戸

人口 二十七萬一千九百九十二人

右明治五年閏スル所ニ從フ

各國論

東海道總論

東海道ハ西南畿内及ヒ南海道ニ接シ東南太平洋ニ面シ北方一帶東山道ト相依附シ良ヨリ坤ニ亘リテ十五國ヲ連接シ一府十二縣百二十九

郡ヲ轄有ス魚鹽ノ利甚々多シ指麥豐饒茶絲砂糖亦隨フテ在リ其函嶺  
 以東ハ上古蝦夷散居シ中古ニ至リ士民多ク源氏ニ屬ス東京ハ地垣ニ  
 港穂徳川氏ノ府ヲ闢キ朝廷ノ都ヲ遷ス地勢ヲ按ノ其宣キヲ知ル善カ  
 ナ明治四年鎮臺去テ此地ニ置キ以テ四方ノ虞ニ備フ其橫濱ハ外船福  
 嶽ノ區又是一大要地安房ニ終ハ古來中原ノ隆替ニ由テ其方向ヲ定ム  
 地勢固ヨリ然リトス其鴻臺ハ以テ一時ヲ防フヘシ以テ久キヲ支フヘ  
 カラス利根川波流廣大以テ一方ヲ禦クニ足ル其泥沙ヲ流ス多キヲ以  
 テ時ニ或ハ民田ヲ害ス相摸ハ則チ源右府霸業ヲ定ムルノ處而メ後世  
 此條氏是ヨリ東北ヲ略有ス指根ノ險街道無雙ト稱ス以テ西ヲ防フヘ  
 ヲ以テ東ヲ制スヘシ諺フ所我則チ利彼得亦利ナル者甲斐ハ則チ險  
 要地其信濃ニ接スル處地勢彼此相制スヘシ武田氏ノ興亡ヲ見テ之ヲ  
 知ルヘシ富士山旧火山今時已ニ烟ヲ絶ツ而シ稀ニ灰石ヲ噴ス富士川

奔湍箭ノ如シ然レトモ上浮ニ懸橋アリ下流ニ淺瀬アリ險ヲ賴ミテ備  
 ヘス平氏ノ潰ユルユエシナリ是ヨリ西向倍川大井川天龍川等河道甚  
 タ多シ水潦至レハ舟楫通シ難シ而メ常時ハ則チ湍澗ノ類ニ過キス其  
 今切ハ湾中甚々淺ク北ニ陸路アリテ通ス豈險トスルニ足ンヤ三河ハ  
 則チ徳川氏創業ノ地尾張ハ則チ織田氏勃興ノ處其官渡ハ陸路ニ備ヘ  
 カンハ以テ要地トスルニ足ラス而メ陸ニ水曾川アリ時ニ水溢レテ良田ヲ害ス  
 尾張者フ川トコソ關ヶ虚言ニアラス鈴鹿ノ山東急ニ西夷カ伊賀ハ  
 則チ山多シ而メ大坂ニ出ルノ間道ナリ小笠原島ハ則チ絶海ノ小島固  
 ヲリ國ニ損益ナキニ似タリ然レモ之ヲ衣服ニ譬フ裾端袖縁衣ニ用ナ  
 キ者ノ如シ而メ之ヲ棄テ豈全衣トスルヲ得ンヤ

武藏誌

武藏國ハ北向野ニ界シ東下総ニ接シ東南海ヲ隔テ、上総安房ト相對

シ南相撲ニ隣シ西甲斐信濃ニ連ナル國中二十二郡アリ其地形東西ニ長ク南北ニ短ク殆ント水兼ノ如シ土地甚メ平坦其西方ニ敦山アリ総テ之ヲ秩父山ト云フ是ヨリ出ル河ヲ荒川ト云フ其下流ヲ角田川トス國ノ北邊ヲ築リ漸ク南メ西入間川ヲ合セ川越ノ東ヲ過キ南海ニ入ル其東ニ在テ並ヒニ海ニ入ル者ヲ中川ト云フ又其東利根川ヨリ支流ノ南ニ馳スル者ヲ江戸川ト云フ之ヲ武藏下総ノ界トス國ノ西邊ヨリ南方ヲ貫穿ノ東スル水ヲ玉川ト云フ上総安房ト相隔ツル海ヲ品川港ト云フ天晴ル時ハ二國ノ山座ノ見ルヘシ海ニ臨ム一帯地方四里ヲ東京府トス即チ三府ノ一ナリ其中央ニ皇居アリ城池鴻大其内外ニ官省ヲ設ク其他學校アリ鹽院アリ電機局アリ驛邊局アリ大小衙衛從橫斷續水道流通氣燈赫燦士民商賈相錯リテ之ニ居ル肩摩較擊日夜斷ヘス實ニ我國第一都會ノ地ナリ國ノ極南ニ斗出ノ地アリ本牧ト云フ其中別ニ

湾港ヲナス處ヲ横濱ト云フ萬國ノ商船港中ニ雲集シ洋館社廳市街喧騰貿易ノ貨物日ニ億万ヲ以テ計ル即チ我國第一ノ埠頭ナリ近歲東京横濱ノ間海ニ沿フテ蒸氣鐵道ヲ鋪ケリ産スル砂銅鉄胡茶及ヒ段匹ア

源義家ノ時ヨリ邦人多ク源氏ニ屬ス源賴朝石碯山ニ敗シ再ヒ兵ヲ率ル時兵ノ角田川ニ觀シ後大ニ平氏ヲ破レリ北條氏ノ季ニ新田義貞上野ニ興リ北條氏ノ兵ト國中ニ連戦シ一勝一敗終ニ大ニ之ヲ破リテ北條氏ヲ亡セリ其後新田義興脇屋義治等足利尊氏ヲ武藏野ニ破ル已ニシテ足利氏人ヲメ義興ヲ矢口ノ渡誘殺セシム其季年上杉定正ノ臣大田道灌江戸城ヲ築キテ之ニ居ル其後小田原北條氏新ノ興リ此地ヲ掠取ス氏康ニ至リテ上杉氏ト川越ヲ爭フ氏康故サヲ弱ヲ示シ敵兵ヲ驕ラシ夜ニ衆メ大ニ之ヲ破レリ是ヲ川越ノ役ト云フ



豊臣秀吉小田原ヲ攻ル時國中諸城或ハ降り或ハ陥ル事平キテ後徳川氏ヲ関東八國ニ移封ス是ニ於テ徳川氏江戸城ヲ以テ其居城トス後霸府ヲ関ケニ及ヒテ其規模ヲ宏大ニシ公侯ノ第宅商賈ノ厩舎數里絶エス嘉永六年亞墨利加國使彼理國書ヲ齎シ通商ヲ乞幕議之ヲ許ス其後歐羅巴各國尋テ來リ和約ヲ立ツ因テ橫濱港ヲ関ヶ埔頭トス戊辰ノ亂ニ徳川氏ハ軍西京ニ敗レ江戸ニ還ル既ニメ官軍來リ征ス徳川氏城ヲ関キテ之ヲ致ス其臣相集リテ東叡山ニ據ル者アリ官軍山ヲ圍ミ撃テ之ヲ拔ク餘衆走リテ東兵ニ投ス東兵ハ北國諸侯ノ官軍ニ托スル者ナリ其冬今上天皇東征シ開テ此地ニ定メ五フ尋テ江戸ヲ改メテ東京府トス

安房誌

安房國ハ我國ノ東南隅ニアリ北ハ上総ニ正接シ東南西三方海水ヲ環

ラス實ニ東方ノ澤國ナリ國中四郡アリ土地平坦小河十餘派アリ三西皆海ニ向フテ注ク東流ノ水加茂川會呂川丸山川西流ノ水湊川佐久間川保田川皆崩大ナリトス國ノ西南ニ小灣アリ西北ニ高山アリ山巖鋸齒ノ如クナルヲ以テ鋸山ト名ケ山上十國ヲ一見スト云フ其東橫振峠花立峠清水山岩光山アリ皆上総ノ境ナリ國産石決明白牛酪アリ元正帝ノ時上総四郡ヲ割テ此國ヲ置ク治兼中源頼朝相撲ニ敗レ海ニ航メ此地ニ上リ兵ヲ遠送ニ募リ再ビ軍ヲ發シ遂ニ平氏ヲ亡セリ足利氏ノ時新田氏ノ裔里見家基結城ニ戦死シ其子義實來リテ白濱ニ匿ル時ニ國ノ四郡司互ニ相討滅ス義實是ニ由テ遂ニ全國ヲ服従ス後又上総ヲ攻テ之ヲ併入子成義ニ至リ又下総ヲ取ル二十餘年ヲ經テ其孫義豊叔父實亮ノ位ヲ禪ラサルヲ憤リ夜指村城ヲ襲フテ之ヲ殺ス實亮ノ子義亮上総ニアリ來リテ義豊ヲ攻ム義豊自殺シ國義

亮ニ属ス義康ニ至リ豊臣秀吉小田原ヲ征シ義康ヲ招ク其亟ニ來  
サルヲ以テニ総ヲ削ル徳川氏ノ時子忠義罪アリ國除カル

上総誌

上総國ハ南安房ニ界シ東東洋ニ面シ西武藏ト海ヲ隔テ、三大湾ヲナ  
シ北下総ニ界スル處西南ヨリ曲折ノ東北ニ至ル故ニ其地南ニ寛ク北  
ニ狹シ國中九郡アリ西南ニ鹿野山鬼波山等諸山アリ東南ニ小野茶澤  
山元清澄大石諸山アリ皆鑿山ト相連絡ス一水東南ヨリ發源シ北流メ  
大多喜ニ至リ東ニ折レテ海ニ入ル之ヲ大喜多川ト云フ其北ニ一宮白  
亀栗山等ノ諸水アリ其西流スル者湊小糸久留里養老村田等ノ諸水ア  
リ獨リ久留里川元清澄山ノ東邊ニ出テ水源稍遠シトス西濱第一湾ノ  
北小岬ヲナス之ヲ冨津ト云フ岬頭暗洲アリ大船ヲ通スルヲ得ス即チ  
海門枯藁ノ處ナリ國中小立原野多ク厥ノ土惟レ塗泥天雨フレハ殆ンド行ヘ

カラス東漢ノ中間大東崎ヨリ下総足川ニ至ル一帯ヲ九十九里ト云フ  
東國ノ一大水郷ナリ得ル所ノ魚舟中ニ滿載シ之ヲ東京ニ送ルニ常ニ  
時刻ヲ移サスト云フ産スル所于鱒茶葉アリ

上古上総下総共ニ總ノ國ト稱ス後分チテ二國トス淳和帝ノ時此國  
及ヒ常陸上野ヲ以テ親王ノ任國トス陽成帝ノ時國中ノ夷侍叛ク國  
共討テ之ヲ平シ源賴朝再ヒ兵ヲ舉ル時本國ノ人平廣常万餘騎ヲ率  
キテ之ヲ援ケ遂ニ平氏ニ勝ツ後廣常故アリテ死ヲ賜フ足利氏ノ季  
直里谷氏之ニ據ル後里見成義ノ亡ス所トナル義頼ニ至リ國大半北  
條氏ニ蠶食セララル子義康ニ至リ豊臣秀吉此地ヲ削ル

下総誌

下総國ハ南海水ヲ控シ武藏上総ヲ連ネテ決環ノ狀ヲナス東南上総ニ  
短接シ以テ東北海ニ距ル北ハ常陸ト利根川ヲ界シ西ハ武藏ニ接ス西

隅ニ餘地アリ其形恰モ人跡ノ如シ國中十二郡アリ地形北廣ノ南狹  
 地質上総ニ類ス而ノ舉國山嶽ナシ國ノ正中ニ大湖アリ印幡沼ト云  
 フ其大ナ大抵南北七里東西一里南方ノ水多ク之ニ會注ス西ニ手賀沼  
 アリ東ニ長沼アリ皆印幡五六分ノ一ニ過キス湖ノ南方ニ廣原アリ小  
 金原ト云フ古來牧馬ノ場ナリ其俗祭氏ノ屬過シルヲ以テ野旣ニ馬群  
 無シト云フ西邊ノ拳形ノ地北隅ヲ結城トシ西隅ヲ古河トス手賀ノ處ヲ  
 關宿ト云フ利根川ノ衝ニ當レリ河水之ニ至レリ南方ニ支分ス之ヲ江  
 戸川ト云フ而シテ其本水關宿ノ北ヲ環流シ一瀉東海ニ入ル此川一ニ拔  
 東太郎ト云フ川口ノ峽ヲ鉦子口ト云フ其角ヲ犬吠岬トス實ニ此國極  
 東北ノ地ナリ江戸川ノ東西葛飾郡古へ皆下総ニ屬ス後世其半ヲ割テ  
 以テ武藏ニ附ス袖及ヒ茶アリ  
 朱雀帝ノ時平將門又シ常陸兩野ヲ取リ武藏相模ヲ徇ヘ都ヲ後島ニ

運テ偽官設ケ自ラ兵ヲ引テ下野ニ入ル己ニメ誅ニ伏ス源平氏ノ時  
 ヨリ千葉結城等之地ヲ分領ス足利氏ノ時結城氏朝足利持氏ノ孤ヲ  
 奉シ兵ヲ起ス將軍義教兵ヲ遣テ之ヲ攻ム互ニ勝負アリ己ニメ城陷  
 リ氏朝戰死ス其後持氏ノ子成氏鎌倉ニ入り敗レテ古河ニ至リ之  
 ニ居ル戰國ノ時成氏ノ孫義明共兄高基ト惡シ御弓ニ據リ傍地ヲ畧  
 ス北條氏綱之ヲ攻テ鴻巣ニ戰ヒ義明ヲ獲而メ古河氏亦遂ニ微ナリ  
 戊辰ノ亂東兵官軍ヲ結城ニ攻メ城陷ル幾ハシモ無クメ又之ヲ失フ  
 是時ニ當リテ東兵別ニ上総ニアリ來リテ官軍ヲ襲ヒ進ミテ市川ニ  
 至ル遂ニ大ニ船橋ニ戰ヒ東兵敗績ス

常陸誌

一常陸國ハ南下総ニ界シ東東洋ニ面シ北磐城ニ界シ西下野ニ隣リ畧長  
 方形ヲナス而シテ其西南ノ地西方ニ凹出シ以テ下総拳形ノ地ト相錯ス

レリ東南一角下総小利根川ヲ挾ミテ海中ニ伸俣ス國中十一郡アリ東  
 南水郷多ク西北山村多シ風土記ニ云ノ是國道路相望郡郡接壤ト真ニ  
 然リ西南ニ當リテ筑波山アリ其北ニ芦穗山如葉山アリ又北下野ノ界  
 ニ鳥子山アリ其北隅ニ八溝山アリ其南ニ男躰山月折山アリ月折ノ下  
 ニ袋田ノ温泉アリ而メ海上ニ高鈴神御子諸山アリ一水下野ヨリ來リ  
 西南凹守ノ地ニ從フテ回リ南利根ニ會ス之ヲ小貝川ト云フ正南利根  
 川ニ近キ處ニ大湖アリ其大サ印幡ニ陪徒ス名ケテ霞浦ト云フ西ニ向  
 フテ三泓ヲナス中泓ノ盡ル處ヲ土浦ト入南方諸水皆先ツ之ニ匯聚シ  
 而メ後利根ニ入ル坤位ニ當リテ牛久沼アリ細流之ニ入り又之ニ出ツ  
 霞浦ト東海トノ間又ハ一沼アリ南北甚ク長ク東西甚ク狹シ名ケテ北  
 浦ト云フ其水又利根ニ入ル其東海邊ニ石アリ要石根云フ石根地ニ入り  
 ソノ大ヲ知ルモノナシト云フ北ニ沼沼アリ次ニ千波沼アリ西處ノ

水共ニ北那珂川ニ合シ而メ後海ニ注ク那珂川源ヲ下野ニ發シ常陸ヲ  
 檜哉メ東海ニ入ル其千波沼トノ間ハ即チ水戸ナリ水戸ノ正西土浦ノ  
 正北笠間トス笠間ノ西南ニ下館アリ土浦ヲ合セテ鼎足ノ形ヲナセリ  
 久慈川磐城ヨリ發源シ南ニ馳セテ月折男體金沙諸山ノ西ヲ過キ東ニ  
 折レテ那珂川ノ北ヨリ海ニ落ツ其北ニ小流數條アリ而メ最北ニ大北  
 川アリ魚塩茶石蠶種木綿ヲ産ス

後一條帝ノ時平忠常下総介ニ任シ後又ス源賴信擊テ之ヲ平ノ源賴  
 朝兵ヲ舉ル時佐竹義政腹セス賴朝來リ攻テ之ヲ誘殺ス其姪秀義金  
 砂城ニ據ル乃チ擊テ之ヲ走ラス後小田佐竹ニ氏此地ヲ分領ス戰國  
 ノ時佐竹義重全國ヲ併ス石田三成兵ヲ舉ル時其子義宣道ニ之ニ應  
 ス三成敗レテ義宣降ル徳川家康之ヲ出羽ニ徙シ其子信吉賴宣ヲ水  
 戸ニ連封シ最後賴房ヲ封ス徳川氏ノ享年水戸ノ臣國ヲ服シ密ニ江

戸入り閣老并伊氏ヲ刺殺ス己ノ國中黨派分ル藤田某田九某等據  
夷ヲ唱へ兵ヲ興シ先ツ市川某朝比奈某等ヲ除カントス逆條諸侯之  
ヲ伐チ互ニ勝負アリ幕府亦兵ヲ發メ之ヲ征ス此時武田新雲齋藤田  
寺ニ合シ兵勢頗ル強シ己ニメ軍敗レ東山道ヨリ京師ニ至リ將ニ許  
フル所アラントス美濃ニ至リ途過セス乃チ越前ニ入り加賀ニ降り  
尋テ殺サル戊辰ノ乱ニ武田氏ノ族黨京師ヨリ來リ又市川朝比奈等  
ヲ殺ス

相模誌

相模國ハ武藏ノ南ニアリ東南一角海中ニ突出シ安房上総ノ境ニ對ス  
風潮瀕ナル時ハ一帆達スヘシ則チ海門ノ咽喉ナリ南ハ海ニ面メ灣形  
ヲナシ西ハ箱根諸山ヲ繞ラシ伊豆駿河甲斐ト疆場ヲ接ス地形槽ヲ歛  
ツカ如シ國中九郡アリ土地甚メ沃穡箱根ノ山上ニ湖水アリ其上ニ二

小山アリニ子山ト云フ其北ニ當リテ足柄山アリ東ニ當リテ温泉七所  
アリ之ヲ箱根七湯ト云フ山水靈秀風流ノ士常ニ詠メ而メ帰ルト云フ  
東ニ下リテ平地ヲ得之ヲ小田原トス南ニ石垣山石橋山アリ又南ニ小  
岬アリ真鶴岬ト云フ國中ニ大水アリ源ヲ足柄ノ北ニ發シ小田原ノ東  
ヨリ海ニ入ル者ヲ酒匂川ト云ヒ源ヲ甲斐ニ發シ國ノ北邊ヲ圍リ終ニ  
南海ニ入ル者ヲ馬入川ト云フ二水ノ間ニ山アリ大山ト云フ又小河ニ  
三派アリ馬入ノ東ニ流ルヘ河ヲ片瀬川ト云フ是ヨリ東南ヲ鎌倉トス  
其海濱東半ヲ由井濱ト云ヒ西半ヲ七里濱ト云フ其西ニ一小島アリ江  
島ト云フ湖水退ケハ歩メ行テ得鎌倉ノ東南ヲ三浦ト云フ全地一大  
岬ヲナセリ岬頭ノ小岬ヲ城島ト云フ岬ノ東濱ニ西港アリ南ヲ浦賀ト  
云ヒ北ヲ横須賀ト云フ横須賀ノ港上ニ主松寮アリ國石鉄及ヒ薪炭材  
料ヲ産入稻米尤モ美ナリ

治承中源賴朝大庭景親ト石橋山ニ戦ヒ軍敗レ海ニ航メ安房ニ至ル  
後遂ニ平氏ヲ亡シ府ヲ鎌倉ニ開ク賴朝薨シ賴家立ツ北條時政ノ廢  
スル所トナル其弟實朝立ツ建保中和田義盛兵ヲ起シ北條氏ヲ討ス  
軍敗テ殺サル承久中實朝鶴岡ノ祠ニ詣リ賴家ノ子僧公曉ニ殺セラ  
ル源氏亡フ是ニ於テ北條氏幼主ヲ立テ政權ヲ專ニス時賴ニ至リ  
三浦光村亂ヲ起ス兵利アラヌ之ニ死ス貞時ニ至リ安達・盛勢威  
ヲ振テ貞時之ヲ族滅ス高時ニ至リ後醍醐帝鎌倉ヲ征セントス高時  
帝ヲ隱岐ニ徙シ兵ヲ發メ所在ノ官軍ヲ擊ツ新田義貞上野ニ興リ勝  
ニ乘メ來リ攻ム高時自殺ス北條氏亡フ其後足利尊氏（たかよし）獲良（とら）親王ヲ謀  
メ鎌倉ニ幽シ之ヲ弑ス是時ニ當リテ高時ノ子時行亂ヲ起シ鎌倉ニ  
入ル尊氏京師ヨリ至リ時行ヲ擊テ之ヲ復ス己ニメ尊氏攻ム新田義  
貞來リ征シ箱根ニ戰フ義貞敗レテ還ル其後北條顯家及ヒ新田義興

等前後鎌倉ヲ取ル然レトモ皆保シ能ハス尊氏其次子基氏ヲ是ニ置  
キ關東ヲ總督セシム持氏ニ至リ宗家及ヒ管領上杉憲實ト隙アリ憲  
實上野ニ奔ル持氏兵ヲ遣テ之ヲ攻ム將軍義教大兵ヲ發シ鎌倉ヲ討  
ム持氏降リ尋テ自殺ス後持氏ノ子成氏上杉憲忠ヲ殺シ鎌倉ニ入ル  
其族房頭兵ヲ率テ成氏ヲ伐ク成氏走ル明應中北條長氏伊豆ニ興リ  
計ヲ以テ小田原ヲ取リ又三浦城ヲ取ル氏綱氏康ニ至リ上杉氏ト連  
年共ヲ交ヘ遂ニ八州ヲ畧取ス上杉輝虎大舉メ小田原ニ至ル將士叛  
ク者アリ乃チ師ヲ遣メ武田晴信北條氏ヲ三増ニ敗リ小田原ニ薄ル  
ニシテ亦引還ス氏政氏直ニ至リ豊臣秀吉來リ征ス關東ノ屬城皆陷  
ル氏政自殺シ氏直放タル北條氏亡フ國徳川氏ニ歸ス戊辰ノ亂ニ東  
兵安房ヨリ舟ニ乘メ至リ箱根ヲ扼ス官軍之ヲ伐チ大ニ山中ニ戰フ  
東兵敗レ後海ニ浮ヒテ去ル

伊豆誌

伊豆國ハ北境駿河ニ接シ鈍角ヲトス東西兩邊海ニ面シ漸ク殺キテ南ニ至リ尖頭ヲ為ス即チ東海ノ一大巖地ナリ國中四郡アリ山ニ非レハ則チ水山ニ鑛金美石アリ海ニ松魚海苔アリ東北ノ山ヲ日金弦卷黒兵ト云フ其南方ヲ伊東トス小岬アリ又南ニ大室山大菩薩山アリ國ノ中央ニ大山アリ天城山ト云フ薪炭多ク是ヨリ出ツ是際ヨリ東南ニ流ルハ水ヲ川津川箱生澤川トス箱生澤ノ注ク處ヲ下田港トス南海來往ノ船多ク此ニ停泊ス而シテ此際多ク石ヲ出ス南ノ盡頭ヲ石麻崎ト云フ狂瀆崖巖ヲ打ツ驚クヘク喜フヘシ西ニ繞リテ海中ニ岩アリ門ノ如シ千貫門ト云フ其北ニ松崎川仁科川アリ最モ北ニ曲岬アリ駿河ト灣ヲ抱ケリ而シテ西岸一帶都テ穂港アルナシ狩野川天城山ヨリ出テ諸水ヲ合メ北行シ北條ノ西ヲ過キ駿河ニ入ル謂フ所莊山北條小島大場等ノ地

皆川ノ東ニアリ國中熱泉十餘アリ其中弦卷山ノ東麓ニ熱海ノ湯アリ北條ノ西南三里ニ修禪寺ノ湯アリ是其最モ著名ナル者ナリ又國ノ東南海中ニ七島アリ大島三宅島最モ大ナリトス大島ノ内火山アリ常時烟焰ヲ吐ケリ其南方ニ當リテ八丈島アリ島ノ大サ大約東西七里南北二里半四邊險難舟ノ近ノト甚々難シ地指木ヲ生セス而シテ油ヲ産ス天武帝ノ時駿河二郡ヲ割テ此國ヲ置ク扶桑畧記ニ見ユ而シテ書史應神帝伊豆ノ人ヲ大船ヲ造ラシムルヲ載ス天武以前已ニ此國アルニ似タリ然レドモ未タ孰レカ是ナルヲ知ラズ保元ノ亂源爲朝ヲ大島ニ流ス爲朝近傍諸島ヲ保セ自ラコレヲ領ス後去テ琉球ニ入ル平治ノ亂平氏源賴朝ヲ蝦小島ニ流ス後二十年ヲ經テ以仁王ノ令旨ヲ奉ノ兵ヲ起シ目代山木兼隆ヲ襲殺シ遂ニ相模ニ入ル賴朝天下ヲ平クルノ後其策範賴ヲ此地ニ幽シ尋テ死ヲ賜フ其後北條時政源賴

家ヲ修禪寺ニ殺入足利氏ノ時東國乱ル將軍義政其弟政知ヲ鎌倉ニ遣ル入能ハスメ北條ニ居ル之ヲ堀越御所ト云フ後供子茶々ニ殺セラルル時ニ北條長氏駿河ニ客バ、兵ヲ發メ茶々ヲ殺シ國中ヲ平定ス後計ヲ以テ小田原ヲ取リ之ニ入ル豊臣氏東征ノ時北條氏規並山ヲ守リ屢カ戦ニ後遂ニ降ル關原ノ戰浮田秀家西軍ノ元帥アリ軍敗ル、ニ及ヒテ嶋津氏ニ投ス德川氏死一寺ヲ滅シ之ヲ八丈島ニ流ス

甲斐誌

甲斐ヲ環ルハ皆山ナリ國ノ形而凡ノ如シ東帶ヲ相模ニ接シ北方濱ヲ武藏ニ接シ信濃ニ交ヘ南方濱駿河ニ接河ニ界シ而シ西則テ駿河信濃ノ邊ニ安ンス國中四郡アリ其地信濃ト共ニ至高ノ所トス國中ノ山東北ニ天目山アリ北境ニ金峯ハ嶽アリ河ニ臨ミ岳鳳皇白根諸山アリ西浦七所山嶽並山ナリ而シ東南ニ高ノ嶽並山兀立ス甲斐其三ノ一ナリ

得登山ノ路アリ上吉田ト云フ岳麓ニ五大湖アリ東ニアル者ヲ山中ノ池ト云フ北次ヲ川口湖ト云フ山中池ヨリ出ル水或ハ北シ或ハ東シ諸水ヲ合シテ東狹橋ヲ過キ相模ニ入ル即チ馬入川ノ上浮ナリ國ノ中央ヲ府中トス其西ニ當リテ葦崎アリ其北ヲ新府トス荒川正北ヨリ都邑ノ西ヲ通過ス又苗吹川東北ヨリ諸水ヲ合ノ其南ニ至ルニ水會合メ西南ニ流ル之ヲ富士川トス既ニノ南芦川北釜淵川ヲ合セ漸ク南ノ駿河ニ奔注シテ鞆澤ヨリ舟ノ而ノ下ル須臾ニ山水面ヲ改ム翠壁一重雲一重我是於テ又之ヲ云フ産スル所五石絹細葡萄棗石炭等ナリ

源義光北國ヲ領シ子遂ニ之ニ居ル武田氏ハ其裔ナリ晴信ニ至リ四隣ヲ兼兆シ天下ノ強國ト稱ス子勝頼諱ヲ信シ功臣多ク戰死ス織田信長父子大舉メ來リ討ツ諸軍悉降相尋ク勝頼天目山ニ接シ健闘メ死ス武田氏亡フ織田氏德川氏相奪テ之ヲ領ス德川氏關東ニ徙リシ



加藤淺野又相尋テ之ヲ領ス後徳川家康其子義直ヲ封ス巳ニ尾張ニ徒ス其後四世將軍其弟綱重ヲ封ス綱重罪アリ死ヲ賜フ二十餘年ヲ經テ五世將軍綱重ノ子ヲ養フテ世子トシ其地ヲ舉テ柳澤吉保ヲ封ス後之ヲ郡山ニ徙封シ城番ヲ置テ之ヲ治ル戊辰ノ乱東兵拮ヲ勝沼驛ニ設ク西軍ヲ拒キ敗レテ東ニ走ル

駿河誌

駿河國ハ東相摸伊豆ニ界シ南西海ニ臨ミ伊豆ト一大灣ヲ擁シ西遠江ト大井川ヲ界ス北方一帶甲斐ト界シ兩肩ヲ聳ヤカメ凹字樣ヲナス國七郡アリ北境皆山獨リ海邊平野ナリトス東方ニ箱根ノ連山アリ凹字ノ東肩ニ富士山アリ高サ齊漢ヲ摩シ白雪恒年絶ニス實ニ我國第一ノ高山ナリ山頂ニ大河アリ古時烟燭ヲ發スル所ト云フ登山ノ路東ニ須走アリ南ニ村山アリ山ノ東腰一山アリ形附贅ノ如シ寶永山ト云フ寶

永中岳頂遠ニ灰石ヲ噴シ此山ヲ起立ス因テ以テ名ク西肩ノ東ニ小澤山大谷崩アリ西北ニ御室山諏訪岳松山アリ西ニ高根高尾笠張千葉諸山アリ其東ニ宇津山及ヒ小流兩三派アリ其東安倍川北ヨリ來リ海ニ入ル其東岸ヲ靜岡トス北方ニ山アリ龍爪山ト云フ東南海邊ノ山ヲ久能ト云フ久能ヨリ東北ニ向フテ沙嘴アリ形象鼻ノ如シ三保ト云フ其内灣ヲ清見港トス港ニ注ク水ヲ巴川トス其東ニ沖津川アリ東岸ヲ陸陸トス又東ニ富士川アリ瀧流迅疾箭ヲ發ツカ如シ即チ凹字ノ正中ニ當レリ其東ニ沼アリ此際ヲ浮島原ト云フ即チ岳ノ正南ニ當レリ又東ヲ沼津トス北ニ足高山アリ富士山ニ切近ス東南ニ狩野川アリ伊豆ヨリ來リテ海ニ入ル一水東北ヨリシ狩野川ニ合ス即チ黃瀬川是ナリ國茶紙及ヒ漆器ヲ産ス

景行帝ノ時皇子小碓東征シ浮島原ニ至ル賊原ヲ燦テ之ヲ圍ム皇子

劍ヲ揮フテ之ヲ拒ツ賊軍敗走ス治養中源頼朝兵ヲ率ノ平維盛等大  
 兵ヲ率キテ之ヲ討シ富士川ニ陣ス一夜水會ノ起ルヲ聞キ誤リテ敵  
 軍已ニ至ルトナシ大ニ潰走ス頼朝天下ヲ平ソル後富士野ニ獵ス曾  
 我兄弟工藤祐經ヲ撃テ父ノ仇ヲ復ス後數年握原景時諸將ト難ヲ構  
 へ奉族西走シ頼朝ニ至リ土人ノ殺入ヲトシル其後阿野全成叛ス源  
 頼家之ヲ常陸ニ放チ人ヲメ之ヲ殺サシム後醍醐帝ノ時足利尊氏反  
 ス新田義貞之ヲ征シ足利直義ト手越河原ニ戰フテ之ヲ破ル後直義  
 尊氏ニ叛キ兩軍大ニ薩陸山ニ戰フ直義敗走ス尊氏後今川範圍ヲ此  
 國ニ封ス義元ニ至リ兵ヲ發シ尾張ニ至リ織田信長ニ襲ハレテ敗死  
 ス子氏真昏愚武田晴信之ヲ攻ム氏真奔ル今川氏亡フ武田氏北條氏  
 ト屢兵ヲ國中ニ接ヘ北條綱重ヲ蒲原ニ攻テ之ヲ獲遂ニ府中ヲ取ル  
 勝頼ニ至リテ織田氏ノ亡ス乃チナリ國徳川氏ニ歸ス家康乃チ府中

城ニ居ル其後豊臣氏之ヲ關東ニ移封ス關原役後家康復府中城ニ居  
 ル家康薨ス頼宣忠長宗室ヲ以テ相尋テ封セラレ後忠長薨アリテ封  
 ヲ收ソラル慶安中由比正重反テ謀リ之ニ據ラントス事露レテ謀ニ  
 伏ス戊辰ノ乱ニ東方已ニ定マリ朝廷徳川氏此地ニ封シ遠江及ヒ三  
 河數郡ヲ加封ス

遠江誌

遠江國ハ十二郡アリ南海ニ面ス東大井川ヲ以テ駿河ニ界シ北信濃ト  
 連山ヲ界シ西亦山ヲ分チテ三河ニ界ス地勢北ヨリ南ニ向フテ漸ク啓  
 ス巽形ヲナス其巽位ノ一隅ヲ御前岬ト云フ大依北平山多ク南平土  
 多シ東北ニ風不入山朝比岳黒法師春野大日諾山アリ東ニ粟岳アリ其  
 西南ヲ琳川トス南方ニ小笠山高天神アリ亦其西南ヲ横砂トス國ノ中  
 央ニ不動秋葉大鏡諸山アリ西北ニ権現平澤白倉諸山アリ西南隅ニ高

師山アリ大井川甲斐ノ極西ニ發源シ直流メ南ニ馳入平時水甚タ少シ  
秋水時ニ至レハ西溪ノ間牛馬ヲ辨セス故ヲ以テ街道等一ノ大河トス  
其他細流東北ニ發水シ谷メ一トナリ南海ニ入ル而メ天龍川信濃ニ發  
源シ西北隅ヨリ蛇行メ新ク大河トナリ亦南海ニ入ル其西ニ濱松アリ  
濱松ノ北ニ味方原アリ其西方ニ大灣アリ門口甚タ狹ク中ニ支灣多シ  
形珊瑚樹ニ似タリ此灣明應ノ地震永正ノ山崩元祿ノ海嘯ニ由テ陸地  
陥リテ水底トナル所多シ業海ノ変又何リ暴ナル其西岸ヲ新居ト云フ  
コレヲ國ノ西境トス葛布木村及ヒ石炭石腦油ヲ産ス

嵯峨帝ノ時此國及ヒ駿河ニ配ス所ノ新羅七百八國民ヲ殺シ伊豆ニ  
入り海ニ泛ヒテ逃ル追兵撃テ之ヲ織入南北朝ノ時宗良親王兵ヲ井  
伊城ニ起ス後今川氏ノ封國タリ戰國ノ時徳川家康三河ヲ定メ遂ヒ  
ニ治ヲ濱松ニ徙シ慶長武田氏ト國中ニ戰フ己ニメ晴信ト味方原ニ戰

テ大ニ敗ラル武田氏亡フルニ及ヒテ國盡ク徳川氏ニ屬ス後豐臣秀  
吉徳川氏ヲ關東ニ封ス關原捷後又徳川氏ニ帰ス

三河誌

三河國ハ南海ニ臨ミ東邊江ニ正接シ北信濃美濃ニ界シ而メ西堺川ヲ  
以テ尾張ニ界ス全國八郡アリ地勢畧方形而メ東南一大長岬アリテ坤  
位ヲ指ス其頭處ヲ伊良胡ト云フ西南志摩ニ對ス岬半ノ一角大地ノ角  
ト對ノ灣ヲ包ム灣ノ當中ヲ豊橋トス豊川東北ヨリ來リ豊橋ヲ過テ灣  
ニ入ル其上流東ニ鷲巢山アリ西ニ長篠アリ其北ニ鳳來寺アリ國中  
心ヨリ稍西ニ松平アリ其西南ヲ岡崎トス皆徳川氏ノ故地ナリ矢野川  
北方ニ發源シ西ニ流レ南ニ折レ東足助川ヲ合セテ岡崎ノ西ヲ過キ又  
東大平川ヲ合セテ海ニ入ル國中小山多シ木綿石灰ヲ産ス  
南北朝ノ時一色吉良ニ氏之ヲ分領ス其後新田氏ノ裔世良田有親此

国ニ至ル其子泰親松平氏ニ養ハル子孫漸ク其土ヲ廣ム其八世ノ孫  
ヲ徳川家康トス家康ノ幼ナルヤ織田氏來リ侵入今川氏之ヲ救ヒ小  
豆坂ニ戰フテ之ヲ走ラヌ家康長スルニ及ヒテ岡崎ニ居リ勸ク國中  
ヲ平定ス己ニメ治ヲ述江ニ移ス其後織田信長トカヲ戮セ武田勝頼  
ヲ長篠ニ破ル豊臣氏東征ノ後徳川氏ヲ關東ニ移封ス關原役後徳  
川氏ニ歸ス

尾張誌

尾張國ハ其形匙ヲ例ツカカシ東シ柄後ヲ三河ニ接シ北匙底ヲ美濃ニ接  
シ西匙頭ヲ伊勢ニ接シ而メ匙面ト柄前ト海湾ニ面ス國中八郡アリ土  
地平潤海湾ノ盡ル處ヲ宮ト云フ熱田社アリ其正北ヲ名古屋トス北ニ  
小牧山アリ又其北境ヲ犬山トス其東ニ八雙山黒平山アリ山下ニ池アリ  
入鹿池ト云フ矢田川龍泉寺川東ヨリ來リ名古屋ノ北ニ合流シ勸ク

桑ノ海ニ入ル之ヲ枇杷島川ト云フ名古屋ノ西北枇杷嶋川ヲ隔テ、清  
湖アリ其西ヲ過キテ南スル水ヲ野江川云フ其地細流數派アリ木曾川  
匙底ニ從フテ西南シ遂ニ岐ノ海ニ入ル之ヲ國ノ西境トス東ハ宮ノ東  
ニ山崎川アリ又東ヲ鳴海及ヒ桶狭間トス其間ニ天目川アリ是ヨリ南  
一大隅地アリ即チ匙柄ノ處トス其西南ニ向フ處ヲ野間トス南ノ盡頭  
ヲ師崎ト云フ東ニ河ノ伊良胡岬ニ對ス而メ隅地ノ東西兩岸俱ニ淺灘  
ナリト云フ國中舊藩盤嶺續嶺及ヒ酒ヶ産ス

平治ノ亂源義朝京師ニ敗レ内海ニ至リ長田忠致ニ依ル忠致欺キテ  
之ヲ殺ス承久ノ役京軍此地及ヒ美濃ヲ守リ東軍ノ敗ル所トナル足  
利氏ニ至リ斯波氏ヲ封ス後其臣織田信秀之ヲ棄テ其子信長騰畧ア  
リ今川義元來リ攻ム信長之ヲ桶狭間ニ襲ヒ撃テ之ヲ殺ス己ニメ美  
濃ヲ取リ治ヲ岐阜ニ徙ス信長薨メ後其子信雄之ヲ領ス豊臣秀吉信

雄ト絶ツニ及ヒテ大兵ヲ引テ來リ伐ツ信雄援ヲ徳川家康ニ乞フ家康  
六考吉ノ軍ヲ長秋ニ破ル幾ハツモ無クメ信雄考吉ト和ス秀吉東征  
ノ後信雄ヲ出羽ニ徙封ス閑原ノ後後家康其子忠吉ヲ封ス忠吉卒ス  
又其弟義直ヲ封ス

志摩誌

志摩國ハ我國ニ在テ至小ノ國ナリ西伊勢ニ接シ南東北三方均ク海ヲ  
受ク國中ニ郡アリ西境ヨリ出ル水兩ニ派東ヲ指テ馳セ内海ニ注ク内  
海口狹ク内廣シ其北岸角出ノ所ヲ的矢崎ト云フ内海ノ口ヨリ伊勢ノ  
境ニ至ルマテ地勢微ク西北ニ殺ケリ最北ノ地ヲ鳥羽ト云フ東三河ノ  
伊良胡岬ニ遙對シ一大海水其間ニ入ル其東ニ入ル者ヲ三河ノ灣トシ  
西ニ入ル者ヲ伊勢ノ海トス而メ此港西方ニ紀州灘アリ東方ニ遠州灘  
アリ故ニ往來ノ船必ス此ニ入り風定マルヲ待テ後帆ヲ掲ク是ヲ我國ノ

喜望峯ト云フモ豈不可ナランヤ其東北坂手菅島等ノ島十數アリ内海  
ヨリ南岸頭波荒シ其東南海角ヲ大王岬ト云フ岬後西ニ向フテ更ニ一  
大長岬ヲナシ其内亦海水ヲ控ス即チ此國ノ南濱ナリ産スル所真珠魚  
類アリ

織田氏ノ時九鬼嘉隆此地ニアリ數々信長ヲ援ク豊臣氏ニ至リ因テ  
攀テ嘉隆ニ與フ石田三成兵ヲ攀ル時嘉隆鳥羽ニ據テ西軍ニ應ス西  
軍敗ル、ニ及ヒテ嘉隆自殺ス

伊勢誌

伊勢國ハ東南志摩ニ接シ正南海ニ臨ミ西南紀伊ニ界シ西大和伊賀及  
ヒ近江ニ連ナリ北美濃尾張ニ接ス東尾張ノ師崎ト一大海ヲ隔ツ縉フ  
所伊勢ノ海是ナリ汀渚清淺貝多ク珠多シ地勢北一半ハ甚々狹ク南一  
半ハ漸ク闊ク殆ント捺ノ形ノ如シ西土高九東土漸ク低ル北尾張ニ交

ハル處ヲ兼名トス美濃ノ境ニ熊坂峠アリ近江ノ境ニ藤原赤釋堂音  
 岳鈴麻山アリ大和ノ境ニ尾岳高見音聞見音諸山アリ之ヲ因テ西南  
 トス南方ノ瀨坤坎相犯ス志摩ニ近キ處ヲ宇治ト云フ内宮アリ其北  
 山田トス外宮アリ其東流ヲ二見浦ト云フ其北ニ宮川アリ西南ノ山ヨ  
 リ發源ス又北ニ藤原川柳田川アリ其北少ク灣テナス雲津松坂ニ水ノ  
 際ニ落ツ松坂川ノ南岸ヲ松坂トシ雲津川ノ北方ヲ津トナス次ニ塔世  
 川高岡川崎川三重川淺毛川アリ以テ兼名ニ至ル 而メ此諸水皆東海  
 メ海ニ灌フ國中十三郡アリ陶器木綿及ヒ茶ヲ産ス  
 並仁帝ノ時天照大神ノ宮ヲ五十鈴川ノ上リニ建ツ今ノ内宮是ナリ  
 雄略帝ノ時豐受大神ヲ丹波ヨリ山田ニ遷ス今ノ外宮是ナリ後世平  
 氏此國ニ封セラル故ニ平氏トナルノ後其遺臣等共ヲ奉テ國號ヲ平  
 ル源朝雅擊テ之ヲ平ノ南北朝ノ時北畠顯家足利氏ノ兵ヲ平ノ源朝雅

ル南北一統ノ後南朝ノ胤小倉殿大統ヲ繼ント欲シ國司北畠氏ト謀  
 誅リ兵ヲ起ス國司戰死シ殿乃チ降ル戰國ノ時織田信長北畠具教ヲ  
 攻ム具教成キヲ行フ信長其子信雄ヲノ北畠氏ヲ續シム又神戸盛友  
 ト平キ其子信孝ヲ以テ神戸氏ヲ續シム時ニ長島ノ賊屢興リテ信長  
 ヲ苦マシム最後信長兵ヲ引テ長島ヲ攻メ擊テ之ヲ殲ス因テ其五郡  
 ヲ割テ滝川一益ニ與フ信長薨ノ後北畠具親篠山ニ據ル信雄擊テ之  
 ヲ走ラス是ヨリ先一益信孝ヲ右ヶ豊臣秀吉ヲ除カントス秀吉信雄  
 ト一益ヲ長濱ニ攻ム已ニ一益降ル秀吉信雄ヲノ國ヲ併サシム小  
 牧ノ役一益秀吉ニ應メ國中諸城ヲ攻ム徳川氏之ヲ救フ一益乃チ降  
 ル秀吉東征シ後信雄ヲ出羽ニ徙ス關原ノ役諸城西軍ニ應シ已ニメ  
 平ク其後徳川氏藤堂氏ヲ津ニ封ス

伊賀誌

伊賀國ハ東方一帶伊勢ニ思シ北方一帶近江ニ接シ西位山城ニ交ハリ西ヨリ午ニ至ル迄大和ニ界ス其地南北稍長ク東西稍短ク楕圓ノ狀ヲナセリ國四郡アリ四境皆山賊ニ山間ノ一彈丸地ナリ長田川東南ニ發源シ西北ニ流レ山城ニ入ル之ヲ本津ノ上流トス一水東北ヨリ來リテ之ニ合ス其間ヲ上野トス山城ノ地方ニ迹多黒田川大和ヨリ來リ名張川ト合メ後々西大和ニ後ル河南ニ黒田峠アリ嗚呼夫レ蕞再々ルモ國ナリ學者國ノ大小ヲ以テ遠ニ其優劣ヲ論スル勿レ

天武帝ノ時伊勢四郡ヲ割テ此國ヲ置ク戰國ノ時國中乱ル北畠信雄前井頼慶之ヲ征シ十餘城ヲ拔ク信長乃チ之ヲ信雄及ビ信包ニ分賜ス豊臣氏ニ至リ前井定次ヲ封ス徳川氏ニ至リテ之ヲ藤堂氏ニ與フ

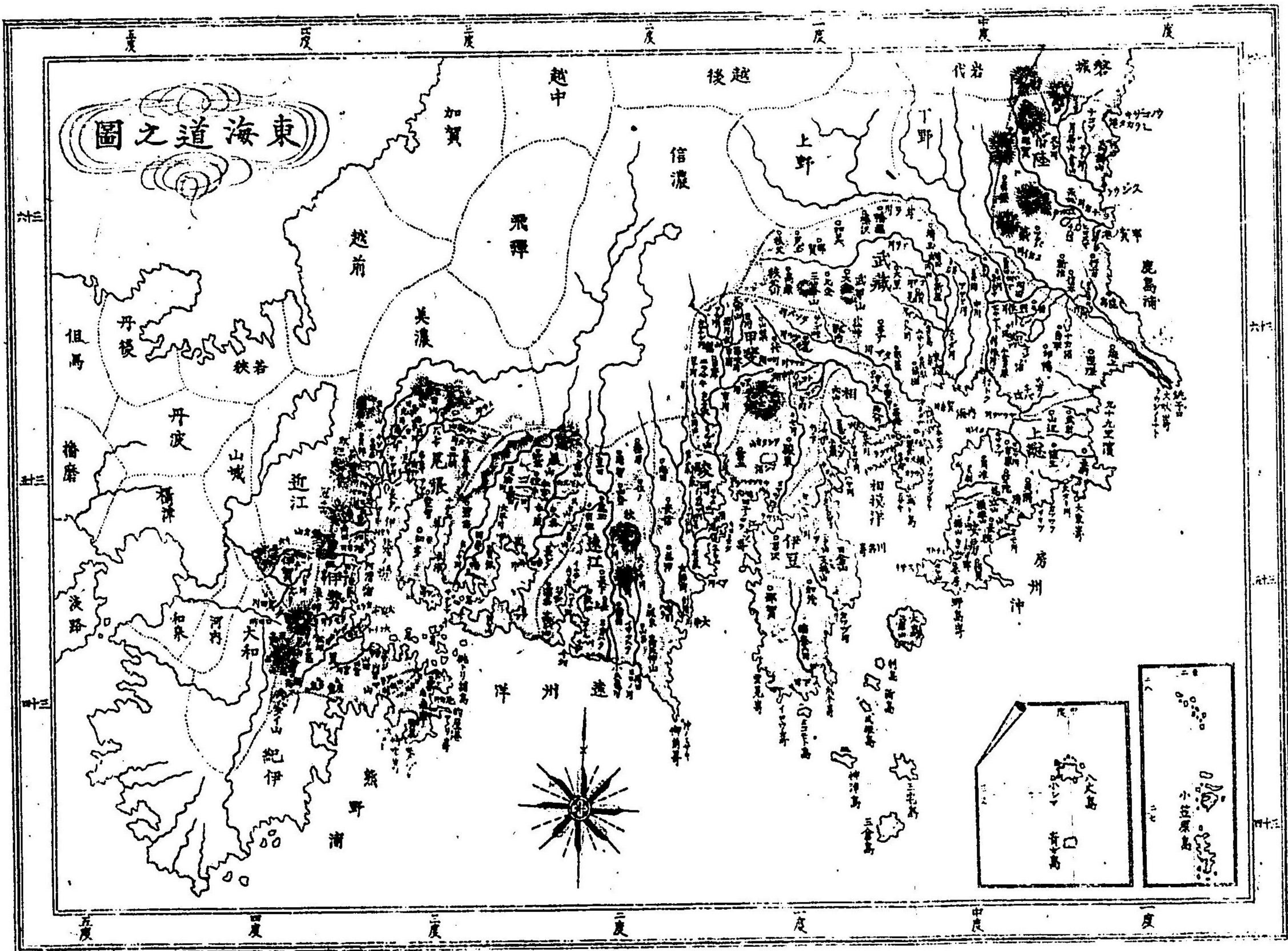
附 小笠原島誌 一ニ奉入島ト云フ

小笠原島ハ東海道ノ東南洋中ニアリ島數總計九十有四其最モ大ナル

者北ニ父島アリ南ニ母島アリ父島ノ地南北稍長ク東西之ニ半ス内ニ鐘山旭山アリ東南隅ヲ巽岬ト云ヒ西南隅ヲ南岬ト云フ西北ニ灣アリ口西ニ向フ中ニ二見港アリ北至近ノ處ニ兄島弟島アリ稍大トス母島ノ地父島ト遙ニ相隔絶ス其地形南北甚々長ク東西甚々短シ險夷相半ス南方ニ乳房山アリ東岸ノ南方ニ小半島アリ東岬ト云フ次ニ石門岬アリ其北ニ又半島アリ南ヲ危港ト云ヒ北ヲ北港ト云ヒ極北ヲ乾岬ト云フ西南ニ沖村港アリ極南ヲ南岬ト云フ南方ニ婿島妹島姪島等アリ昔小笠原貞頼新地ヲ索ノ始テ此島ヲ得因テ島毎ニ其名ヲ命シ而シテ号ノ小笠原島ト云フ嗚呼我國豈關龍其人無シトセンヤ但得ル所ノ地大小肥瘦同カラザルヲ以テ其名特ニ顯レサルノミ島中季候炎威殊ニ酷産スル所椰子橄欖龍眼肉挾椰子及ヒ甘蔗アリ海中巨鼈鯨魚甚々多シ

文録中書長秀吉小笠原貞頼ヲメ洋中ノ島嶼ヲ索メ以テ所有ト爲ヘキ  
ヲ命ム是ニ於テ貞頼洋中ニ航出シ始テ此地ヲ發見シ永ク其所領トス  
寛永中故アリテ渡海中絶ス享保中貞頼ノ裔貞任上書メ島ヲ檢センコ  
ト乞フ之ヲ許ス後五年貞任ノ姪長晁大坂ヨリ船ニ乘シ之ヲ赴キ島中  
ノ産物ヲ齊メ歸ル已ニメ航海又已ム文久中幕府官人ヲ置テ又島中ヲ  
巡察ス





畿内総論

畿内ハ北北陸道ニ接シ東東山東海兩道ニ接シ西山陰山陽兩道ニ接シ  
 東南南海道ニ交ハリ南方海波ヲ受ク南北稍長ク東西稍短ク五穀相依  
 ル而メ實ニ二府三縣五十五郡ヲ兼有ス五穀豐備茶葉綿花亦多シ京都  
 ハ則チ桓武天皇定鼎ノ地地勢山河ヲ襟帶ス源平以來屢敵ノ累入ヲ受  
 クル者ハ思フニ戰ノ異ナリ獨リ地理ノ不便ノミニ非サルナリ比叡愛  
 宕ハ東西峻山之ヲ得ルト得サルト勝敗ニ関涉アリ山崎八幡山勢相迫  
 ル亦是一大要處而メ淀河一道舟楫甚タ便ナリ大和ハ古昔王城ノ在ル  
 處四面皆山而メ其山路皆要厄ノ地タリ大和川吉野川亦國中ノ要處南  
 方一帶山又山南朝ノ攻メ易カラザルエシ其ノ之ニ由ルカ而シテ南  
 風終ニ競ハサル者ハ亦其地一隅ニ據ルヲ以テカ是ヨリ紀伊ニ至ル和歌  
 山由造新宮ニ出ル三道ヲ以テ稍大トス河内和泉ハ摂津ニ接シテ地勢

平身先ッ大坂ニ據ルハ以テ二國ヲ割スヘシ堺ハ古ヘ外船ノ到ル處後世大和川ヲ決  
其北ニ入ル而メ河水多ク泥沙ヲ出シ此際海底年ニ漸ク理ム今已良港ニ非ス大坂ハ四方ノ  
衝路而メ地勢南西ヲ計ルヘシ故ヲ以テ明治四年鎮臺兵ヲ置キテ以テ不虞ニ備フ  
安治川以西ノ川水潦ノ時皆小害アリ大坂港ハ兵庫ノ良キニ如カス其海ハ底淺  
ノ波高シ之ニ加フルニ武庫嵐アリ兵庫ハ則チ我國第一ノ大港各地ノ船必之  
ニ入ル則チ一大緊要ノ地捕河州ノ敵ヲ此地ニ防ク蓋シ之カ爲ノミ

山城誌

山城國ハ南方大和ニ接シ東南伊賀ニ界シ西南河内攝津ニ交ハリ西ヨ  
リ北ニ至リテ丹波ニ隣リ東方一帶総テ近江ニ彎形ヲ受ク故ニ其地東  
ニ遶メ西ニ張ル畧櫛ノ形ノ如シ國中八郡アリ四圍皆山内甚ク坦平此  
國及ヒ丹波ノ東方ヲ合セテ西京府トス即チ三府ノ一ナリ其内ニ舊皇  
居アリ四方衝衝碇ノ如ク矢ノ如ク既ニ庶ニメ且富メリ其西北ニ紫野

北野及ヒ金閣寺等アリ鴨川北方ヨリ來リ府ノ東邊ヲ過テ南流シ稍西  
ニ向フ大堰川西北ヨリ來リ東南ニ流レ鴨川ト合ス宇治川近江ノ琵琶  
湖ヨリ發シ西南ニ驅セテ二水ノ合流ヲ受ケ國中ヲ横斷ス其下流右ヲ  
山寄ト云ヒ左ヲ八幡ト云フ木津川大和伊賀ノ際ヨリ來リ笠置山ノ北  
ヲ過ク或ハ西シ或ハ北シ八幡ノ北ヨリ安治川ニ入ル其會流ノ處ヲ渡  
トス其東ニ大沼アリ東北沼河ノ間ヲ向島ト云ヒ河北ヲ伏見ト云フ向  
島ノ東ヲ榎島及ヒ宇治トス川ノ北邊茶園多シ其北ヲ醍醐山科トス西  
ニ小山一帶アリ西鴨川ニ臨ム其麓ニ稻荷アリ東福寺アリ又泉涌寺ア  
リ四條帝以來歷代帝王ノ梓宮常ニ此寺ニ歛ム其北ニ阿彌陀峯清水社  
園等頂山南禪寺アリ給メ之ヲ東山ト云フ紫北 近江ニ界スル處北  
叡山アリ其西鴨川ノ東岸ニ加茂兩社アリ其北方ニ鞍馬山アリ之ヲ園ノ  
子位トス又西北ノ山ヲ愛宕山ト云フ下ニ月輪榎尾アリ其南ヲ嵯峨ト

云フ即チ大堰川ノ上流ニ當レリ河南ヲ嵐山トス國中桓武以後ノ山陵  
 多シ産スル所機織陶器及ヒ茶葉諸國ニ甲ヌリ  
 桓武帝ノ時帝都ヲ此國ニ定メ山背ヲ改メテ山城トス保元中崇徳上  
 皇復祚セントテ欲シ白河殿ニ據リ源為義父子ヲメ之ヲ守ラシム後  
 白河帝源朝頼平清盛等ヲ遣シ攻テ之ヲ陷ル之ヲ我國大亂ノ初トス  
 是ヨリ清盛寵遇日ニ優渥義朝等之ヲ除カント欲ス平治元年清盛蘇  
 野ニ詣ル義朝等遂ニ反ス清盛遂ニ還リ撃テ之ヲ平ク是ニ於テ平氏  
 勢威日ニ熾ン帝王ノ廢立皆其手ニ出ツ治承中源頼政以仁王ヲ奉メ  
 平氏ト宇治ニ戰ビ軍敗レテ之ニ死ス而メ諸國ノ源氏並ヒ興ル平氏  
 大軍ヲ發シ源頼朝及ヒ義仲ヲ伐シム皆敗レテ還ル乃チ帝ヲ挾ミテ  
 西海ニ奔ル義仲尋テ京師ニ入ル己ニメ横恣暴行上下進ニ苦ム頼朝  
 二弟範頼義経ヲメ之ヲ討セシム大ニ宇治津田ニ戰フ義仲戰死ス其

後義経平氏ヲ亡ホシ京師ニ在テ功名甚ク高シ頼朝之ヲ悲シ僧昌俊  
 ヲノ其堀川ノ筆ヲ襲ハシム克ク己ニノ義経奔ル承久中後鳥羽上  
 皇順徳帝ト謀リ兵ノ遣テ鎌倉ヲ滅ナントス官軍途ニノ販ル北條義  
 時帝及ヒ上皇ヲ海島ニ徙シ兩政事府ヲ六波羅ニ置キ後醍醐帝ニ至  
 リ北條高時ヲ討セントシ事露ル高時帝ヲ海島ニ徙サントス帝逃レ  
 テ笠置山ニ入ル賊兵攻テ之ヲ陷ル帝ヲ隱岐ニ徙ス高時又足利高氏等  
 チ京ニ遣リ逃國ノ官軍ヲ伐メシム高氏帰順シ却リテ六波羅ヲ破ル  
 車駕遂ニ京ニ還ル其後尊氏鎌倉ニ反ス尊氏ハ即チ高氏ナリ大舉メ  
 京師ヲ攻ム官軍之ヲ勢多宇治及ヒ山崎ニ拒キ皆破フル尊氏京ニ入  
 ル幾ハシモ無ク敗レテ西ニ走リ九國ノ兵ヲ拒チテ再ヒ關ヲ犯ス帝  
 叡山ニ幸ス新田義貞等尊氏ト京中ニ戰フ互ニ勝負アリ尊氏詐リテ  
 降ヲ容レ車駕ヲ奉迎ス己ニノ帝其費ラレ、トテ覺リ大和ニ潛幸ス

之ヲ南朝トス是ニ於テ尊氏別ニ皇胤ヲ選ビテ之ヲ立ツ之ヲ北朝ト  
 而シテ政者尊氏ニ在リ其後北畠顯信新田義興畠山三棟ノ尊氏兵ヲ遣  
 テ之ヲ陷ル後十餘年南帝畠山三幸シ精正儀等ヲメ京ヲ攻シメ北帝  
 ヲ取ル是ヨリ南軍屢京ニ入ル將軍義詮戰ヒ敗レ前後三々ヒ出奔ス  
 後二十餘年山名氏清反シ京ヲ犯ス將軍義滿諸將ヲメ之ヲ伐シム氏  
 清戰死ス初後醍醐帝大和ニ幸セシヨリ南北分ル一十五餘年北朝  
 明德三年ニ至リ遂ニ和ス後五十年將軍義教亦松滿祐ニ弑セラル應  
 仁中山名持豊細川勝元各大兵ヲ擁シ屢京下ニ戰フ京師過半兵燹ニ  
 罹ル後四十年香西元近細川政元ヲ弑シ嵐山棟ル三好長輝撃テ之ヲ  
 殺ス大内義興亂ニ乘シ前將軍義尹ヲ奉メ京ニ入ル將軍義隆出奔ス  
 三好長輝細川政賢前後京ニ入り義興ト戰ヒ皆敗死ス義興京ニ駐マ  
 ルコト十餘年終ニ周防ニ歸ル已ニシテ細川高國威ヲ京ニ振フニ

料元長阿波ヨリ來リ高國ヲ桂川ニ破ルヌ朝倉孝景ト戰フテ破ラル  
 將軍義隆ノ時三好長隆反ヒ其臣松永久秀共ニ威權ヲ專ニス義隆屢  
 走ル後遂ニ入秀ノ殺スル所トナル其後織田信長將軍義昭ヲ奉シ京  
 ニ入ル諸寇皆逃レ聲下始メテ安シ己ニ義昭兵ヲ集メ信長ヲ圍ラ  
 ントス成ラス河内ニ放タル足利氏亡テ岩成左邊次ニ據リ和州惟  
 政・河内三棟ヲ信長ニ抗ス信長攻テ之ヲ陷レ遊月殿府及ヒ近國ヲ平  
 定ス後明智光秀友シ信長ヲ本能寺ニ襲フテ之ヲ殺ス居ルヲ數日豊  
 臣秀吉兵ヲ率井ヲ來リ光秀武山寄氏敗ル光秀走リ土民ノ殺ス所ト  
 ナル秀吉天下ヲ平ソルニ及ヒテ伏見ニ據リテ之ニ居ル秀吉斃シ石  
 田三成兵ヲ起ス徳川家康為居元忠ヲメ之ヲ守テシム西軍攻テ之ヲ  
 陷ル其後天下徳川氏ニ帰シ皇室ノ大喪大率舊ニ復ス孝明帝ノ時毛  
 利氏三ニ勤メ故アリテ罪ヲ得國老寛ヲ辨ヘ兵ヲ引テ京ニ入ル京兵

之ヲ拒ギ遂ニ大ニ戰フ毛利氏ノ軍敗走ス今上天皇ニ至リ徳川氏政ヲ  
皇家ニ致シ大坂ニ退ク己ニ兵ヲ發シ京師ニ入ント入京軍之ヲ拒  
キ伏見淀及ヒ八幡ニ戰ヒ三戰皆勝テ尋テ天皇東征シ玉ヲ天下王家  
ニ歸ス是ニ於テ遂ニ都ヲ東京ニ遷ス郡縣ノ制ニ復スルニ及ヒテ此  
地ヲ以テ京都府トス

大和誌

大和國ハ南方紀伊ニ斗入シ東ハ伊勢西ハ河内ニ接シ南ハ北方伊賀山  
城ニ交ハル地形南北長ク東西稍短ク東ニ向テ畧凸字形ヲナセリ國中  
十五郡アリ南ニ近キ一帶山峯層疊其餘皆平夷國ノ中央ニ吉野山アリ  
山中櫻樹多シ其南ニ聳ユル嶺ヲ大峯ト云フ其東方ニ大臺山アリ山北  
ノ湖ヨリ出ル水諸水ヲ合セテ南紀伊ニ入ル之ヲ北山川トス吉野川亦  
東方ヨリ發水シ吉野ノ北ヲ過キ西流シテ紀伊ニ入ル大抵此水ヲ以テ

國ノ中間トス吉野ト川ヲ夾ミテ高取アリ其東方國境ニ高見山アリ西  
方國境ニ葛城アリ三所畧一直線トス高取東北ニ多武峯アリ一水其北  
方ヲ過キ屈曲メ西河内ニ入ル之ヲ大和川ト云フ河内ノ境ニ在テ此川  
ノ南ニ在ル山ヲ二上岳ト云フ北ニ在ル山ヲ信貴山ト云フ其北ニ十三  
峠暗峠生駒山等アリ信貴ノ東ヲ龍田トス其東北ヲ郡山トス又其東北  
ヲ奈良トス使チ國ノ極北ナリ此地桓武以前王城ノ在シ處ナリ山ニ據  
テ春日社アリ鹿多シ而メ謂フ所南都七大寺亦多ク此際ニアリ高キニ  
登リテ之ヲ望ムニ懷舊ノ情目ヲ生ス南朝四百八十寺多少樽臺烟雨中  
其ノ是ヲ謂フカ大九高取迄北此際至リテ古代帝王ノ山陵多シ又東北  
隅伊賀ニ近キ處ヲ月瀬ト云フ野梅多シ國玉石漆墨葛粉木綿麻布ヲ産ス  
神武帝日向ヨリ興リ大和ニ入り長體彦八十島帥等ヲ誅シ橿原ニ即  
位シ玉フ之ヲ入皇ノ始トス用明帝ノ時麻戶皇子蘇我馬子佛法ヲ信



飯盛山アリ而ノ北摂津ニ接スル処淀川ヲ以テ界トス國中古代及し爾朝天子ノ山陵アリ産スル所木綿アリ

後醍醐帝笠置ニ幸シ玉ノ時捕正成勤王ノ師ヲ興シ赤坂ニ城ク東兵之ヲ攻メ死傷甚多シ正成一巨城ヲ捨ツ已ニメ討ヲ以テ又之ヲ取リ別將ヲノ守ラシム東軍大ニ至リ城復陥ル是ヨリ先正成別ニ正成ニ城ク東軍隨フテ之ヲ圍ミ又大ニ敗ル南北朝ノ時捕正行細川氏ノ兵ヲ警田ニ破ル後正行高師直ト四條殿ニ戰フテ之ヲ死ス將軍赤満ノ時ニ至リ山名氏清赤坂ヲ取リ畠山義深千歳 龍ル其後畠山義就義兄政長ト相闘シ屢國中ニ戰フ義就敗シテ吉野ニ走ル政長一テ政長同族義豊ト相惡シ又國中ニ戰フ互ニ勝負アリ而シテ政長一戰死ス國義豊ニ帰ス高政ニ至リ三好長慶ト摂津ニ戰フ敗レテ出ルス織田氏ノ時三好康長高屋ニ據リ大坂ト相應ス信長討テ之ヲ平ス

後松永久秀信實ニ據リ又ス信長世子信忠ヲメ之ヲ收シム久秀自殺ス大阪夏ノ役後藤基次木村重成等東兵ヲ此地ニ拒キテ戰死ス

和泉誌

和泉國ハ北摂津ニ接シ東ヨリ帝ニ至ルマテ前内紀伊ニ接メ弓楯ヲナシ西方一帶摂津ノ一大海湾ヲ擁ス南北地長ク東西地短シ形ヲ舟ヲ歌ツト如ク彌場山嶺多シ其餘皆平坦東ニ旗尾山牛籠山葛城嶽アリ南ニ弁關箱作茅子畑諸嶽アリ摂津ニ近ヤ處一大市街アリ堺ト云フ蝦治多シ古ハ各地ノ商船皆此港ニ集リシト云フ其南ニ石津川アリ又南海濱ヲ高石濱ト云フ其東ヲ信太ト云フ又南ニ大津川アリ其南海濱ヲ岸和田ト云フ此地稍國ノ半ヲリ次ニ津田近木三手瓦屋岡甲男里諸川アリ最南ニ淡輪川深日川アリ其廣キ者ハ七八間其狹キ者ハ一二間ニ過キス而シテ此水皆國ノ東邊ニ出テ西海ニ朝宗ス又南ニ小港アリ之ヲ國ノ

西南隅トス國中十四郡アリ産スル所又罷海魚アリ

元正帝ノ時海内三郡ヲ割テ此國ヲ置ク文治中源行家義經ト相失シ此地ニ至リ左馬頭能保ニ殺サル足利氏ニ至リ大内義弘此地ヲ領ス後及ノ界城ニ據ル京軍之ヲ攻ム義弘歿ス因テ細川滿元ノ領スル所ナリ後松永入考三好氏ト隙ヲ生シ堺ニ據ル三好氏大業メ之ニ逼ル己ニノ平ノ豊臣氏ノ時此地ヲ以テ其第秀長ニ加賜ス

攝津誌

攝津國ハ南和泉ニ接シ東河内界東北山城交ハリ北丹波連ナル西播磨接スル處良ヨリ坤ニ開全土西南海ヲ受矩形ヲナシ南北窄北地寬シ形大靴ノ如シ國中十二郡アリ郡號ノ一當ル所ハ大坂府トシ即チ三府一ナリ城高池深ノ運河縱橫人家稠密巨商賈校アリ病院アリ造幣寮アリ民ノ寔日ニ益販ヘリ城南高津真田山天王寺赤白山及ヒ安部野アリ汝住吉大

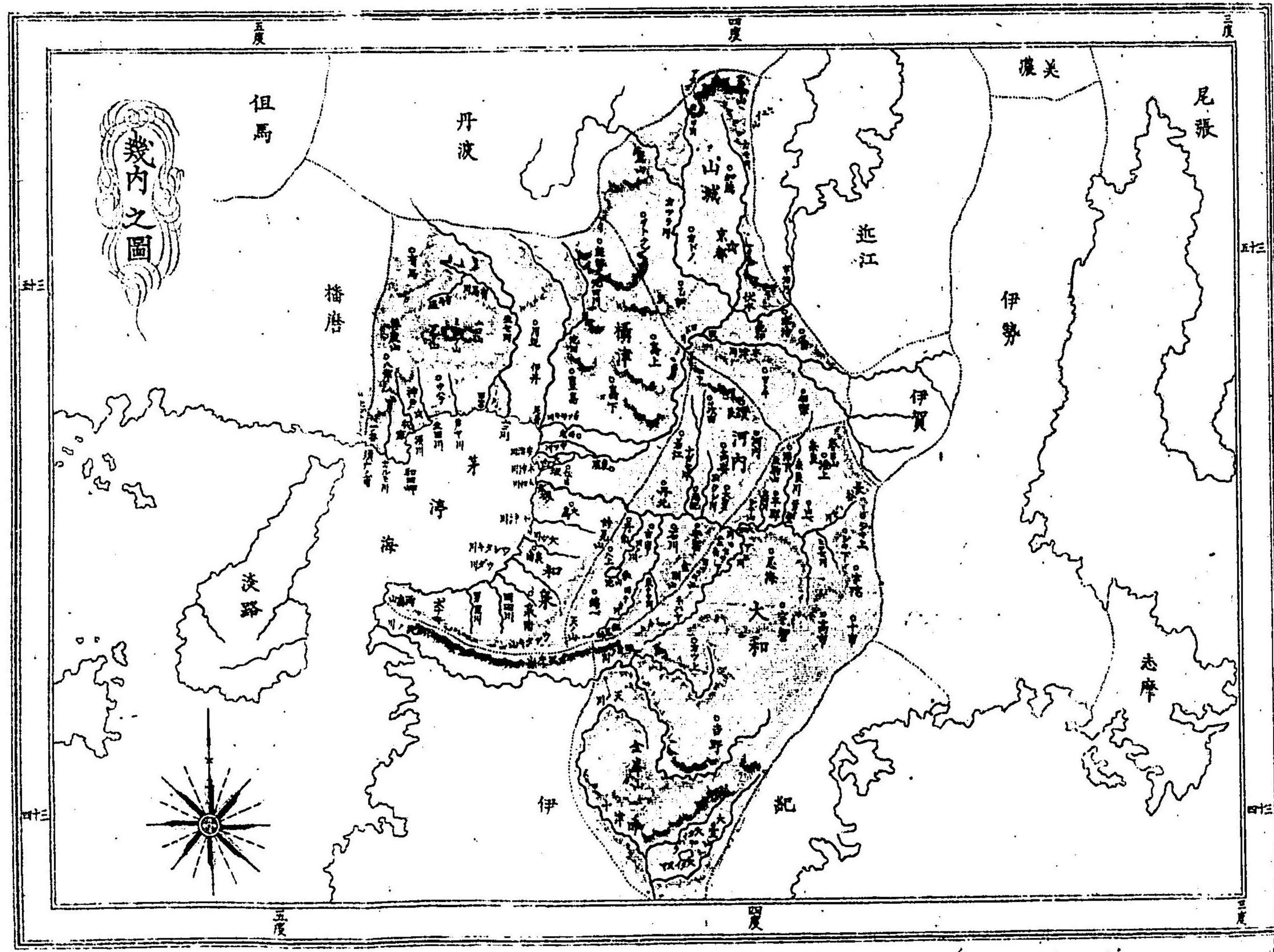
和川アリ之ヲ國ノ極南トス平野川河内ヨリ國ノ東南ニ入り寝屋川餘江川正東ヨリ入り城北ニ至リ合メ淀川ニ入ル其東ニ鴨野今福アリ淀川東北ヨリ國境ニ沿フテ流レ江口ニ至リテ西ニ分ル之ヲ神崎川ト云フ河口海隅ニ當レリ又長柄ニ至リテ分流スル者ヲ中津川ト云フ而シテ本水城北ヲ過キテ西海ニ入ル其下流ヲ安治川ト云フ河口ノ南ニ小丘アリ天保山ト云フ安治川ヨリ西南ニ支流スル水ヲ木津川ト云フ國ノ北方ニ當リテ一大懸水アリ其面龍ト云フ其西ヲ多田トス其際諸水合メ池田川トナリ分レテ諸名川茂川トナリ神崎川ニ合メ海ニ落ツ河口ヲ尼崎トス其西武庫川津戸川ヲ經テ西宮アリ又西ニ芦屋川石屋川生田川湊川等アリ以テ兵庫ニ接ス而シテ其北ニ甲山武庫山六甲山麻耶山アリ麻耶ノ麓生田川ノ上ニ布引滝アリ生田ノ西ヲ神戶トス湊川ノ西ヲ兵庫トス近歲兩地港ヲ開クニ及ンテ洋舶來集シ貿易日ニ盛ナリ近



日長ヨリ大坂ニ至ル迄汽車鐵路ヲ砌ス港ノ南ニ岬アリ和田岬ト云フ  
岬頭東ニ指ス傳ヘ云フ昔平相國此岬ヲ築キ港中ノ松ヲノ風波ノ險ヲ  
避シムト其西刈藻川妙法寺川アリ又ニ谷アリ其土ニ屹立スル山ヲ鉄  
拐峯ト云フ九ノ比敷十所皆海邊ニ在リ而シテ山ノ北地禁違瀾ト雖凡地  
ノ説ヘキナシ獨リ六甲山ノ後ヘニ當リテ有馬山アリ温泉ヲ生ス病ヲ  
療スヘシ産スル所酒及ヒ花剛石アリ

仁德帝難波ニ都シ官室ヲ卑フメ人民ヲ富シ堤防ヲ築キテカラ溝瀆  
ニ盡シ五フ後世源滿仲多田ニ居ル其子孫ヲ摂津源氏ト云フ治承中  
平清盛都ヲ福原ニ遷シ數月ニメ善京ニ後ス其後平氏帝ヲ挾ミテ四  
國ニ走ル遂ニ海ヲ渡リテ一谷ニ據ル源軍東西ヨリ之ヲ攻ム義經親  
ヲ經兵ヲ率井後山ノ嶺ヨリ鼓ヲテテ之ヲ襲フ平氏大ニ敗レ將帥多ク  
死ス後醍醐帝ノ時捕正成賊兵ヲ天王寺ニ破ル居ル七月餘宇都宮公

細兵ヲ率井テ至ル正成計ヲ以テ之ヲ退ケ足利尊氏關ヲ犯シ軍敗レテ  
西ニ走ル義貞正成等追撃シテ之ヲ豊嶋ニ破ル尊氏九州ニ奔リ又兵  
ヲ舉テ東ニ犯ス正成之ヲ淡川ニ防キテ戰死ス義貞亦敗レテ京ニ遷  
ル帝南走ノ後北畠顯家高師直ト安倍野ニ戰フテ之ニ死ス後捕正行  
山名時氏ヲ瓜生野ニ破ル足利氏ノ季年細川澄元同族高國ト戰フ高  
國奔ル澄元没スルニ及ヒテ高國中ヲ徇ヘ尼崎ニ城キテ之ニ居ル  
數年ヲ經テ高國三好元長ト天王寺ニ戰ヒ軍敗レテ獲ラル後三好長  
慶等細川晴元三好宗三ト屢國中ニ戰フ宗三敗死シ晴元奔ル其後高  
山高政三好實休ト戰フテ之ヲ獲又長慶ヲ圍ミ敗レテ奔ル後池田勝  
政和田伊賀守淡木佐渡守ト稻寺白井礮ノ際ニ戰ヒ撃テ之ヲ殺ス織  
田信長勝政ヲ征ス勝政降ル而メ三好康長等野田播磨ニ據リ僧光佐  
石山ニ據ル信長之ヲ攻テ科アラズ已ニメ信長荒木村重ヲメ國中ヲ



定ノシム後村重伊丹ニ據リ信長ニ及キ城遂ニ陥ル豊臣秀吉天下ヲ  
 定セルニ及ヒテ大ニ石山ニ城ヲ之ヲ大坂城トス秀頼ニ至リ徳川氏  
 ト隙ヲ生ス東軍之ヲ圍ミ數寨ヲ拔ク因テ共ニ平ク明年大坂再ビ兵  
 ヲ聚ム東軍又之ヲ圍ミ城遂ニ陥ル豊臣氏亡フ徳川氏乃チ松平忠明  
 ヲ封ス己ニノ忠明ヲ移封シ城代ヲ置キテ之ヲ守ラシム天保中町興  
 カ大塩平八郎亂ヲ興シ兵ヲ率ヰテ市廳ニ逼ル城代加番ノ兵迎ヘ戦  
 フ賊兵敗ル大塩出奔シ後遂ニ自刃ス十四世將軍毛利氏ヲ討スル時  
 大軍ヲ率ヰテ大坂ニ在リ軍半ハニノ薨ス大軍東ニ還ル十五世將軍  
 ニ至リ職ヲ解テ大坂ニ退キ兵ヲ引テ京都ニ入ントス京兵之ヲ拒シ  
 東兵三ヒ遇テ三ヒ北ク遂ニ大ニ奔ル天下朝廷ニ帰スルニ及ヒテ大  
 坂ヲ以テ三府ノ一トス

東山道総論

東山道ハ西畿内ニ接シ南東海道ヲ受ケ北陸道ニ靠リ最北三方海水ノ帯フ坪ヨリ良ニ亘リテ十三國ヲ連テ子貢二十六縣百三十一郡ヲ包轄ス其西方諸國米穀甚々良上野以止ハ蠶多ク米豊カ牛ヲ牧シ馬ヲ養ヒ海ヲ煮山ヲ鑛ル而メ古昔蝦夷ノ巢窟タリ因テ鎮府ヲ置テ之ヲ鈴制ス麿針峠ハ一方ノ要地以東街道一昂一依合渡川木曾川鳥井峠和田峠亦一時防禦ノ地平隈川水勢急迅下流ニ至リテ波流漸ク大武田上杉ノ川中島ニ戰フ宜ナル哉而メ其海津ニ城キテ以テ越後ニ備フ亦機山ノ地理ニ明ナル所淺間山時アリテ灰石ヲ噴出シ遠近ヲ害ス碓氷峠ノ險箱根ト相敵ス亦一大要地上野ハ新田氏兵ヲ舉ルノ地利根川上野ニ在テ早已ニ巨流タリ其下流ノ大推テ知ルヘシ下野ハ足利氏ノ興ル處日光ノ山那須ノ原亦兵家者ノ意ヲ用スキ者迄北白川絶險諸フ所一丈當レハ

路萬丈不得進者古昔東北ノ永ノ條緒ニ就サル者御以アル哉是ヨリ北  
 舊陸奥出羽兩國タリ其他甚ク曠莫ナルヲ以テ近歲之ヲ分チテ七回ト  
 入明治四年ニ至リ鎮臺兵ヲ仙臺ニ設ケ以テ四方ニ備フ亦鎮府ノ遺意  
 カ會津ノ地四圍皆山葦名氏之ヲ以テ伊達氏ニ滅ボサレ蒲生氏之ヲ以  
 テ伊達氏ヲ制ス用兵如何ト顧ルノ三河武隈川北方ニ在テ大河ト稱ス  
 此際出羽ヲ連ネテ地勢平陽平地多シト雖トモ大概皆田畝思フニ獨眼  
 龍ノ騎戰ニ長スル當時田圃未ダ開ケサルニ由ルヲ今時ハ則チ嚴寒  
 氷雪凍合スルニ非カレバ以テ之ヲ用フル能ハス仙臺以此河流甚ク多  
 シ而シテ北上川ヲ以テ最大トス南朝ノ時南部氏獨リ王ニ勤ム其足利氏  
 ノ制ヲ受カル亦地理之カ助トナルカ西羽亦山險多ク且酒田御物故代  
 諸水アリ而シテ其通道ハ則チ海邊平夷ノ地ニ從フ其山脊ヲ踰テ東奥ニ  
 出ル幾十路ナルヲ知ラス東方仙臺最北青森ノ際亦是要害ノ地

近江誌

近江國ハ北越前ニ界シ東美濃伊勢ニ接シ南伊賀ニ交リ西山城丹波及  
 ト若狹ニ隣ル地形南ヨリ北ニ向フテ長圓形ヲナシ而シテ東北一角ヲ張  
 出ス國中大湖アリ其形琵琶ニ似タルヲ以テ琵琶湖ト云フ我國第一  
 ノ大湖ナリ湖北地稍廣シ之ヲ東近江トス湖西地稍狹シ之ヲ西近江  
 トス全國十二郡アリ南方ニ横田川アリ西流ノ湖ニ入ル北ニ水口三上  
 山アリ南ニ甲賀山アリ其西方ヲ瀬田トス湖勢此ニ至リテ漸ク尽キ迫  
 リテ河トナリ山城ニ落ツ之ヲ宇治川ト云フ其西岸ニ石山膳所大津三  
 井寺アリ其北湖ニ臨ミテ滋賀唐崎堅田アリ其上ヲ比叡山トス古時山  
 中甚ク盛ン今己ニ寂寥ナリ其北ノ山ヲ比良山ト云フ其北ニ阿戸川百  
 ヲ瀬川等アリ以テ湖北ニ至ル湖ノ北極ニ島アリ竹生島ト云フ天女廟  
 アリ湖ノ東北更ニ小湖アリ余吾湖ト云フ南岸ヲ賤岳トス余吾ヨリ菟

源シ岳ノ東南ヲ繞ル水ヲ余吾川ト云フ東北ニ三湖山中尾洋諸山アリ  
 此際ヨリ南流シ余吾川ノ南ヨリ湖ニ入ル水アリ柿川是ナリ其南湖邊  
 ノ長濱トス東ニ當リテ伊吹山アリ南ニ當リテ彦根アリ彦根ノ東北ニ  
 鹿針崎アリ彦根ノ南犬山川慶智川横關川諸水アリ以テ横田川ノ北  
 ニ至ル國中ノ水皆湖中ニ入ル而メ獨リ宇治川湖ヨリ出ル産スル所縮  
 細麻布陶器硯石硯石アリ而メ其稻米諸國ニ冠メリ  
 天智帝崩スルノ明年天武帝村國男依大伴吹負等ヲノ京軍ヲ伐シム  
 大ニ國中ニ戰ヒ之ニ勝ツ孝謙帝ノ時惠美押勝亂ヲ興シ此地ニ走リ  
 敗死ス天仁中源義光其兄義綱ヲ誣フ義綱怒リ甲賀山ニ據テ叛ス源  
 爲義之ヲ討ス義綱降後源賴朝ニ弟範賴義經ヲメ義仲ヲ討セシム範  
 賴勢多ヨリ進ミ義仲ヲ撃テ之ヲ殺ス源平氏ノ時ヨリ佐々木氏已ニ  
 此地ニ居ル後世京極六角皆其裔ナリ後醍醐帝ノ時北條仲時六波

羅ニ敗シ東走ノ番馬駅ニ至ル京軍追撃ノ之ヲ殺ス足利尊氏及ノ京  
 ニ入ル時帝畝山ニ幸ス御川定禪園禪寺ニ在リ此處源東等撃テ之ヲ  
 走フス尊氏再ヒ關ヲ犯ス時帝後畝山ニ幸ス已ニノ京師ニ還幸ス新  
 田義貞土居通治得能通吉等北陸ニ赴カントノ堀津ニ至ル通治通吉  
 敵ニ還テ戰歿ス足利氏ノ季年將軍義隆義晴等逆臣ニ遇フレ職士ス  
 レハ此地ニ來奔メ後織田信長將軍長昭ヲ京ヲ入ント欲シ道ヲ佐々  
 木義賢ニ假ル義賢聽カス信長大率ノ來リ攻メ國中風ヲ望ミテ渡エ  
 是時ニ當リテ淺井長政小谷ニ據リ傍地ヲ畧シ信長ニ抗ス信長淺井  
 朝倉ニ氏ト狎川ニ戰フテ之ヲ破ル已ニ朝倉氏家至ノ據本ノ險ル  
 信長畝山ニ翰ノ之ヲ伐シム畝山應ヨム書臣秀吉又淺井氏ヲ討テ  
 ノ據ヲ破ル信長畝山ヲ攻テ盡ク之ヲ燔ク山谷爲ノ空シ後長義賢  
 ト戰フ之ヲ破リ勝ニ裏ノ越前ニ入り之ヲセホテ丹路小谷ヲ攻メ

又之ヲ滅ホス是ヨリ先義賢ノ子義勝餘江ニ據ル柴田勝家撃テ之ヲ降ス三年ヲ經テ信長治ヲ安土ニ徙ス信長既ニ核セラレ明智光秀安土ニ入ル光秀誅ニ伏後勝家長濱ヲ領シ假子勝豊ヲシテ守ラシム勝豊城ヲ以テ秀吉ニ下ル已ニシテ勝家作間盛政ヲメ賤嶽ノ若ヲ取シム秀吉遠ニ來リ大ニ盛政ヲ破リ北ノルヲ逐フテ越前ニ入り勝家ヲ亡ホス後秀吉此地ヲ秀次ニ賜フ關原ノ役ニ京極高次大津城ヲ守ル西軍之ヲ攻メ城陷ル高次降ル三成就ル後東軍澤山ヲ拔ク

美濃誌

美濃國ハ疆場山河ヲ環ラシ内甚メ平坦其田ハ上ノ上全國處トシ村落ナラサルハナシ東信濃ニ界シ東南三河ニ接シ南疆一帶尾張ノ野ヲ受ケ西南伊勢ニ界シ西ヨリ北ニ至リテ近江越前ニ界シ而シテ東北飛騨ヨリ斗入ス故ニ其形ヲ破扇ノ面ノ如シ國中二十一郡アリ東南隅ニ岩村

アリ其東疆ヲ惠奈山トス此際ヨリ信濃ニ至ル迄山中良材多シ伐木ノ聲下々鳥聲ト相應ス惠奈山ノ北本曾川信濃ヨリ來リ西ニ向フテ馳ス一水飛騨ヨリ扇ノ破處ニ入ル之ヲ飛騨川ト云フ遂ニ南本曾川ニ合シ漸ク大河トナリ而シテ後南疆ニ沿フテ馳ス國ノ正半南ニ偏シ岐阜アリ長良川東北疆メ西本宇禮池ヨリ發シ數流ヲ合セ岐阜ノ北ヲ繞リ又南此諸水ヲ合セテ本曾川ニ入ル其下流ヲ河渡川トス岐阜ヲ申位川ヲ隔テ大垣アリ又其西南山中ニ養老澤アリ大垣ノ西ニ逢井關原アリ此際細流數派アリ合流メ南伊勢尾張ノ間ヨリ海ニ入ル國中紙絲綿陶器縮緬等ヲ産ス

源平氏ノ時平重衡維盛等源行家ト洲股川ニ戰フテ之ヲ敗リ頼朝ノ身義國ヲ獲南北ノ時土岐氏此地ヲ領ス尾張昌能堀口貞満足利氏ノ兵ヲ青野原ニ破ル腦屋義助根尾城ニ據ル軍利アラヌメ吉野ニ歸入

大内義弘ノ反スル時土岐詮直長森城ニ據テ之ニ應入己ニメ平ノ結  
 城氏朝ノ敗ルハ持氏ノ子春王安王西軍ノ虜トナリ押送セラレテ垂  
 井ニ至ル將軍義教人ヲノ之ヲ杖ヤシム其後齊藤秀龍ナル者アリ土  
 岐頼朝ニ仕ヘ送ニ之ヲ逐テ國ヲ奪フ後子義龍ニ我セラル龍興ニ至  
 リ織田信長此地ヲ併ス龍興出奔ス信長乃チ治ヲ收事ニ徒入足利長  
 昭諸國ニ流寓シ最後信長ニ投ス信長之ヲ京ニ入ル後又治ヲ遊江  
 ニ移シ信長死ノ後其子信孝豊臣秀吉ト大垣ニ戰テ敗ル己ニ北  
 畠信雄信孝ヲ收事ニ圍ム信孝夫死ス石田三成兵ヲ起ス時織田秀信  
 收事ニ在テ之ニ應ス東軍之ヲ陷ル是時西軍大垣ニ在リ厚敷殿ス已  
 ニメ西軍関東ニ會戰ス西軍大ニ敗ル

飛騨誌

飛騨國ハ東信濃ニ斜接シ北越中ニ奪入シ西加賀越前ニ斜接シ南方美

濃ニ角入ス即チ扇頭ノ破所ナリ其國山多シ信濃越中ニ界スル處雙六  
 錫杖硫黃大峠乘鞍等諸嶽アリ山下温泉多シ一水共際ニ發シ西北ニ流  
 ル之ヲ高原川ト云フ而メ南方諸水國ノ中央高山ノ北ニ會同シ北ニ向  
 アテ流ル之ヲ宮川ト云フニ水北境ニ會流シ越中ノ中央ニ入ル其西境  
 ニ白木峯金剛峠アリ加賀ノ境ニ障子山アリ白川源ヲ西南ニ發シ北流  
 メ亦越中ニ入ル益田川東境ヨリ發シ西南ニ流レ數派ヲ合メ美濃ニ注  
 ノ即チ扇ノ破中ニ入ル者是ナリ舉國三郡ヲ轄有ス産スル苧繭絲木料  
 鈴羊馬ト石ト

足利氏ノ時源高貞國司藤原平親ヲ討シ小島城ヲ火シ戰國ノ時武田  
 上杉二氏之ヲ介領ス後豊臣秀吉金太長近ヲメ國司改小路頼綱ヲ滅  
 ホサシム因テ長近ヲ封ス

信濃誌

信濃國八十郡アリ北越後ニ接シ其界東ニ瀧ソテ西ニシ西ハ越中飛  
 彈吳濃ニ連ナリ南ハ三河遠江ニ距リ東ハ甲斐武藏上野ニ接シ中間余  
 地ヲ抽ソツ故ニ其地形東ニ向フテ畧凸形ノ形ヲナセリ其國東方ニ在  
 テ固ヨリ大國ト稱ス米麥豐饒山河險難謂フ所天府四塞ノ地ナリ全國  
 地勢高隆千隈川東方ヨリ発シ西北ニ流レ上田松代ノ南西ヲ過テ北流  
 ス犀川國ノ南方ニ発シ北流數里東ニ折レテ川中島善光寺ノ間ヲ貫キ  
 千隈川ニ會同シテ越後ニ入ル而シテ此ニ水細流ヲ受ル甚ク多シトス上  
 田ノ西南ニ松本アリ正南ニ諏訪湖アリ湖ノ勢ヲナセリ諏訪湖水面  
 甚ク大是ヨリ出ル水南方ニ流レ遠江ニ入ル則チ天龍川是ナリ其他未  
 曾川西南ニ発シ猶西南ニ吳濃ニ入ル姫川西北ニ発シ猶西北ニ越後ニ  
 入ル國中ノ山上野ノ境ニ飯窪鑛鑛岩松赤石及ヒ乳山四阿湯丸諸山ヲ  
 リ以テ淺間山ニ連ナル淺間ノ山山頂常ニ烟ヲ發シ時ニ或ハ灰石火燧

ヲ噴出シ害遠近ニ及フ諏訪湖ノ東ニ藥師地藏諸嶽アリ其北ノ山ヲ遊  
 岳トス岳麓ニ温泉アリ湖ト上田ノ間ニ和田峠鉢伏山アリ越後ノ境ニ  
 中峯花立山姥鷲打黒姫高野戸隠諸山アリ西ハ腹嶽風吹嶽アリ是ヨリ  
 千嶽萬峯ヲ歷テ御嶽ニ至ル南ハ遠江ノ境ニ熊伏山江儀嶽寺アリ又甲  
 斐ニ近キ處荒川嶽地藏嶽前嶽アリ是ヲ其大概トス産スル所蕎麥綿段  
 生糸玉石材料及ヒ馬アリ

文武帝ノ時始メテ本曾山道ヲ開ク治承中源義仲以仁王ノ令旨ヲ奉  
 メ兵ヲ聚ケ遂ニ陸ニ入ル南北朝ノ時小笠原貞宗國中ニ割據ス足利  
 氏ノ時足利持氏ノ孤永壽王遣レテ此地ニ匿ル後鎌倉ニ入ル是ヲ成  
 氏トス戰國ノ時武田晴信小笠原長時ヲ桔梗原ニ破ル長時走ル村上  
 義清亦晴信ノ破ル所トナリ上杉輝虎ニ投ス是ニ於テ輝虎晴信ト川  
 中島四郡ヲ爭ヒ大ニ戰フコト前後數回後和ヲ議シ義清ヲ復ス晴



信比子勝頼國人ヲ虐使ス木曾義昌欲ヲ織田氏ニ送リ其兵ヲ招ク勝頼  
之ヲ討シ鳥井峠ニ敗ル諸城多ク織田氏ニ降ル勝頼甲斐ニ歸リ尋テ  
亡ク國織田氏ニ屬ス信長薨ヌ徳川氏ニ屬ス豊臣氏ノ時徳川氏關東  
ニ移封セララル石田三成兵ヲ舉ル時真田昌幸上田ニ據テ之ニ應ス東  
軍之ヲ攻テ勝ヲス三成平クニ及ヒテ昌幸降ル慶安中木曾ノ懸橋ヲ  
造ル天明中淺間山灰石ヲ轟發シ山下泥水ヲ噴出ス害三十五村ニ及  
フ死スル者三万五千餘人

上野誌

上野国ハ東ハ下野南ハ武藏西ハ信濃北ハ越後岩代ヲ以テ界トス其信  
濃ト接スル處一頭ヲ凸出ス又巽位ニ當リテ長尾ヲ掉出ス尾頭下総ニ  
觸ル地形海鏡魚ノ如シ國中十四郡アリ東南平地多ク西北山嶺多シ凸  
出ノ地信濃ノ淺間山ニ接スルヲ以テ熱泉ヲ生ス之ヲ草津湯ト云フ其

他遠近數湯アリ淺間ノ東ニ碓氷峠アリ西北ニ吾妻萬坐白根諸山アリ  
是ヨリ北大藏嶽鳥帽子嶽駒嶽ニ連ナリ以テ東北諸山ニ至ル邦内東方  
ノ山ヲ赤城山ト云フ山中瀑水アリ西南ノ山ヲ妙義山ト云フ山中石門  
四アリ上連ナリ下通ス實ニ鬼谷神工ト云フヘシ國ノ疆場東南ノ外必  
ス三國相接スルヲ以テ其山皆三國峠ト云フ國中ノ川利根ヲ以テ最大  
トス源泉國ノ極北ニ發シ南ニ流レテ前橋ヲ過キ瀬ノ東ノ下総ニ入ル  
片品川東北ニ發シ西流ノ利根ニ會ス吾妻川西北ニ發シ東流ノ亦利根  
ニ入ル其南ニ鳥川碓氷川アリ其間ヲ安中トスニ水東流ノ高崎ニ至リ  
合ノ一トナリ神流川ニ會シ而シテ後利根ニ入ル神流川ハ即チ武藏ノ境  
ナリ度良瀬川下野ノ西境ヨリ出テ流レテ弓様ヲナシ後下野ニ回リ後  
遂ニ利根ニ合ス尾形ノ地其本ヲ新田トシ中間ヲ館林トス尾端ハ則チ  
此國及ヒ武藏下総下野分界ノ處ナリ國中絹絲綿布ヲ産ス女工甚マ巧

ミナリ

上野下野古へ共ニ毛ノ國ト稱入後分チテニトス源頼朝兵ヲ舉ル時  
 新田義重寺尾城ニ據テ之ニ抗ス後遂ニ服ス義重ハ義家ノ孫新田義  
 貞ハ其裔ナリ後醍醐帝ノ時義貞兵ヲ起シ進ミテ鎌倉ニ入ル北條氏  
 ヲ亡ホス帝吉野ニ幸スル時北畠顯家陸奥ヨリ發シ足利義詮ヲ利根  
 川ニ破ル其後新田義宗足利氏ト確氷峠ニ戰ヒ敗レテ越後ニ赴ク足  
 利氏ノ季上杉顯定平井ニ城キ八洲ヲ領ス已ニメ北條氏漸ク興リ武  
 康ニ至リテ平井ヲ攻テ之ヲ陷ル上杉憲政越後ニ走ル後上杉輝虎國  
 中ノ數城ヲ陷ル國大半之ニ屬ス輝虎死ス武田勝頼之ヲ取ル後織田  
 信長武田ヲ亡ホシ澁川一益ヲ此地ニ置キ関東ヲ管領セシム信長薨  
 シテ一益北條氏ト戰ヒ敗レテ西ニ走ル北條氏亡ヒテ國徳川氏ニ歸  
 ス

下野誌

下野國ハ西南均ク上野ニ界シ東下総常陸ニ斜界シ北又岩代盤城ニ斜  
 接ス其地形甕氣ノ如シ口南ニ向フ國中九郡アリ東南平康西北山ヲ圍  
 繞ス西南隅ヲ足利トス即チ渡良瀬川回流ノ處ナリ其北大岩山ヨリ十  
 二山三峯山地藏嶽庚申山ヲ經テ日光山アリ其北方塩原ノ地塩泉アリ  
 是ヨリ東北郡山ヲ經テ那須嶽ニ至リ以テ常陸ニ連ナル國中ノ水大小  
 十餘流アリ東南ニ向フテ流ル其稍大ナル者南ニ小倉川黒川婆川アリ  
 三水合シテ一トナリ南行メ下総ニ落ツ之ヲ思川ト云フ西北隅日光山  
 ノ中ニ飛瀑數所アリ高下細大各カラズ山水ノ勝東國無雙ト稱入山  
 ヲ樂ム者水ヲ樂ム者皆往テ之ヲ訪ヘシ山中湖アリ中禪寺湖ト云フ是ヨ  
 リ出ル水ヲ大谷川ト云フ衣川西北隅ヨリ來リ之ヲ合セテ南流シ宇都  
 宮ノ東ヲ過キテ常陸ニ注ク又一水東北諸水ヲ合シ常陸ヲ穿キ東海ニ

朝入即チ那珂川是ナリ那須嶽ノ南ニ曠原アリ那須野ト云フ原上一大石アリ殺生石ト云フ世傳ヘテ砒霜ノ類トス産スル所茶麻綿段人參材料木具漆器馬匹等アリ

醍醐帝ノ時賊黨千餘人高坐山ニ據ル鎮守府將軍利仁雪夜ニ乘シ賊營ヲ劫テ之ヲ燼ス朱雀帝ノ時平貞盛藤原秀郷平將門ト戦ヒ襲テ之ヲ殺ス源平氏ノ時ヨリ那須宇津宮小山等國中ヲ分領ス後醍醐帝ノ時足利尊氏此地ヨリ興ル豊臣氏ノ季年上杉景勝會津ニ據リ徳川家康ニ抗ス家康兵ヲ引テ小山ニ至ル西軍興ルト聞キ結城秀康ヲ以テ景勝ニ當テ師ヲ及ス戊辰ノ乱ニ官軍宇都宮ニ在リ東兵ト小山ニ戦フテ敗ル宇都宮亦尋テ陥ル已ニメ又之ヲ復ス東兵日光ニ走リ屢戦フ已ニメ又此ニ走ル

盤城誌

盤城國ハ足ノ形チノ如シ海東海ニ濱シ懸常陸下野ヲ受ケ膝ト脚ト踵ト共ニ岩代ニ接シ指端羽前ニ觸レ磯陸前ヲ履ム國十三郡アリ山アリ而メ甚ク高キ者ナシ南方ニ温泉二三所アリ西南隅ヲ白川トス其東ヲ棚倉トス棚倉ノ北十餘里ニ當リテ三春アリ岩代ノ界ニ近シ其東片曾根山移岳アリ國ノ東南常陸ト共ニ小湾ヲ抱ク之ヲ平澤ト云フ港上勿來關ノ趾アリ八幡公ノ歌已ニ入口ニ繪炎ス而メ其人其地亦皆名コソ殘リケル其北ニ鯨川アリ流レテ港ニ入ル又北ニ鎌田川アリ南岸ヲ岩城平トス其北ニ細流十餘派アリ木戸川富岡川高瀬川等稍大トス而メ最北ニ阿武隈川アリ之ヲ國ノ北境トス踵ノ半ニ當ル處鹽場前北ヨリ迫リ地勢狹隘其地ヲ白石トス南岩代ノ福嶋ニ迹シ國中茶絲藍紙及ヒ馬アリ

岩代誌

岩代國ハ東ハ磐城南ハ西野西ハ越後北ハ羽前ニ界ス而メ良位餘地ヲ  
張出シ其頭或ハ出ル或ハ入ル全国地形狗兒ノ坐スルカ和シ面北ニ向  
ヒ野西ニ安ニス國中九郡アリ四邊皆山獨リ東方一路稍平カナリトス  
狗兒ノ彌ニ當ル處ヲ福島トシ其南ヲ二本松トス而メ尤助ノ中央ヲ若  
松トス國中ノ山南ニ布引夫上甲子大熊田代帝釈亦安西ニ銀山大鳥嶽  
鬼面山御神樂山北ニ飯豊赤萌吉妻信大諸山アリ倍夫ノ東ニ温泉アリ  
北ニ三角丸山ニ山アリ則チ福嶋ノ西北ニ當レリ國中ノ水阿武隈川ア  
以テ最大トス國ノ東南ニ發水シ源泉混々晝夜ヲ舍メス境ニ從フテ北  
流シ二本松福島ヲ過キテ磐城ニ入ル若松ノ東北ニ大湖アリ猪苗代ト  
云フ其西北ニ盤梯山アリ東北ニ太郎和尚諸山アリ國ノ東南ヨリ來ル  
水ヲ鶴沼川ト云フ湖ノ水ト若狹ヲ挾ミテ西北ニ流ル又國ノ坤位ニ小  
湖アリ小瀬ト云フ是ヨリ出ル水ヲ只見川ト云フ曲折メ北ニ流レニ川

ノ水ト會同シ西越後ニ入ル則チ阿賀川是ナリ若松ノ北六里山中ニ大  
塩村アリ此地塩井アリ國中酒ト燒トヲ産ス而シ鹽絲最モ多

陸前誌

陸前國ハ南磐城岩代ニ接シ西羽前ニ隣リ北陸中ニ界シ稍方形ヲナス  
而ノ良位餘地ヲ南北ニ抽シ其北方ハ東ニ海濱ヲ受テ其南方ハ半島  
ヲナシテ西大湾ヲ擁シ以テ南境ニ連テル國中十四郡アリ西南隅ニ熊  
野谷世谷峠アリ西ニ黒川岳吹來山アリ西北隅ニ須金山アリ國ノ南方  
ヲ仙臺トス名取川其南ニ流シ廣瀨川其間ニ流レニ水合流テ東海ニ朝  
宗ス仙臺ヨリ北數郡田陸五頃謂フ所一望四十万石是ナリ仙臺ノ東名  
勝多シ宮城野臺碑玉川等アリ又末松山ヨリ而シ真ノ末松山ハ則チ陸  
奥海中ニ在リ豈是假テ反ナス歟其有テナル者ハ其北海濱ヲ松島ト  
ス海中ノ嶋嶼散布縞々如シ即チ我國三勝ノ一ナリ北上川陸中ヨリ來

リ諸水ヲ合メ南流シ海ニ近キ處岐メ南トナリ一ハ南ニ落テ一ハ東ニ  
落ツ西河ノ間半島ヲ抽ンツ頭邊ニ一島アリ金華山ト云フ半島ヨリ北  
小河南ニ派アリ皆東流メ海ニ入ル國前嶺ヲ出ス

陸中誌

陸中国ハ南東俱ニ陸前ニ界シ而メ東ハ北半海ニ距ル西ハ羽後ト一線  
界ヲ立テ北ハ陸奥ノ方形ヲ受テ左右ニ長角ヲ伸出入全國地形半首  
ノ如シ國中十郡アリ至ル處山アリ而メ又平野アリ南方北上列ノ上リ  
高館アリ西南隅ニ連谷巖削山柔原岳アリ其北經塚駒嶽ヨリ敷山ヲ  
經テ角地ニ至リ自根銀山月山清水峠蘆柄嶽花部山八甲田山等ニ連ナ  
ル北ヨリ東ニ至リテ種市坂瓜姫神貝良木敷川早池寮師和山寺諸山ア  
リ又皆脈ヲ連ヌ其東海濱ニ淡村宮古山田大蛇南石諸港アリ國ノ正北  
ヲ盛岡トス共西方ニ岩鷲山南昌山及ヒ重温湯アリ北方ニ北上山アリ

一水是ヨリ發シ盛岡ヲ過テ西豊澤和賀リ支川諸水ヲ合セ南ニ馳セ  
テ陸前ニ入ル即チ北上川是ナリ其餘海濱ニ小流多シ國中全銀銅鉄ヲ  
産ス南ノ此國及ヒ陸前出ス所ノ馬最モ良

陸奥誌

陸奥國ハ本土ノ極北ニ在リ之ヲ東西西地ニ分ツ東地ハ東南西三面陸  
中ニ界シ北海ニ臨ミテ半島ヲ釣出ス東西ニ向フ西地ハ東陸中南羽後  
ニ界シ西ノ西北共ニ海ニ枕ミ又餘地ヲ行出ス兩地ノ間南ハ陸中ノ角  
地ヲ衝ミ北ハ北海ノ大海ヲ受テ其間但一綫路ヲ通スルノミ故ニ全國  
地勢北ヨリ之ヲ望メハ北ノ字ノ形ニ似タリ國中四郡アリ處トノ山  
ナラサルハナシ西地ノ西南ニ高山アリ岩城山ト云フ俗之ヲ呼ラ津輕  
富士ト云フ正東ヲ弘前トハ弘前ノ東南ニ温水敷所アリ西岸ノ半ニ小  
岬アリ島井崎ト云フ是ヨリ東北海邊ニ湖アリ十三湖ト云フ西海ニ通

ス峽門甚々狹シ岩木川東南ヨリ來リテ之ニ入ル湖ノ北又西岬アリ小泊崎ト云ヒ龍飛崎ト云フ西地ノ盡頭ナリ北ニ回リテ小港アリ三馬屋ト云フ是ヨリ松前ニ至ル舟行甚々近シトス再ヒ折レテ南ニ轉ス其東岸一帯ハ即チ大灣ノ西方ナリ灣ノ當中ヲ青森トス又函館松前地方へ出船ノ地ナリ是ヨリ灣水岐ノ東地ニ入ル東地ノ巽位ニ末松山アリ山腰波痕ヲ見ル驚クヘキニ似タリ然レトモ我聞ク以大利ノ邪不勅ニ古廟アリ石柱ニ鱗介鬻通ノ痕アリト是古ヘ廟ヲ造ル時地猶高シ後陥リテ後起隆スト云フ土地ノ漸移萬國皆有リ又何ソ疑ンヤ西南ニ來滿鉄山戸來等ノ諸山アリ又川流數條アリ皆東流ノ海ニ入ル東海ト灣トノ間地峽ヲナス峽ノ盡頭東北角ヲ尻矢崎ト云フ兩ノ半島ノ地田名部嶽牧山大間嶽等ノ諸山アリ國海扇海參及ヒ牛馬ヲ産ス

上古以來蝦夷此地ヲ據有シ反服常ナシ桓武帝ノ時坂東ノ兵多賀城

ニ會シ衣川ヲ渡リテ賊ヲ擊ツ官軍敗績ス三年ヲ經テ大伴兼磨呂坂上田村磨呂等之ヲ征シ捷ヲ奏ス其後夷酋高磨呂惡路王等連谷鹿ヨリ起リ西ニ侵メ駿河ニ至ル田村磨呂之ヲ追テ此地ニ至リ神樂岡ニ大戦シ擊テ之ヲ殺ス是ニ於テ夷賊始メテ跡ヲ收ムト云フ後冷泉帝ノ時安信賴時六郡ニ據テ叛ス朝廷源賴義ニ詔ノ之ヲ討ス賴時降ル幾ハ公モ無メ其子貞任罪ヲ犯シ父ヲ復叛ス賴義之ヲ衣川ニ攻ム是ヨリ年々攻戰已マシ後賴時死ス而メ貞任兵勢益震ヒ郡縣ヲ抄掠ス數年ヲ歷テ貞任敗レテ出羽ニ奔リ遂ニ殺サル承安中源義經來奔シ藤原秀衡ヲ主トス賴朝兵ヲ舉ルニ及ヒテ之ヲ去ル後賴朝ト相聞シ潛行メ至リ復秀衡ニ依ル秀衡卒ス其子泰衡義經ヲ高館ニ攻メ其首ヲ鎌倉ニ送ル首真偽辨ス可クテ賴朝事ニ托シ泰衡ヲ罪シ兵ヲ發メ來リ征ス平泉ノ壘ヲ攻ム泰衡家臣ニ殺セラレ國中平ク後醍醐帝ノ

時北畠頭家團司アリ夫ヲ引テ西上シ足利氏ヲ擊ツ而ノ南部舊西田  
 馬伊達田村蘆石白川諸族各地ニ割據ス戰國ノ時輩名氏會津ニ在リ  
 四隣ヲ掠ム伴連政宗屢之ヲ戰ヒ其地ヲ取ル己ニメ政宗豊臣氏ニ降  
 リ其使地ヲ致ス秀吉則チ蒲生氏郷ヲ封シ氏郷卒シ上牧景勝ヲ移封ス  
 景勝石田三成ニ應シ徳川氏ヲ討ル三成平キテ後米澤ニ移ナル所  
 ノ氏郷ノ子秀行後之ヲ領ス後家絶ユ保科正之山形ニ移ル所メ白  
 川柳倉等ノ諸侯亦數封ヲ賜フ戊辰ノ亂國中諸侯合從ス東西ノ軍由  
 川ヲ争ヒ或ハ取リ或ハ失フ東兵又柳倉岩城平ニ據ル官軍擊テ之ヲ  
 拔キ進ミテ仙臺ニ迫ル己ニメ官軍會津ニ入り攻撃甚メ急保科氏降  
 ル自餘ノ諸侯亦從フテ降ル是ニ於テ朝廷存連南部等ノ封ヲ削リ送  
 ニ國ヲ分テテ一國トス事ヲ斗南ノ地ヲ保科氏ニ賜ヒ其祀ヲ存ス地  
 國諸侯ノ官軍ニ降ルマ東兵相率テ北西館ニ走ル明年官軍糧糈數

般ヲ發シ之ヲ討ス先ツ宮古港ニ達ス東兵之ヲ聞キ關隘ヲ發メ之  
 ヲ發ヒ大ニ海中ニ戰フ官軍殺傷多シ而メ東艦遂ニ敗レテ走ル

羽前誌

羽前國ハ東陸前岩代ニ正接シ中間一地震城ニ觸ル南西岩代越後ニ界  
 メ乙字ノ勢ヲナシ北羽後ト犬牙相錯ハリ東ニ滿テ西ニ遜ス故ニ西方  
 ノ地僅ニ海ニ抵ル全國地形靈芝ノ如シ頭東ニ朝シ葦西ニ振ス國中四  
 郡アリ四面皆山南方平土多シ東北隅ニ龜割山アリ其西南ヲ新莊トス  
 新莊ノ南十餘里ヲ山形トス南西ニ黒森山盧空藏舟アリ最上川南境ニ  
 發シ山形天童ノ西ヲ過キ湯殿山月山羽黒山ノ北ヲ繞リ海ニ入ル其下  
 流ハ則チ酒田川是ナリ大凡此國雪多シ而メ天童ノ北尾花澤ノ際雪深  
 キト越後高田ニ亞ント云フ大雪ノ時ハ家屋山林皆雪ニ封セラル不夜  
 城カト疑ヒ銀世界カト疑フ國ノ西北ヲ莊内トス酒田川ノ南ニ在リ極

南ヲ米澤トス此際諸水會同ノトナリ北ニ流ル即チ最上川ノ上流ナ  
リ山形ノ西方ニ一沼アリ沼中ノ島皆浮島ト云フ産スル所銀銅  
絲繭及蝦蟹紅花否炭アリ

羽後誌

羽後國ハ國國八郡アリ北ハ陸奥東ハ陸中ニ矩接シ南ハ羽前ニ牙錯  
未位餘地ヲ抽出シ而シ西ハ海ニ面シ屈曲多シ形チ短柄ノ葉ノ如シ  
又東ニ向ヒ背西ニ向フ儘腐蝕多シ國ノ西南境ニ酒田川アリ川ノ北數  
里ニ高山アリ鳥海山ト云フ山西ニ小地角アリ大師崎ト云フ其北海邊  
ニ湖アリ象浮ト云フ古時名勝ノ地シリ而シ今大半田畝トナレリ其北  
細流數派アリ御物川東方ニ発シ諸水ヲ合シ海ニ入ル其北岸ヲ秋田ト  
ス東北ニ山アリ大平山ト云フ西北ニ余地アリ長岬ヲナス其北方ニ一  
大湖水アリ八郎澤ト云フ狭口淺シ且狹シ其西岸ハ則チ一彈丸大ノ地

小鹿島ト云フ而シ小路一幾則チ湖ノ北邊ヲ環セリ小路ノ北川アリ餘  
代川ト云フ東方ニ發源シ諸水ヲ合メ海ニ入ル之ヲ國ノ北邊トス國中  
山多シ北ニ池臺茨山真頼山アリ東北隅ニ矢立峠アリ其南ニ森吉山駒  
嶽アリ又南山中ニ大湖アリ田沢澤ト云フ其水南流メ御物川ニ入ル其  
南十餘里ニ金沢及ヒ厨川アリ西ニ高尾保呂波ニ山アリ産スル所金銀  
銅鉛麻糸

元明帝ノ時陸奥十二郡ヲ割テ出羽ヲ置ク而シ陸奥ト共ニ皆蝦夷ノ  
巢穴タリ因テ數反ス安倍貞任陸奥ニ敗レ來リテ鳥海ニ據ル官軍來  
討シ厨川ノ城下ニ連戰シ火ヲ縱テ之ヲ燒キ遂ニ貞任ヲ獲其後清  
原武衛家衡叛ス初メ其父武則源賴義ヲ右ケ貞任ヲ討メ功アリ鎮守  
府將軍ニ任セラル武則没ス諸子相闘シ仙北金澤城ニ據テ反ス源義  
家之ヲ討シ尋テ平ク南北朝ノ時最上大寶寺ニ式國ヲ分領ス足利氏



ノ季年秋旧小野寺ニ氏北方ニ據ル豊臣氏ノ時伊達政宗陸奥ヨリ起  
リ米澤ニ從リ其名氏ヲ攻テ之ヲ取リ後復陸奥ニ從ル徳川氏ニ至リ  
敗メテ諸侯ヲ分封ス戊辰ノ乱ニ陸奥出羽ノ諸侯合從ス而メ佐竹津  
輕心ヲ官軍ニ歸ス酒井氏兵ヲ發メ佐竹氏ヲ攻ム佐竹氏支ツル能ハ  
ス會官軍ニ至リ之ヲ救フ酒井氏因テ兵ヲ收ム己ニメ上杉氏先ツ降  
リ從解ク尋テ酒井氏亦降リ國中始メテ定マル遂ニ此地ヲ割テ二府  
トス

北陸道論

北陸道ハ西ハ畿内山陰道ニ接シ南ハ東山道ニ界シ北ハ日本海ニ濱ス  
坤位ヨリ辰位ニ向フテ七國ヲ聯合シ實ニ五縣三十三郡ヲ統轄ス西南  
ハ魚塩多ク東北ハ米穀多シ而シテ每國皆山ヲ南ニシ海ヲ北ニス故ニ其  
東山道諸國ニ出ルノ路總テ是崎嶇其若狹ハ國甚メ小ニ非ス然レ其地  
隣國ヲ待チテ後保ツヘシ教實ハ北陸著名ノ港是ヨリ東北地勢都テ垣  
兼左中將ノ略ト雖トモ衆寡敵セズ方終ニ屈スルニエシ者ハ亦地理  
ノ然ラシムル所ナキニ非ス而シテ織田右府ノ北軍ヲ恐レ夜又柴田ヲ以  
テ之ニ當ル者ハ豈山陰之ヲ敵障トナルナキヲ以テカ越前ヨリノ兩メ  
加賀而シテ能登浴道大率田畝海濱亦險ト稱スヘキ者ナシ白山ハ加賀ニ  
在テ高山タリ七尾ハ能登ニ在テ良港タリ加賀越中ノ境ヲ俱利伽羅ト  
ス此ハ是北陸第一ノ絶險之ヲ越テ復又平東而メ水脈脈々其幾十流ナ

ルヲ知ラス親不知ハ海邊ノ危険名實相違フ信濃川ハ北方第一大河  
 水勢甚々雄亦是一大厄地逸北水澤甚々多シ兵法謂フ所圯地無舎ト是  
 ナリ新潟ハ北陸ノ大馬頭港中泥沙年ニ積ミ復々平昔ノ比ニ非スト雖  
 元自餘ノ湾港未々代徳アルヲ聞サルナリ大凡北陸ヨリ起テカヲ中原  
 ニ角スル者前ニ旭將軍アリ後ニ不識公アリ而メ一ハ進取ヲ警メテ退  
 守ヲ忘レ一ハ根本ヲ固メ枝葉ヲ削メ是其存亡大ニ異ナルユエンカ佐渡  
 ハ則チ海表ノ孤島國ノ去就國ヨリ上國ノ盛衰ニ由ルト雖亦我國ノ  
 一大幣藏豈輕シク之ヲ見ル可シヤ

若狹誌

若狹國ハ西丹後ニ接シ南丹波ニ界シ東近江越前ニ隣リ北方一帯地水  
 相噬ム其地形恰モ敗荷ヲ歌ソカ如シ國中三郡アリ國境山ヲ繞ラス岸  
 亦小山多シ北海濱中央ヲ小濱トス多田嶽後瀨山音井山皆其南及ヨド

西ニ在リ名田庄川西南ヨリ來リ多田トニ山トノ間ヲ貫キ小濱ノ西ヨ  
 リ海ニ入ル熊川河東方ヨリ數水ヲ合セテ亦小濱ノ西ニ落ツ其東方ヨ  
 リ西北ニ向フテ一大半島ヲ生シ内大湾ヲナセリ小濱ノ西海水地中ニ  
 灣入ス其西岸亦長岬ヲナシテ東方ノ半島ト相對ス其西ヲ三的浦ト云  
 フ以テ丹後ニ接ス東方半島ノ東又大岬アリ中間海水漸入シ尚三淤ヲ  
 ナス岬ト東北境トノ間又大湾ヲナス而メ岬ノ本ニ大湖アリ北大湾ト  
 通ス國菜帶硯石及ヒ銅ヲ産ス

南北朝ノ時細川清氏佐々木道譽ト權ヲ爭ヒ小濱城ニ據ル足利義詮  
 兵ヲ遣テ之ヲ撃ツ克メテ幾ハクモ無メ清氏奔ル其後武田國信ノ領  
 スル所ナリ戰國ニ至リ丹羽長秀之ニ封セラル後越前ニ徙ル子長重  
 ニ至リ此地ニ復ス豊臣氏西征ノ時長重軍法ヲ犯シ封ヲ收メラル淺  
 野氏ノ領スル所ナリ

越前國

越前國ハ加賀ヲ併セテ魚ノ躍ル形ノ如シ而ノ下半身ヲ以テ越前トス  
 其地西若狹ニ界スル處ヲ尾端トス而ノ南迄江差濃及ヒ飛騨ノ界ヲ魚  
 腹トシ東北加賀ノ界ヲ魚ノ身半トス北ヨリ西ニ至ル一帶斜ニ海ニ濱  
 ス之ヲ鰯トナシ背トナス背ノ盡頭灣港ヲ爲ス港ノ當中ヲ敦賀トス傍  
 ニ氣比社アリ港東及地アリ金崎ト云フ即チ新田義頭團ミヲ受ルノ地  
 鳴呼張雅陽ノ死人ヲ名千歳ノ下尚興起セシム其東友山木目山アリ猶往  
 ク先キニ見エタルハ杣山板取燧ノ城址白鬼女川南方ヨリ來リ其中間  
 ヲ過キ北流メ海ニ入ル河門ヲ三國港ト云フ其東海水地中ニ蝕入ス如  
 賀ノ境ニ迹シ黒龍川美濃ノ境ヨリ來リ後遂ニ白鬼女川ニ合入共合流  
 ノ間ヲ福井トス南ニ黒丸ノ城址及ヒ北ノ莊アリ東南加賀ノ境ニ別山  
 大日山アリ麓ニ温泉ヲ生ス國中八郡アリ産スル所紙紮茶絲木綿絲

古昔此國ヨリ北越後ニ至ル迄並ヒニ之ヲ越國ト云フ後分チテ五國  
 トス繼體帝幼ナル時其母ト民間ニ下リ高向ノ邑ニ居リ王ヲ後迎ヘ  
 ラレテ位ニ即チ壽永中源義仲遷城ヲ城ノ反者アリ城陷ル即チ加賀  
 ニ走ル後醍醐帝ノ時新田義貞金吾ニ據ル足利高經之ヲ攻ム義貞杣  
 山ニ之ク己ニメ城中食竭ノ義頭等之二死ス尊良親王亦自殺ス其後  
 義貞黒丸城ヲ攻テ克ツ入之二死ス尋テ脇屋義助之ヲ取ル高經加賀  
 ニ走ル足利氏ノ接兵義助ヲ擊ツ義助走ル後斯波氏ノ領スル所アリ  
 斯波氏ハ即チ足利氏高經姪ヲ攻ムルナリ文明中其老甲斐其主ヲ  
 殺シ因テ棄テ朝倉敏景甲斐ヲ誅シ此地ヲ賜ハル敏景亦斯波氏ノ臣  
 ナリ義景ニ至リ織田信長來リ征ス義景其婦路ヲ絶ツ信長乃チ去ル  
 後屢近江ニ戰フ最後大ニ敗レテ歸ル信長長驅メ至ル義景自殺シ朝

倉氏六ノ信長乃チ柴田勝家ヲ封ス勝家豊臣秀吉ト戦ヒ敗レテ歸ル  
秀吉追テ至ル勝家自殺ス秀吉乃チ丹羽長考ヲ封ス子長重ニ至リ考  
吉其封ヲ收メ之ヲ割テ堀秀政ニ與フ関原ノ役國中西軍ニ應スル者  
多シ專平キテ後徳川氏結城秀康ヲ封ス

加賀誌

加賀國ハ西南越前ニ界シ魚ノ半身ヲ得東方飛驒越中ノ界ヲ魚腹及ヒ  
領下トシ北方能登ノ塚ヲ口鼻ノ處トス而メ西北一帯海ニ面ス之ヲ頭  
トナシ背トナス全国四郡アリ山高ク温泉多シ越中ノ境ニ二王山龜岳  
アリ飛驒越前ノ境ニ白山アリ此山北陸ニ在テ第一ノ高山ト稱ス西越  
前ニ近キ處ヲ大聖寺トス敷地川其東北ニ流レ海ニ入ル又東北三湖ア  
リテ相連ナル二三水アリ之ニ注ク其上ヲ小松トス梯川其東北ヲ繞リ  
海ニ落ツ河ロヲ安宅トス手取川南方ヨリ諸水ヲ合メ來リ安宅ノ東北

ヨリ海ニ入ル又其東北ニ大川淺野川アリ二水ノ間ヲ金沢トス南方ニ  
山アリ鞍嶽ト云フ北方ニ湖アリ内高松澤ト云フ敷水先ツ其中ニ雁シ  
而ノ後海ニ入ル産スル所紙絲陶器絹羽ニ重ナリ  
嵯峨帝ノ時越前二郡ヲ割テ此國ヲ置ク壽永中平氏源義仲ヲ討シ越  
中ニ敗レ藤原ニ退キ又敗レ遂ニ大ニ奪ル南北朝ノ時富樫氏之ヲ領  
ス後富樫二郎叔父安高ト守護ヲ争フ足利氏二人ニ命メ各半國ヲ領  
スシム其後一向ノ僧徒興リ奪フテ之ヲ領ス戰國ノ時國上杉氏ニ屬  
シ又織田氏ニ屬ス後前田氏ノ領スル所シリ石田三成兵ヲ起ス時前  
田利長東軍ニ應シ小松大聖寺ヲ攻テ之ヲ降ス專平クニ及ヒテ更ニ  
能登越中ヲ賜ハル

能登誌

能登國ハ南方加賀越中ニ接シ其余皆海中ニ浸出ス實ニ北方ノ水國ナ

リ形ヲ掌ヲ割テハ丸ヲ受ルカ如シ南境ヲ手頭トシ手背西北海ヲ受ケ  
 指頭東北ヲ指ス又東南境ヨリ拇指ヲ伸ヘ掌ト對シ灣ヲナス中ニ彈丸  
 大ノ地アリ融登島ト云フ國中四郡アリ南境ニ竄來山アリ手頭ノ北數  
 小水西流メ大濬ヲナシ再ト流レテ海ニ落ツ掌後及ヒ指背ニ當リテ共  
 ニ一小港アリ掌後ニ在ル者ヲ福浦ト云ヒ指背ニ在ル者ヲ河井ト云フ  
 而メ指頭ヨリ珠洲岬ト云フ岬頭ニ山伏山アリ指腹ノ地地角兩三處アリ  
 而メ拇指ノ内ニ七尾港アリ此際山水清麗數行ノ過雁三更ノ明月何ソ  
 必スシモ越山ノ景ヲ假シ國中ノ河大濬細流名ノ可キ者ナシ産スル所  
 布塩及ヒ馬アリ

元正帝ノ時越前四郡ヲ割テ此國ヲ置シ足利氏ノ時畠山氏之ヲ領ス  
 戰國ニ至リテ上杉輝虎畠山氏ヲ討テ終ニ之ヲ領ス輝虎没シ國畠田  
 氏ニ屬ス信長薨シ國中亂ル前田氏擊テ之ヲ平ク後遂ニ其領スル所

タリ

越中誌

越中國ハ東ハ越後信濃西ハ加賀能登ニ正持シ南ハ飛騨ノ齊ヲ受ケ北  
 ハ海水東西ヨリ斜入ス故ニ其地形木祇ノ如シ國中四郡アリ山河甚々  
 多シ東北境ニ朝日山佛嶽アリ東南ニ劍岳立山藥師岳アリ西南飛騨ノ  
 嶺ニ水無峠アリ正面ニ礪波山アリ又其西ニ俱利伽羅岳アリ昔者旭將  
 軍平軍ヲ比除ニ破リ進テ京師ニ至レリ然レモ江東ノ子弟八千人終ニ  
 一入ノ還ル者ナシ一將功未タ成ラス而メ萬骨己ニ枯ル歎スヘキ哉加  
 賀能登ニ接スル所三國峠アリ其北ニ室津山薄香峠石動山アリ海水斜  
 入ノ盡ル處ヲ雷山トシ神通川飛騨ヨリ入り國ノ當中ヲ貫キ雷山ノ西  
 ヲリ海ニ入ル其西村水川小矢部川等諸水アリ其東常願寺川早月川片  
 見川布施川黒部川及ヒ小川赤川アリ而メ最モ東ニ堺川アリ凡此十餘

水皆北流メ海ニ入ル國中温泉數所アリ産スル硝石綠布等アリ  
 壽永中平氏源義仲ノ討シ大兵ヲ以テ志雄山ニ陣ス義仲礪並山ニ至  
 リ五伏ヲ設ケテ夜之ヲ撃ツ平氏人馬悉ク俱判伽羅谷ニ陥ル死スル  
 者七萬人義仲北ルヲ逐テ加賀ニ入ル承久ノ役官軍寒原ノ塞ヲ掘シ  
 東軍ノ破ル所トナリ退キテ礪並山ニ戰ヒ又敗ル足利氏ノ時桃井氏  
 高山氏相尋テ之ヲ領ス戰國ノ時上杉輝虎ニ屬ス輝虎歿シ織田氏ニ  
 屬ス上杉景勝兵ヲ遣テ之ヲ畧ス作間盛政撃テ之ヲ走ラス信長國ヲ  
 舉テ佐々成政ニ與フ後成政富山ニ據リ豊臣氏ニ抗ス秀吉之ヲ征ス  
 成政降ル因テ之ヲ前田氏ニ與フ

越後誌

越後國ハ西越中ニ正接シ南ハ信濃上野東ハ岩代ニ接メ一大凸形ヲナ  
 シ東北羽前ニ斜界ス而シテ其西北一帶ハ総テ海ニ濱シ中間弓様ヲナシ

テ海ニ張出ス形チ蝙蝠ノ翼ヲ展ルカ如シ國國七郡アリ國境山多ク海  
 邊平土多シ越中ノ境ニ銀山橋立山アリ南境ニ境山妙高山ノ火山アリ  
 其際温泉ヲ生ス極南上野ノ境ニ清水白峯飯戸諸山アリ東境ニ朝草山  
 守門岳丸倉山等アリ東北ニ高根山朝日岳湯鷲山アリ西翼鈎ノ處海邊  
 地勢險隘號メ親不知ト云フ其東稚川信濃ヨリ來リ海ニ入ル又東大和  
 川早川註生川名達川有馬川ヲ歷テ関川ニ至ル河源信濃北境ノ湖中ヨ  
 リ出ツ其西岸ニ高田アリ之ヲ北方第一ノ大壘ノ地トス居ル者ハ常ニ  
 壘ヲ擁シ行ノ者ハ必ス據ニ乘ス又二三水ヲ經テ黒椎山八石山米山龜  
 割坂アリ之ヲ翼身ノ塚トス信濃川肩頭ヨリ入テ北流シ分レテ西河ト  
 ナリ同ク一河トナリテ臂ニ至ル臂ヲ新瀉トシ背ヲ長國トス其間ニ塩  
 井火井數處アリ又數水從橫流通シ處々大湖ヲナス阿賀川翼角ヨリ來  
 リ新瀉ノ東北ニ落ツ新瀉近歲港ヨリ開キ洋船輻輳萬楮林ノ如シ即チ北

陸第一ノ大埤頭ナリ阿賀川ノ兩岸ニ谷大湖アリ南ヲ馬屋瀨ト云ヒ北  
 ヲ福島瀨ト云フ其北ヲ新發田トス加治川東北ヨリ來リ其北ヲ過キ阿  
 賀川ト共ニ海ニ入ル河南ノ地輕炭ノ氣ヲ發スル處アリ寒々管ヲ持メ  
 之ヲ引キ以テ燈火ニ代フ新發田ノ地數里地中石脂油ヲ生ス又北數里  
 ヲ村上トス此處數水皆西流ノ海ニ入ル信濃川ヨリ阿賀川ニ至ル迄渠  
 水南北ニ亘リ舟船ヲ通ス所ノ渠本トシ得濃トノ間地形甚々狹長ナリ  
 大凡此際地勢坂方骨ク水ヲ導ク者アラハ水田ヲ利吾共裁許ナルヲ知フ  
 ス唯恐ラクハ水工其人ナク或ハ其害四隣ニ及ハンコトヲ司馬遷曰甚哉  
 水之爲利害也ト察セスハアル可カラサルナリ産スル所銀銅鑛鑄鑄  
 漆アリ

土御門帝ノ時邦人城長茂宗ヲ起シ京ニ入り鎌倉ヲ討センコトヲ乞  
 ヒ小山朝政ノ後ハ所トナル共得資盛又兵ヲ起シ鳥坂城ニ據ル己ニ

ノ敗ル足利氏ノ時上杉氏之ヲ領ス其季年上杉顯定ノ臣長尾爲景反  
 ス顯定之ヲ討シ軍利アラズノ自殺ス後爲景賊ニ殺カル季子輝虎家  
 ナ嗣ノ勇武比ナシ上杉憲政ノ托ヲ受ケ其姓ヲ冒シ屢兵ヲ関東及ヒ  
 東山ニ出シ諸國ヲ兼美ス景勝至リ義況景虎ト戰上國大ニ乱ル後景  
 虎敗死ス豊臣氏ノ時景勝ヲ會津ニ移シ堀秀治ヲ封ス其後徳川家康  
 其子忠輝ヲ封ス後罪アリテ國除カル而シテ諸侯ヲ國中ニ分封ス辰  
 ノ乱ニ東兵長岡ニ據リ兵ヲ近傍ニ出シ官軍ヲ拒フ官軍屢敗ル己ニ  
 メ官軍之ヲ取テ又矢ヲ而シ最後遂ニ之ヲ陷ル是ヨリ東兵日ニ微ナ  
 リ

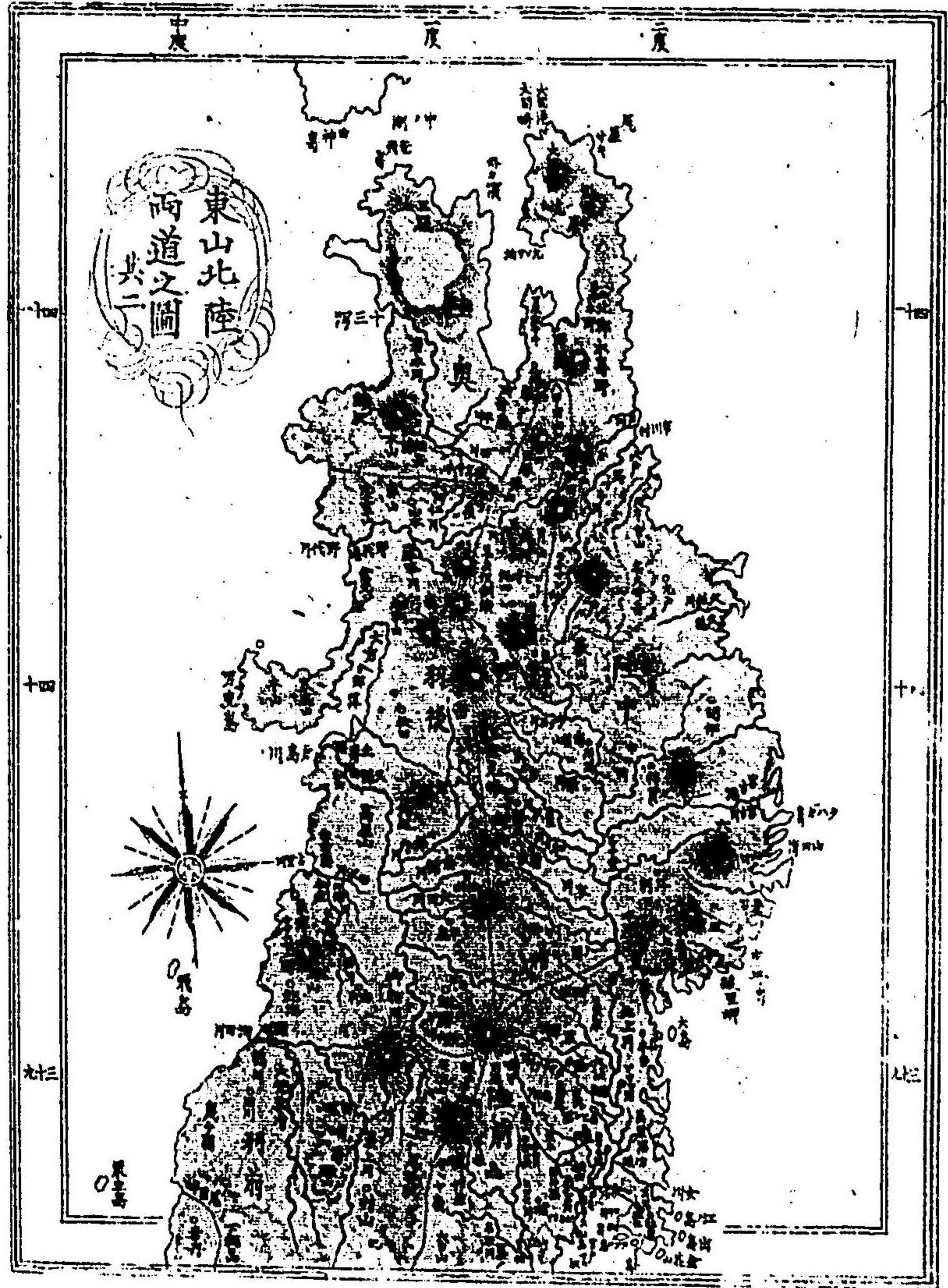
佐渡誌

佐渡國ハ東西共ニ海水ト正接シ南北共ニ海水地中ニ角入ス而シテ巽乾  
 兩位柄伸出入其形ヲ胡蝶ノ斜ニ飛カ如シ國ヨリ海中ノ一孤島ナリ國

三郡アリ東南隅ヨリ東ニ向フテ一小岬ヲ出ス地形本狹ク末廣シ其内  
 小港ヲナス小水港ト云フ羽茂川南流シ其東北ニ落ツ蝶背ノ地堂九川  
 小倉川新保川等ノ水東西ヨリ合流ノ南海ニ落ツ之ヲ國府川ト云フ北  
 ニ當リテ一湖アリ其口甚ク窄ク北海ノ角頭ニ通ヌ橋アリ之ニ架ス其  
 東西ヲ事野湊町トス灣ノ西南ニ金山アリ又其北方ニ檀特山アリ瀑  
 水多シ四十八滝ト云フ西北河ノ南流スル者一二派西流スル者五六派  
 ノリ國中各處金銀銅ノ諸窟アリ賦出諸國ニ冠ナリト云フ  
 承久ノ亂官軍大敗シ順德帝此地ニ蒙塵シ玉ト數年ヲ經テ島中ニ崩  
 ス後醍醐帝日野資朝等ト東征ヲ謀リ事露ル北條氏資朝ヲ此地ニ流  
 ス其主本間某北条氏ノ命ヲ受ケ人ヲシテ殺サシム資朝ノ子阿若  
 年尚幼征テ父ノ仇ヲ復ス戰國ノ時上杉氏ニ屬ス當時已ニ鑛物ヲ出  
 ス而シテ徳川氏ニ至リ金氣尤モ旺スト云フ







山陰道総論

山陰道ハ東方畿内北陸道ニ接シ南方山陽道ト相背キ北方日本海ニ枕  
 ム東ヨリ西ニ横ハリテ八国ヲ合シ實ニ四縣五十三郡ヲ併有ス茶煙及  
 ヒ礦物多シ其丹波ハ四邊山ヲ環シ雲霧殊ニ深シ兵家ノ怨ニス可ラサ  
 ル處其丹波ニ出ルハ路皆崎嶇其但馬ニ至ルハ路稍平易而メ安國道路  
 復奇險ナン固ヨリ武ヲ用フルノ國ニ非ス必ス山陽ト廣藪相依テ而メ  
 後堅シトス六分一公ノ如キ山陽ノ國ヲ跨有スルヲ以テ故ニ詭シ一世  
 ヲ雄視ス毛利氏兩川ヲ分テ東ニ向ヒ徳川氏外戚ヲ以テ兩道ニ封ス  
 皆之カ為メナリ吉川氏馬山ヲ保ナテ東南ヲ退ク意ヲニホメ必スシモ  
 地利ノ宜キヲ得ルニ非ス其此ヲ決メ之ヲ守ルヲ以テナリ鳥取地勢一  
 隅ニ據ル大関ノ雄畧ヲ以テカヲ費ヤメ而メ後僅ニ之ヲ取ル者ハ則チ  
 地利ノ人和ニ及ハサルユエンナリ其伯耆ハ百川並ヒ馳ス北陸ノ越中

ト彷彿タリ富田ハ出雲ニ在テ地勢稍便尼子氏ノ之ニ城ク亦宜ナル哉  
然レ其終ニ社稷ヲ喪フエシノ者豈山陽ノ早ク己ニ大江公ニ歸ス  
ルヲ以テカ此際今ニ至リテ猶鹵塩ヲ長門ニ仰ク亦是一大闕事其山陽  
諸國ニ出ルノ道多クハ是艱險固ヨリ沿海道路ノ此ニ非サルナリ隱岐  
ノ山陰ニ於テ海中ニ國スル亦猶佐土ノ北陸ニ在ルカ如シ而メ内帑ハ  
却リテ但馬石見ニ在リト云フ

丹波誌

丹波回ハ東南山城摂津ノ間ニ角入シ西播磨但馬ノ間ニ角入シ北東亦  
丹波若狹ノ間ニ角入シ獨リ正東僅ニ近江ニ界ス東西ノ地南北ニ比ス  
レハ狹長ヲ加フ形ヲ龜甲ノ如シ四境山多ク内亦諸山アリ丹波ノ境ニ  
三嶽大江山鬼城赤目三仙アリ若狹ノ境ニ頭巾岳アリ近江ノ境ニ知井  
山アリ鬼城ノ南方ヲ福知山トス一水東境ヨリ來ル者處ニ從フテ其名

ヲ異ニス大野川ト云ヒ和知川ト云ヒ又福知川ト云フ流レテ此ニ至リ  
土師川和久川諸水ヲ合シ北丹波ニ入ル即チ大川ノ上流ナリ福知山ノ  
已位ニ當リテ篠山アリ其東方十里許ヲ龜岡トス則チ國ノ東南隅ナリ  
殿田川近江ノ境ヨリ來リ國郡川摂津ノ境ヨリ來リ合メ一トナリ龜岡  
ノ北ヲ過キテ東山城ニ入ル此水亦處ニ從フテ其名ヲ異ニス鳥羽川ト  
云ヒ並河ト云ヒ保津川ト云ヒ山本川ト云フ即チ大堰川ノ上流ナリ國  
中六郡アリ産スル所茶絲煙艸砥石席片杉木アリ  
後醍醐帝ノ時足利尊氏及ス邦人久下時重等之ニ應ス帝吉野ニ走リ  
玉フ時江田行義高山寺城ニ據リ金谷經氏丹生山ヲ守ル後細川氏ノ  
領スル所ナリ大内義弘ノ反スル時山名氏清ノ子某兵ヲ國中ニ起ス  
戰國ノ時泰秀治ノ領スル所ナリ織田信長明智光秀ヲノ屢之ヲ伐シ  
ム己ニメ羽柴秀長來リ十餘城ヲ拔ク光秀歎キテ秀治ヲ殺シ龜山ニ

治入光秀謀ニ伏入ルノ後國畫臣氏ニ帰ス

丹後誌

丹後國ハ東ハ若狹南ハ丹波西ハ但馬ニ接ス而シテ北方一帶地水雄長ヲ争フ其地形廣狹若狹ト畧相若ケリ但左右相反スルノニ國中五郡アリ境域山ヲ圍ラス東南ニ舞鶴アリ其北海灣ヲ受ク西岸ニ建部山アリ灣ノ外ヲ由良港トス大川丹波ヨリ來リ東北ニ流レ其東ニ落ッ是ヨリ海水岸頭ト屈曲シ西ニ向フテ地中ニ入ル之ヲ與謝海ト云フ其盡ル處ヲ岩滝港トシ南岸ノ半ヲ宮津トス宮津ノ西南ニ大江山アリ野田川其西北ヲ過キ岩滝港ニ注ク其北岸ノ小岬南方ニ伸出ス之ヲ天橋立ト云フ万松海波ト相映シ風景殊ニ佳即チ我國三勝ノ一ナリ地勢北ニ向ヒ經岬ニ至リテ遠ニ西ニ其海ヲ宇川浦ト云フ次ニ竹野浦掛津浦アリ以テ但馬ニ接ス其間曲灣兩所アリ佐野川其西灣ニ瀧ヲ竹野川其東灣ノ東ニ入ル産スル所縮緬及ヒ生蠶アリ

元明帝ノ時丹波五郡ヲ割テ之ヲ置ク足利氏ノ時一色氏之ヲ領ス義定ニ至リ織田信長ニ誘殺セラル石田三成兵ヲ撃ル時細川藤孝田邊ニ君ル西軍田邊ヲ圍ム己ニメ之ヲ収ク後京極高知ノ領スル所ナリ幾ハクモ無メ高知出雲隱岐ニ徙封セラル

但馬誌

但馬國ハ南播磨丹波ノ間ニ角接シ東一頭地ヲ丹波丹後ノ間ニ出レ西因幡ニ隣リ北海ト界ス形チ西洋ノ茶碗ノ如ク國中八郡アリ境上山地多ク東南丹波ニ接スル處朝來山アリ其西南ヲ生野トス銀山アリ豊岡川此際ヨリ發源レ諸水ヲ合セ北流レ北海ニ注ク河口丹後ノ境上ニ近レ其西岸ヲ湯島ト云フ上ニ來日嶽アリ下ニ温泉アリ出石川極東ヨリ來リ出石ノ南ヲ繞リ西流ノ豊岡川ニ合ス來日嶽ノ西ニ細流アリ市場川ト云フ河口ノ地角ヲ描崎ト云フ而シテ其西汀渚海波ト相齒ム小港アリ

丹生港ト云フ其西大谷川南方ヨリ來リ海ニ入ル河ノ西ニ岬アリ餘部  
岬ト云フ其西小流一二派アリ又西小港ヲ雪白濱ト云フ因幡ノ境ニ近  
シ鳴呼此國山陰ノ沃土且黃白ヲ産スルト多キヲ以テ之ヲ淡津播磨ニ  
比スルニ尚兄タリ難キ事ナリ難トス産スル所更ニ紙碓及ヒ牛アリ  
足利氏ノ時山名氏ノ領スル所タリ戰國ノ時織田信長兵ヲ遣レ山名  
氏ヲ攻テ之ヲ滅ホス後豊臣秀吉國中ヲ拘ヘ諸城ヲ陷ル山名祐豊出  
石ヲ以テ降ル徳川氏ノ季年客士等尊攘ノ説ヲ唱ヘ兵聚メ銀山ニ據  
ル時ニ土寇四方ニ起リ且近傍ノ藩兵來リ撃ツ國中平シ

因幡誌

因幡國ハ地形方正其境北海ニ面シ東但馬ニ界シ東南播磨ニ接シ南ハ  
美作西ハ伯耆ニ境ス而シ美作ノ境地少シ出入ス國中ハ郡アリ境上山  
ヲ繞ラス東方ニ因幡山約山管山アリ東南ニ池田山アリ南方ニ副山名

木山アリ西方ニ鷲峯山アリ加露川國ノ正南ヨリ北流シ東西數十ヲ合  
メ北海ニ入ル其東海岸ニ迹々處ヲ島羽トス東ニ兩水匯アリ湯山池細  
川池ト云フ二水合メ北海ニ落ツ其東ニ細流アリ上洋湯村ノ地温水ヲ  
生ス但馬ノ境ニ迹シ加露川ノ西ニ大湖アリ湖山池ト云フ中ニ島アリ  
青島ト云フ池水加留川ト共ニ海ニ入ル其西ニ小湖アリ東ニアル者ヲ  
奥沢見池ト云ヒ西ニ在ル者ヲ日光池ト云フ共ニ北海ニ通ス其南ヲ鹿  
野ト云フ之ヲ國ノ西境トス而シ此十數所大抵皆海上ニ在リ其腹地ニ  
至リテハ播磨美作ニ出ル兩大道ノ外別ニ軌ノ可キ者アルナシ爾故木  
綿木材白珊瑚ヲ以テ國産トス

足利氏ノ時山名氏之ヲ領ス後尼子氏ノ有スル所アリ己ニメ毛利氏  
之ヲ亡ボシ此地ヲ取ル後尼子勝久但馬ヨリ來リ山名豊邦之ニ應ス  
勝久十餘城ヲ拔キ鳥取ニ據テ國中ヲ下ス其後豊臣秀吉來征シ鹿野

ク坂メ山名氏ノ一族城中ニ在ル者ヲ攻メテ還ル吉川元春之ヲ救ソフ  
テ及ハス而メ秀吉又豊邦ヲ鳥取ニ圍ミテ之ヲ降シ因テ國中ヲ徇フ  
豊邦走ル而メ鳥取ノ諸臣猶毛利氏ニ屬ス秀吉遂ニ大舉メ之ヲ圍ム  
城中糧尽ク吉川經宗等自殺ス國秀吉ニ屬ス秀吉西征ノ後宮部繼潤  
ヲ封ス關原ノ役後中村一武之ヲ領ス後德川氏池田光仲ヲ封シ鳥取  
ニ治セシム

伯耆誌

伯耆國ハ東因幡ニ接シ東南美作備中ニ接シ中間少シシ陥リ南西圭前  
ヲ備後出雲ノ間ニ入ル北方ニ帶東ヨリ西ニ至ル迄海面ニ灣出シ而メ  
出雲ニ近キ處大岬アリ地東西ニ長ク南北ニ短シ故ニ全國ノ形チ齒ヲ  
倒マニスルカ如シ國六郡アリ國境山多シ國ノ正南ニ大山アリ其東方  
ニ蛭山アリ北麓ニ鰯山能見山尾山アリ東方海邊ノ湖ヲ東郷池ト云フ

北海ニ通ス南方諸水相會同メ其西ヨリ海ニ落ツ之ヲ橋津川ト云フ其  
西一帶門沙海水ト正界ス而メ十餘小水皆南方ヨリ直瀉メ海ニ入ル其  
深キ者ハ之ニ舟シ之ニ方ス而メ其淺キ者ハ裳ヲ褰ケテ涉ルヘシ最モ  
西ニ在ル水源ヲ國ノ西南ニ發シ東北ニ向フテ馳セ大岬ノ南ヨリ海ニ  
注ノ之ヲ日野川ト云フ而メ大岬ノ西出雲ト海ヲ隔テハ大灣ヲナス之  
ヲ名和浦ト云フ浦上ニ松上アリ國中鉄砂木綿麻苧ヲ産ス  
後醍醐帝隱岐ニ播遷シ玉フ時潛ニ出テ此地ニ至ル本國ノ人名和長  
年族ヲ舉テ勤王シ寨ヲ松上山ニ造リ大ニ賊軍ヲ敗ル足利氏ノ時山  
名氏ノ封國ナリ戰國ノ時國尾子氏ニ屬ス尾子氏亡ヒテ毛利氏ニ屬  
ス南條元續羽衣石ニアリ毛利氏ニ畔ク吉川元長等之ヲ討シ長瀬川  
ニ戰ヒ大ニ之ヲ敗ル豊臣秀吉因幡ニ入ル時吉川元春之ヲ救ヒ馬山  
ニ至リ鳥羽陥ルト聞テ留マル已ニメ秀吉來ル元春退カス死ヲ以テ

自ラ矢ヲ秀吉及チ帰ル後ニ氏和スルニ及ヒテ馬山ヲ以テ界トス

出雲誌

出雲國ハ東ハ伯耆南ハ備後西南ハ石見三所均ク正接シ西北同ク海ニ枕山國中十郡アリ山多シ石見ノ境ニ琴彈山アリ伯耆ノ境ニ島上山アリ北方ニ八重垣山アリ東北ノ地伯耆ト共ニ一大海湾ヲ擁ス吹口甚メ狹ク中ニ大根島アリ湾ノ極西ヲ錦浦ト云フ其西松江ノ大湖アリ湾ニ通ス川ノ最モ東ニ在ル者ヲ丹尻川ト云フ少シノ西ニ富田川アリ共ニ湾ニ落ツニ水ノ間ヲ富田トス伯耆備後ノ境ニ近キ處ヲ歌川上ト云フ此際數水谷メ址ニ流レ兩派ニ分レテ湖ニ入ル古志川西南隅ニ發シ亦北流メ西瀆ニ落ツ其北ニ大社アリ其西北角ヲ日御崎トス迤南海水西ヨリ角入シ運東海水北ヨリ蝕入ス而メ其東北ハ滄海ニ面シ南ハ湖灣ヲ受ケ半島ノ形ヲナセリ東方ニ山アリ枕木山ト云フ此國山陰ニ僻在

スト雖元十早根ル神ノ代ヨリ諸神已ニ此地ニ住ミ五フヲ以テ其名風ニ蟠洲ニ顯ルト云フ産スル所城鐵陶器海魚アリ

堀河帝ノ時源義家ノ嫡子義親ヲ隱岐ニ流ス後述レテ此地ニ至リ史ヲ授シ實職ヲ奉フ平正盛討テ之ヲ誅ス北條氏以來盛谷氏之ヲ領ス後佐々木氏ノ領スル所タリ而メ其後尼子經久達ニ之ヲ領シ大内義興ト連年共争ス孫晴久ニ至リ大内義隆大兵ヲ以テ來リ之ヲ富田城ニ攻メ敗レテ帰ル後晴久伯耆石見隱岐ヲ蠶食ス而メ毛利元就屢來リ撃ツ互ニ勝負アリ後元就衆ヲ悉メ富田ヲ圍ム尼子氏圍ミヲ受ル七年終ニ降ル後尼子勝久其臣山中幸盛等ト此地ニ據リ布陣ニ戰フテ敗レ新山ニ走ル元就卒ス勝久勢頗ル張ル吉川元春奮フテ之ヲ攻ム勝久走リ幸盛降ル已ニメ逸メ京師ニ走ル閑原後後堀尾吉晴ノ領スル所タリ後堀尾氏嗣無メ國除カル之ヲ京極氏ニ贖フ亦嗣無メ國

除カル

石見誌

石見國ハ西長門ニ界シ東ニ折レテ周防ニ接シ既ニノ安藝ノ大嶮ヲ受ケ東南一照備後ニ交ハリ東出雲ニ界ス而メ北ハ絶テ海ニ面ス其海濱西ヨリ東ニ至ル迄馳ニテ又張ル地形東西ニ長ク南北ニ短シ殆ト關維ノ頭ニ似タリト備東ニ向フ石見國如硯竹生島似差ノ句即チ古人一時ノ滑稽ノミ國中六郡アリ境城山々シ出雲ノ境ニ三瓶山アリ安藝周防ノ境ニ星坂峠アリ西南隅ヲ津和野トス和田川其際ヨリ北流シ教水ヲ合セテ海ニ入ル下流ヲ高津川ト云フ河口ノ西ニ山アリ高津山ト云フ又東ニ久々茂川爾崎川兩布川アリ皆海ニ入ル而メ其東ニ小灣アリ土田浦ト云フ又其東ニ衣帯水ヲ隔テ、濱田アリ濱田ノ北小岬西ニ出ツ其内灣ヲ外浦ト云フ郷川國ノ南邊安藝備後ノ界ヨリ來リ諸水ヲ合シ西

北ニ流レ星高山ノ東ヲ避キ濱田ノ東教里ノ處ヨリ海ニ入ル之ヲ山陰第一ノ大河トス是ヨリ東細流ニ三汝小港教處アリ而メ出雲ニ近キ處淡根村ノ中小湖アリ國銀鉛鐵楮ヲ産ス

南北朝ノ時三船來兵ヲ率テ足利直冬ニ應ス高師泰兵ヲ帥シテ來リ教城ヲ拔ク義滿ニ至リテ直冬降ル乃チ此國ニ安置ス後大内氏山名氏之ヲ分領ス戰國之時國厄子氏ニ屬シ遂ニ毛利氏ニ屬ス輝元ニ至リ之ヲ削ラル徳川氏ノ末年毛利氏ヲ征ス毛利氏兵ヲ出シ屬國中ニ戰ヒ遂ニ濱田ヲ陷ル

隱岐誌

隱岐國ハ出雲ノ正北海中ニ在リ形チ各々形ヲナシ巽位海水岐入ス故ニ其際南北西岬ヲナス地形蜘蛛ノ物ヲ捉ヘントスルカ如シ北岬ノ頭ニ西池アリ東池女池ト云フ其他區中小山小流アリ南方海中ニ三島ア



リテ之ニ属ス之ヲ併セテ四郡トス三島東ニ在ル者形ヲ措ニメ屈曲多  
シ其北濱ニ後鳥羽帝ノ古蹟アリ西ニ在ル者形ヲ狹長東岬ニ焚火山ア  
リ西北隅ハ即チ後醍醐帝行在所ノ在シ處ナリ南ニ在ル者最モ小南方  
ノ港ヲ知夫里港トス其他迹傍ニ小島數十アリ皆海中ノ一拳石ノ産  
スル所賜海參石決明裙帶菜アリ  
承久ノ乱京軍大ニ敗レ後鳥羽上皇此國ニ播越シ王ト数年ヲ經テ崩  
ス元弘中北條高時後醍醐帝ヲ此地ニ遷ス明年帝潛ニ出テ伯耆ニ至  
ル戰國ノ時足利氏毛利氏相尋テ此ヲ領ス關原大戦ノ後堀尾氏京極  
氏又相尋テ之ヲ領ス

山陽道總論

山陽道ハ東畿内ニ接シ北山陰道ト相背キ南内海ニ面シ東西ニ衝ハリ  
テ八國ヲ連メ内ニ六縣八十一郡ヲ管有ス實ニ山陰ト腹背ヲ相成セリ  
魚塩米穀砂礫共ニ豐備明石ハ岩屋ト海路扼要ノ地而メ明石川加古川  
以西教河大水ノ時皆小害アリ姫路ハ地勢坦ニメ濤々如水氏ノ豊大關  
ヲメ之ニ城カシムル者ハ其通道ヲ衝ニ當ルヲ以テカ白旗ノ如キ地形  
僻小圓心式ノ詐偽ト等持公ノ大援トニ非サレハ以テ一朝モ守ル能ハ  
ス空津ト下津井ハ海舟必由テ港舟坂三石ハ古人敵ヲ扼スルノ地而メ  
其岡山ハ姫路ト相類ス大凡摂津以西三備ニ至リ地ノ險ト稱スヘキ者  
ナシ大關ノ山陰ヲ捨テ山陽ヲ圖ル者ハ己ニ腹心ヲ治ムル時ハ其背疾  
從マテ醫スヘキヲ以テナリ毛利氏ノ和ノ之下幸ハサル者ハ乃チ小早  
川氏ノ智術當時此ナキニエナリ何シテナレハ山陽ノ地安藝ヨリ以

西地形稍險ト云フト雖此國カヲ以テ中原ト相角ス可ラス山名大内ノ  
大ヲ以テ一敗反ラサルユエンノ者豈獨リ其數ノ罪ノミナランヤ増々  
タル一雙ノ慧眼何ソ見ルノ甚ク早キヤ周防長門亦大險大河ナシ而  
メ其亦間關ハ則チ海路要扼ノ地昔時平家此際ニ據リ以テ備安ヲ圖ラ  
ントシ終ニ以テ全ク亡フ之ヲ東隅ニ失メ又東嶺ニ失フ衰哉

播磨誌

播磨國ハ東播津ニ界シ北丹波但馬ニ界シ西北一角因幡ニ接シ西美作  
ト出入シ西南備前ニ隣リ南海ニ距ル地形方ニメ而メ長國中十六郡ア  
リ又畑稠密隣邑相望ニ雜犬ノ聲相聞ユ東北隅ニ武士山三草山アリ北  
方ニ龍谷峯金倉山アリ國ノ半ニ當リテ南ニ書寫山アリ北ニ雪彦山ア  
リ備前ノ境ニ丹阪山アリ美作ノ界ニ杉坂大日山アリ而メ西北一帶山  
甚ク多シ播津ノ境ニ川アリ堺川ト云フ川ノ西方ニ明石アリ播津須磨

ヨリ此際ニ至ル迄南淡路ヲ望ムニ風光殊ニ佳ナリ明石川東北ヨリ來  
リ其西ニ落ツ又東北邊ノ教流會同メ南ニ馳セ明石ノ西數里ニ至リ海  
ニ注ク之ヲ加古川ト云フ其口ヲ高砂トス其西北ニ一大石室アリ形状  
奇古号ケテ石寶殿ト云フ屋ヲ横ニシテ土ニ又池中ニ横ハレリ土人云フ  
石室支柱ナシ但水上ニ浮フノニ或云フ意フニ上古大石ヲ此地ニ削開  
シ功未ク竣スノ之ヲ委テ其後四圍水ト成テラント其然リ豈其然ラ  
ンヤ其西市川國ノ西北ヨリ來リ海ニ入ル東岸ヲ御着トシ西岸ヲ姫路  
トス其西正茶川アリ北境ヨリ發水シ海ニ入ル上浮ノ西岸ヲ龍野トス  
河口ノ西地ト水ト一却一進ス港アリ室津ト云フ最モ西ニ在ル河ヲ有  
年川ト云フ其源亦北境ニ發ス中道ノ東岸ニ白旗山アリ阿門ノ西ヲ赤  
穂トス備前ノ境ニ迹シ姫路龍野ノ際海上島多シ西島家島淡加島稍大  
ナルトス國塩及ヒ草匣木炭木材ヲ産ス

雄略帝市邊押磐ヲ殺ス其子億計弘計ニ王逃レテ赤石ニ匿ル清草帝  
 ノ時迎ヘラレテ宮ニ入り後皆帝位ニ即キ玉ヲ壽永中源行家平氏ト  
 室山ニ戦ヒ敗レテ奔ル後醍醐帝ノ時赤松則村若繩城ヲ城々テ王ニ  
 勤ム足利尊氏ノ及スル時則村亦及ス新田義貞之ヲ白旗城ニ圍ム兒  
 島範長此地ヲ避キ則村ノ兵ト戦フテ之ニ死ス義貞圍ニテ殺テ東ニ  
 去ル國赤松氏ニ帰ス滿祐ニ至リ將軍義教ヲ京ニ絀シ逃レテ帰ル諸  
 軍從フテ來征シ滿祐誅ニ伏ス國山名將盡ニ賜フ其後赤松氏再ト興  
 リ又之ヲ領ス戰國ノ時小寺政職寺毛利氏ヲ懼レ殺ヲ織田氏ニ納ル  
 信長豊臣秀吉ヲ此地ニ封ス政職中頃悔テ備後ニ徙ル毛利氏尼子氏  
 ヲ上月ニ圍ム秀吉自ラ將トメ之ヲ救ヒ高倉山ノ下ニ戰フ東軍利ア  
 ラズ是ヨリ先キ別所長治三木ニ據リ秀吉ト戰ヒ互ニ勝負アリ己ニ  
 メ城中食ニ乏シ長治力屈メ遂ニ自殺ス徳川氏ノ時池田氏ヲ封ス己

ニン備前ニ徙ス元禄中赤穂城主淺野長相江戸ニ在リ吉良義興ヲ管  
 中ニ傷ケ死ヲ賜フ其妻大石良雄義人ヲ糾合シ義興ヲ江戸ノ邸ニ擊  
 テ其仇ヲ復ス

美作誌

美作國ハ北因幡ニ界レ西頭角ヲ伯耆備中ノ間ニ入レ南備前ニ界レ東  
 播磨ニ接ス地勢東西ニ長ク南北ニ短ク全地稍巽乾ニ向フ形チ巨入ノ  
 武ノ如シ國中十二郡アリ境域山多レ即チ山陽ノ山國タリ國ノ中共ヨ  
 リ稍東ヲ津山トス一水西北ヨリ其南ニ至リ南北ノ水ヲ合セテ南行ス  
 之ヲ津山川ト云ヒ又東川ト云フ又一水東北ヨリ來リ之ト南境ニ會ス  
 備前ニ入ル津山ノ西南ニ當リテ佐長山アリ更ニ一水西北隅ヨリ來リ  
 勝山ノ西ヲ回リ東西ノ水ヲ併セ東南ニ馳セ備前ニ入ル之ヲ西川ト云  
 フ國中小山及ヒ古城跡多シ鐵ト雲齋トヲ産ス

元明帝ノ時備前六郡ヲ割テ此國ヲ置ク南北朝ノ時山名時氏赤松氏ト戦ヒ諸城ヲ取ル後國赤松氏ニ屬ス赤松七ビテ山名氏ニ屬ス後浦上氏ノ領スル所ナリ戰國ノ時其臣浮田氏之ヲ奪フ後毛利氏浮田ノ貳アルヲ憤リ師ヲ率キテ來リ五城ヲ拔ク既ニノ國豊臣氏ニ歸ス關原大戰ノ後小早川季秋ヲ領スル所ナリ

備前誌

備前國ハ西備中ニ界シ南半地勢稍贏リ北半地勢較輸シ南ハ海ニ臨ミ東ハ播磨ニ接シ東北地勢大ニ殺テ西北ニ至リテ一小角ヲ抽シテ而テ此一帶皆美作ノ南境ナリ地北ニ狹ク南ニ寬レ蓮房ノ状ニ似タリ國中ハ郡アリ河水ニ道皆北美作ヨリ來リ南海ニ達ス故ニ全國三分ニ分ル西ニ流ル、水ヲ西大川ト云ヒ又旭川ト云フ西岸ニ岡山アリ海ニ近レ其北方ニ當リテ別ニ街道アリ岡山ノ西方ニ細流一アリ備中ニ切近ス

東ニ流ル、水ヲ東大川ト云ヒ又吉井川ト云フ河口南兒島ノ峯頭ニ向フ傳ヘ云フ兒嶋古ノ島嶼ニフト今分則備中ノ東南ニ連ナレリ地形狹長内灣亦徒ニ長シ兒島ノ西南角ヲ下津井トシ灣ノ盡頭ヲ藤戸トス此ニ至リテ渡頭ヲ開フモ土人前ニ懲テ應ニ答フル者無ルハシ行人豈迷津ノ歎ナキヲ得ニヤ吉井川ノ東河沙海面ニ突出ス東南角ヲ牛窓ト云フ其前ニ島アリ前高ト云フ國ノ正南ニ當レリ是ヨリ東界ニ至リテ中間海水地中ニ曲入スル處アリ其西北ニ熊山アリ北ニ當リテ天神山アリ東播磨ノ境ヲ三百トス其上ニ十三峠アリ國茶葉砂糖磁器ヲ産ス造ル所ノ刀劍諸國ニ冠タリ

備前ハ旧備中備後ヲ併セテ言備ト稱ス後分チテ三國トス平氏一谷ニ敗ル、後源莊頼餘兵ヲ兒島ニ擊ツ佐伯水盛綱密ニ津處ヲ漁人ニ間ヒ之ヲ殺シ其口ヲ滅レ幾ニ衆ヲ盡シ之ニ捷シ足利尊氏

又スル時兒島範長父子兵ヲ熊山ニ舉ケ服屋義助三石菩提ヲ圍ム後  
國赤松氏ニ屬ス赤松七ヒテ山名氏ニ屬ス而シテ後又赤松氏ノ領スル  
所タリ戰國ノ時浮田氏之ヲ領ス掌テ豊臣氏ノ命ヲ以テ兒島ニ築ク  
テ毛利氏ニ備フ穂田元清攻テ之ヲ拔ク閑原ノ從浮田秀家西軍ノ師  
タリ敗ルテ西ニ走ル徳川氏乃チ小早川秀秋ヲ封ス秀秋狂死レ國除  
カルヒニ池田光政ヲ封シ岡山ニ治セシム

備中誌

備中國ハ馮賊ノ状ノ如シ頭ヲ北美作伯耆ノ間ニ挿ミ左右ヲ備前備後  
ニ接ヒ腰海ニ臨ミ足海ニ曲出ス而シテ此曲出ノ地獨リ備前ニ屬スト  
云フ國中十一郡アリ到リ處山アリ而シテ又平地アリ北隅ニ劍山花見山  
アリ其南方ニ當リテ新野山アリ又吉備赤龍諸山アリ其餘數水相會ス  
國ノ中身ヲ貫キ南海ニ入ル之ヲ甲部川ト云フ河東海ニ近キ處ヲ倉敷

ト云フ國ノ中央ヲ高梁トス亦甲部川ノ東岸ニアリ其東北ニ井山忍山  
アリ一水其北ヨリ來リ一水西備後ヨリ來リ皆高梁ニ至リテ甲部ニ入  
ル其他西方ヨリ發源スル水東南ニ流レ甲部ノ下流ニ入ル東方ヨリ發  
源スル水南流シ庭瀬及ヒ吉備津社ノ西ヲ過キ兒嶋ノ内灣ニ入ル其東  
ハ則チ備前ノ境ナリ此國海中數島アリ而シテ尤モ西ニ在ル者ヲ水島ト  
云フ因テ此際、海上ヲ水島灘ト云フ全國沃土其田ハ上ノ上銅鉄茶絲  
ヲ産ム甲部ニ淳ヒテ海ニ連ス

壽永中原義仲兵ヲ遣メ平氏ト水島ニ戰フテ敗績ス足利尊氏九州ニ  
走ル時大江田氏經福山城ヲ守ル己ニメ足利直義攻テ之ヲ陥ル後細  
川滿之之ヲ領ス戰國ノ時國毛利元就ニ屬ス元子勝久再ヒ出雲ニ起  
リ國中之ニ應ス元就其子穗田元清ヲメ之ヲ平ケシム三村元親松山  
ニ在リ淳田氏ト連年兵爭ハ後豊臣秀吉毛利氏ト爭ヒ高松ヲ環メ之

二灌之城將清水宗治自殺ス秀吉織田信長害ニ遇フト聞キ毛利氏ト和シ甲部川ヲ界トメ去ル關原役後毛利氏之ヲ削ラル徳以氏ノ季年毛利氏ヲ討ス毛利氏ノ兵海路ヨリ倉敷ヲ襲フ東軍安藝ニ在ル者反リ撃テ之ヲ走ラス

備後誌

備後國ハ形ヲ鷲鳥ノ頭ノ如シ頂背ヲ東備中ニ接シ頭ヲ東北伯耆ニ界シ喙ト喉トヲ出雲石見安藝ニ接ス而メ南ノ海ニ臨ム所ヲ頭ト入國中ノ山アリ而シ大山ナシ東北隅ヲ東條トス其南ニ在ル川ヲ東條川ト云フ東流メ備中ニ入ル國ノ北ニ細流數流アリ皆西ニ流レ互ニ相會ス後合メ一トナリ西境ニ至ル之ヲ岩神川ト云フ遂ニ安藝ヨリ來ル水ト合メ石見ニ入ル國ノ西南ヲ三原トシ其東ヲ尾道トス二小水西境ヨリ東ニ馳セ合メ一トナリ猶東流シ遠ニ折レテ南シ東方ノ水ヲ合セ南海ニ赴ク

之ヲ蘆田川ト云フ其東若ヲ福山トス東ニ地前アリ備中ニ界ス西ニ岬アリ海中ニ抽ンツ岬頭ニ港アリ鞆ト云フ丸中國ノ中此港及リ備前ノ下津井播磨ノ室津皆好馬頭トス岬ノ西一大海湾ヲナシテ安藝ニ接ス海中ニ向島田島數島アリ國中十四郡アリ庶片木綿畑ヲ産ス足利氏ノ時澁川氏山名氏相尋テ之ヲ領ス戰國ニ至リ國毛利氏ニ屬ス足利義昭織田信長ト隙シ生ヲ因慶メ毛利氏ニ投ス應永之ヲ鞆ニ置ル應元封ヲ削ラル後福島正則ノ領スル所タリ後正則罪アリ封ヲ收メラル

安藝誌

安藝國ハ西周防ニ接シ北大方ヲ開ク石見備後ニ交ハリ東純角ヲ備後ノ西南ニ接ス南方一帯海ニ枕シ東島ヲ入ル地形觸摩ノ如シ國八郡ニ分ツ山陽ノ國三備大率平行此ニ至リテ山多シトス以テ東ノ水東流

兩津ノ堤ヲ至リ忽チ泗流メ額ニ循ヒ備後ノ水ト會メ石見ニ入ル  
 即チ瀬川ノ上流ナリ泗流ノ中間ヲ吉田トス西境ヨリ東ニ流ル、水國  
 ノ中央ニ至リ東北ノ水ト合シ遠ニ折レテ西南シ數岐ニ分レテ海ニ注  
 ク東ニ水ノ間ヲ廣島トス西ノ水ヲ小屋川ト云フ其西ニ八幡川アリ最  
 モ西國防ノ境ニ又小流アリ其東海上數町ニ島アリ宮島ト云ヒ又嚴島  
 ト云フ島中高山アリ西北濱ニ一神殿アリ堂廊壯嚴潮至レハ塔下皆水  
 トナル即チ我國三勝ノ一ナリ廣島ノ南ニ島アリ江多ト云フ此ニ島皆  
 大灣中ニ在リ灣ノ東方ヲ音頭峽トス其南ニ島アリ傳ヘ云フ古ヘ此地  
 半島ナリ平清盛安藝ノ舟ナル時地峽ヲ整開メ海水ヲ通シ以テ來往ノ  
 船ニ便スト云フ峽ヨリ東海濱甚々曲屈ナシ而メ小水ニ三派アリ最モ一  
 東ニ在ル水ヲ奴田川ト云フ此連海上大小數島アリ産スル石山齒木綿  
 牡蠣及ヒ鉄アリ

利氏ノ時大内武田ニ氏之ヲ分領ス其季年尼子經久モ利元就ヲ吉  
 田ニ攻メ軍敗レテ帰ル後陶晴賢大内義隆ヲ殺シ長門國防ヲ領シ兵  
 ヲ此地ニ用ウ元就兵ヲ嚴島ニ伏セ大ニ之ヲ敗ル晴賢走ル追テ之ヲ  
 斬ル是ニ於テモ利氏大ニ興リ近國ヲ果有ス關原戰後福島正則ノ封  
 國ヲリ後正則罪アリテ國除カル事云淺野氏之ヲ領ス徳川氏ノ季年  
 毛利氏ヲ征シ前軍廣島ニ次ス遂ニ兵ヲ進メテ大ニ敗キシ又屢大野  
 秘渡ノ際ニ戰フ而メ東軍終ニ利アラス

國防誌

國防國ハ其形ヲ破レタル幾岐ニ似タリ東海ト安藝トニモシ北石見ニ  
 等シ西北長門ニ接ス之ヲ岐ノ輪廓トス南方一帶水土屈曲ス之ヲ岐端  
 ノ敗處トス國中六郡アリ境上山多シ東方安藝ノ界ヲ岩國トス西北ニ  
 水台流、率リ赤曲ノ其東ニ落ツ之ヲ岩國川トス橋アリ錦帶橋ト云フ

南ニ岩國山アリ其南方ノ小半島ヲ室津ト云フ是ヨリ西ニ當リテ一岬  
 岬アリ赤石岬ト云フ岬南側傳ノ東ニ向フ其西海上ニ島アリ笠戸島ト  
 云フ島ニ近キ隅地ヲ大島トス隅將ノ地舟運スベシ其次ヲ徳山トスル  
 其西ニ川アリ川岬川ト云フ是ヨリ地水相消長ス而メ其西又小岬アリ  
 中關ト云フ次ニ小灣アリ佐渡川北方ヨリ來リ灣ニ入ル其西海上ヲ大  
 海浦ト云フ其次又内灣ヲ擁ス是ヲ長門ノ境トス其東北ニ當リテ山口  
 アリ教水北際ヲ統リ合流ノ南内灣ニ落ツ又属島故ナリ岩國ノ東南  
 ニ一大島アリ地形東北ニ狹ク西南ニ濶シ大島ト云フ其西ニ一島アリ  
 長島ト云フ形ヲ以テ名シ其北濱ヲ上關トス是其尤七ノ大ナル者歟及  
 比紫津ヲ産ス

足利氏ノ時大内氏ノ封國タリ義興ニ至リ前將軍足利義尹ヲ奉メ京  
 ニ入り政ヲ執ル丁十餘年迷ニ罷歸ル義隆ニ至リ陶晴賢及シ山口城

ヲ攻ム義隆長門ニ奔リ迷ニ自殺ス晴賢因テ其地ヲ奪フ後毛利元就  
 ノ誅スル所トナリ國毛利氏ニ属ス

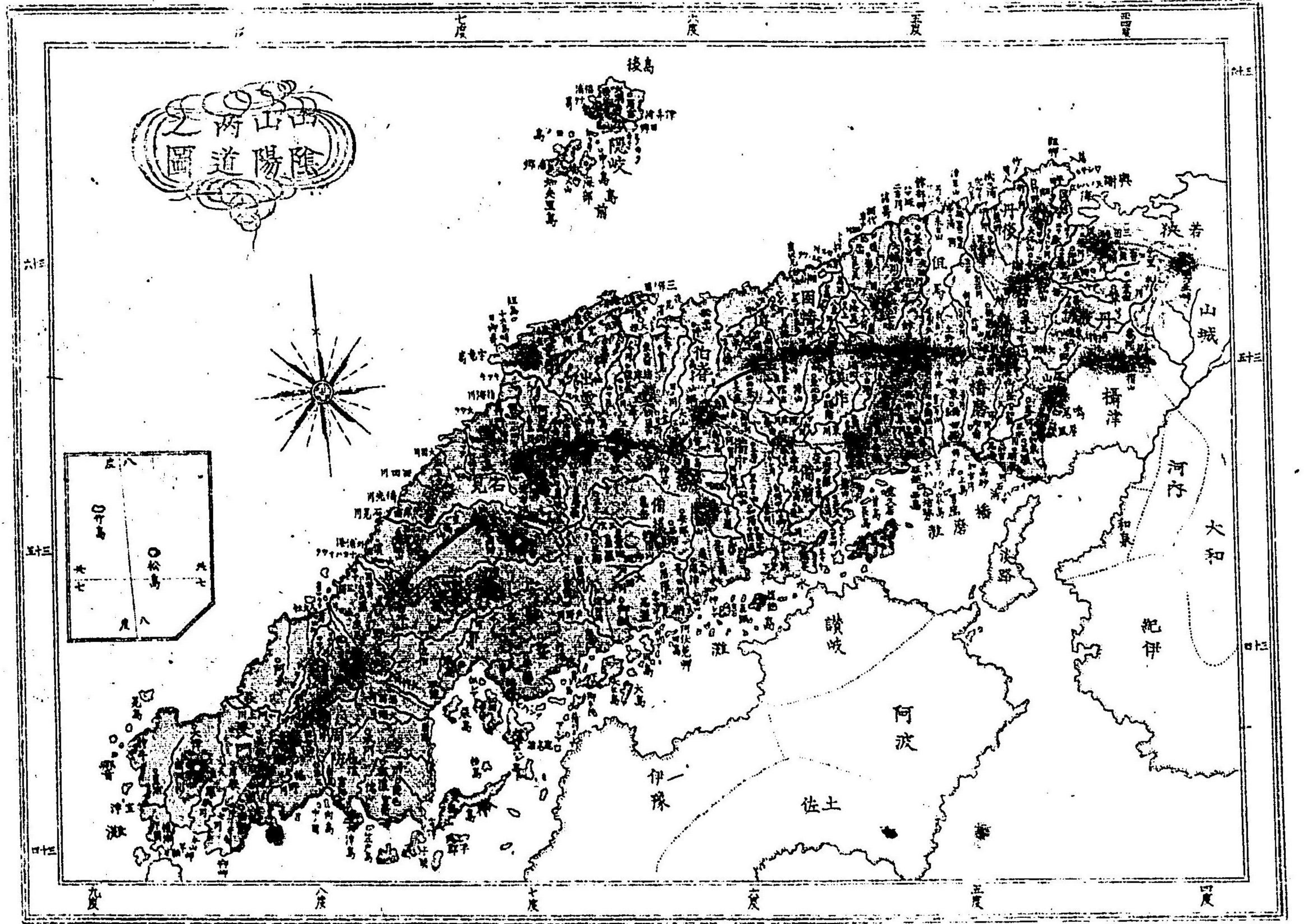
長門誌

長門國ハ地形長ヨリ坤ニ長ク乾ヨリ異ニ短シ東石見ニ接シ東南隅  
 ニ接シ其他皆海ヲ環ス北ヨリ西ニ至リテ岬灣相錯ハリ指屈スルニ勝  
 ヘス而メ西南ノ地海中ニ行出入南方周防ニ近キ所小岬ヲ伸出ス之  
 末岬ト云フ廣瀬川其東ニ入ル岬ノ西行出ノ地ト海灣ヲ擁シ有帆下津  
 吉田等ノ水之ニ入ル行地ノ頭ヲ下關トス南九州ト封シ海峡ヲナス峽  
 ノ北ニ島アリ引島ト云フ此際ハ即チ源廷尉平族ヲ藏スノ處ナリ銀沙  
 落日無玉氣血戰餘聲有怒潮ト此詩以テ之ニ當ツヘシ行地ノ濱西ニ轉  
 ノ小流アリ石津川ト云フ是ヨリ北ニ轉メ地大ニ闊ク上ノ二山一ヲ三  
 山ト云ヒ一ヲ甲山ト云フ其東北長岬西ニ向フテ出ツ向津ト云フ中ハ



即、海峽ナリ東野川以下欽水之ニ流注ス其東地勢出入一ナラス又河  
又山而ノ其海面大小島嶼甚ク多シ一水東南ヨリ欽流ヲ會メ西北ニ流  
レ分レテニトナリ海ニ注ク一ヲ大橋川ト云ヒ一ヲ大原川ト云フ其中  
間海濱ヲ沃トス傍ニ港アリ其東北ニ大井川アリ是ヨリ東地勢稍張ル  
其源ニ又港アリ下流ト云フ其東ニ田万川アリ以テ石見ノ取ニ接ス國  
中入道タク六郡ニ分割ス武及ヒ海膽ヲ産ス

又海中平島ハ島ニ敗レ逃レテ至ル已ニ源義經舟師ヲ率半テ至リ  
大ニ海中ニ戰フ平軍敗績シ平知盛以下諸將皆之ニ死ス平氏滅フ安  
徳帝海ヲ踏テ崩ス永仁中北條氏族人ヲ此地ニ置キ中國ヲ監ス之ヲ  
長門探題ト云フ後醍醐帝ノ時探題官軍ニ降ル足利氏ノ初大内氏ノ  
封内タリ義隆ニ至リ逆臣陶晴賢之ヲ山口ニ襲フ義隆走リテ此地ニ  
至リ終ニ自殺ス晴賢乃チ之ヲ奪フ後晴賢誅ニ伏シ國來ク毛利氏ニ



有タリ徳川氏ノ季ニ毛利氏撥東ノ詔ヲ奉シ外船ヲ赤馬関ニ砲撃ス  
 己ニメ亞墨利加船來討シ其砲臺ヲ毀ツ後各国兵艦又來リ攻山軍支  
 フル能ハス遂ニ之ト和ス徳川氏大軍ヲ發メ其關ヲ犯スノ罪ヲ責ム  
 毛利氏ノ軍四境ヲ穿リ東軍ト戦フ東軍終ニ其境ニ入ル能ス

南海道總論

南海道ハ我國ノ南方ニ在リ東ハ畿内及ヒ東海道ニ接メ別ニ一區ヲナス之ヲ紀伊トス其淡路ハ内海中ノ巨島東畿内ト海湾ヲ隔ツ其四圍ハ東ハ紀伊北ハ山陽西ハ九國ト皆海水ヲ隔テ、相對ス而シテ南ハ給テ太平洋ニ面ス全道六國斷續メ東西ニ亘リ實ニ五縣五十一郡ヲ跨有ス魚塩木料ノ利尤モ多シ紀伊ハ果實水族餘リアリ而シテ米穀足ラズ東方ニ熊野一帯ノ山險アリ而シテ西方亦羊腸多シ和歌山近旁地形猶坦北ニ一山一水アリ以テ一方ヲ防クニ足ル但地形南隔ニ斗絶スルヲ以テ其國獨リ立チ難シトス根柢高野ノ大關ニ敵セサル戰ハスメ其然ルヲ知ル淡路ハ沿海山ヲ環シ中却リテ平夷其紀伊播磨及ヒ阿波ニ對スル處皆海門ノ一大要口四國ノ地山嶺ヲ分チテ南北ニ隔ス故ニ南北諸道大率馬道獸逕而シテ海道ノ道ハ亦メ曾テ大險アラサルナリ河ノ長ク且大ナ

ル者皆野川ヲ以テ第一トス其諸山ハ皆泉脈アリ故チ以テ田畝多ク山腹ニ在リ志度ト多度津ハ著名ノ港平氏ノ此際ニ據ル者ハ其畿内山陽ヲ獲セント欲スルヲ以テナリ其之ヲ失フモノハ地理ノ不便ニ非ルナリ乃チ之ヲ守ラシムルニ由ルノ三其伊豫ハ土居得能氏アリテ起リ新田大館氏アリテ七フ是其地ノ利不利アルニ非ス時ニ利不利アルヲ以テナリ細川氏以降三好松永皆四國ノ兵ヲ以テ京畿ニ入ル者ハ此地能ク北方ヲ制スヘキニ非ス章ニ東西諸道梗塞シ當時京師ノ諸將皆孤弱ナルヲ以テノ三故ニ右府大關尋テ興ルニ及ヒテ長曾我部氏ノ梟雄ヲ以テ猶其レノ削弱スル所タリ豈地勢ノ然ラシムルニ非ズヤ

紀伊誌

紀伊ノ國ハ全國一大圭角ヲナシテ南海ニ斗出シ北方亦大和ノ大圭角ヲ受ケ西北河内和泉ニ接シ東北一頭ヲ伊勢ニ容ル西地稍大東地稍細形

千磨ノ如シ國中七郡アリ到ル處皆山河内ノ境ニ紀伊見峠アリ和泉ノ  
 境ニ大久保峠根来山アリ紀川其南ニ横流シ海ニ入ル即チ吉野川ノ下  
 流ナリ河南ニ大津峠梨木峠高野山アリ海ニ近キ處和歌山アリ其南灣  
 ヲ和歌浦ト云フ灣中至リテ淺シ其處葦ヲ繞リテ一碧ヲ弄スル者ハ則  
 チ稻フ所也雄波カ其南藤白峠有田川方寸峠湯淺川鹿脊山安徳山日高  
 川ヲ經テ田邊アリ海ニ臨メリ其東ニ當リテ汐見峠大坂峠妻夫坂岩上  
 峠アリ以テ東熊野ニ連ル熊野那智山ノ中一大飛瀑アリ飛流直下其幾  
 ナ尺ナルヲ知ラズ海上ヨリ遊ニ之ヲ望ムニ素練ヲ懸ケルカ如シト云  
 フ田邊ヨリ海ニ浴フテ富田安宅ニ水ヲ絶リ汐見寺ニ至ル之ヲ國ノ極  
 南頭角トス東南ニ在ル島ヲ大嶋ト云フ是ヨリ地勢東北ニ轉入北山川  
 大和ヨリ來リ國境ヲ曲縫シ音無川ト合メ遂ニ東南海ニ入ル河門ノ南  
 ヲ新宮トス此際ヨリ伊勢ノ界ニ至ル一帶連山絶テ號メ熊野ト云フ而

ノ阿田和川市木川志原川并土川以下小河數十アリ皆東海ニ朝ス凡ソ  
 此國ノ海濱灣港甚々多レ俗之ヲ九十九浦ト云フ産スル所蜜柑漆器白  
 蜜材料及口鯨魚アリ

孝靈帝ノ時秦人徐福此地ニ來ル南北朝ノ時足利氏ノ兵南軍ト龍門  
 山銀岳等ノ處ニ戰フテ之ニ勝ツ後南軍土九城ニ據ル義滿大兵ヲ發  
 シ之ヲ攻ム南軍走ル尋テ諸城ヲ陷ル山名義理功アルヲ以テ此地ニ  
 封セラルル已ニソ大内義弘ニ與テ義弘敗後島小藩家ノ領スル所ナリ  
 豊臣氏ニ至リ根来寺ノ猖獗ヲ怒リ來リ征ス諸藩潰ニ並ニ雜賀熊野  
 ヲ攻テ皆之ヲ平ク閑原戰後淺野氏之ヲ領ス後徳川氏之ヲ安藝ニ徙  
 封レ頼宣ヲ封ス頼宣ハ家康ノ子ナリ

淡路誌

淡路國ハ南北ニ長ク東西ニ短ク而シ北地ハ狭ク南北ハ寬ク形ヲ轉

如レ前播磨摂津ヲ指レ底河内和泉ニ遙對シ踵後紀伊ニ迫近レ河口河波  
 頭岐ニ向テ海中ノ一孤島ト云フト雖其地處ヲ得ルヲ以テ之ヲ海門  
 ノ戸トス國中ニ郡アリ四圍山ヲ環ス其播磨ニ向テ處ヲ岩屋ト云フ  
 其西一角ヲ松帆崎ト云フ南ニ伊弉諾尊ノ社アリ其南海濱一帶播磨灘  
 ニ面ス又南一地角ヲ起出シ海水矩板ヲナス三原川東南諸水ヲ合メ之  
 ニ入ル地角ヨリノ而シ南而シ東埃ノ嶺ト相應ス其半ニ福良港アリ是  
 ノヨリ一二角ヲ經テ東南海邊一直線以テ紀伊ニ迫レ底後ニ港アリ由良  
 ト云フ其北ヲ須木トス又北地勢稍少退ケリ是ヲ韓成ノ半トス國ノ中  
 央ニ先山アリ大古伊弉諾伊弉册ニ尊始メテ此國ニ降リ玉フト云フヲ  
 以テ國俗自ラ淳古ヲ尊フト云フ三原郡ニ淳仁帝ノ陵アリ産スル所茶  
 絲海簾陶器アリ  
 惠美押勝ノ乱ニ孝謙上皇淳仁帝ヲ廢メ此地ニ遷ス防衛甚々嚴ナリ

帝憤怒ニ勝ヘス宮ヲ逃ル果サスノ崩ス足利氏ノ時細川氏ノ領スル  
 天々リ後將軍義植細川高國ト推ハス此地ニ至ル已ニ河波ニ遙  
 テ卒ス義植ハ即チ義尹ナリ

河波誌

河波國八十郡アリ壯讃岐ニ界レ西伊豫士佐ニ斜接シ南ト東ト共ニ海  
 波ヲ繞ラズ地形斜角ヲナレ西北ニ伸テ東南ニ縮ム國境山多シ伊豫ノ  
 境上ニ夏峯アリ土佐ノ境上山ニ劍峯アリ海ニ鞠港アリ其東ニ海部川  
 アリ又東ニ日和佐川アリ西境ヨリ發水シ東ニ流レテ此ニ入ル次ヲ由  
 岐港トス其東地角東南ニ出ソ鞠ヨリ此ニ至リ迄是ヲ國ノ南濱トス東  
 ニ轉シ小岬アリ椿岬ト云フ是ヨリ地勢稍殺ク數小河アリ東海ニ注シ  
 其北海灣アリ東ニ向テ灣上ヲ徳島トス南方ニ當リテ大龍寺山アリ西  
 南ニ當リテ燒山寺山アリ一ニ小流此際ヨリ來リ徳島ノ南ヨリ灣ニ入

ル吉野川遠ク土佐ヨリ來リ伊豫川ヲ合テ國ノ北邊ヲ通過シ分合數回  
遂ニ多支ニ分レテ徳島ノ北ニ落ソ湾ノ北又一角ヲ出ス是ヲ東北隅ト  
ス前ニ犬毛山高山等ノ島アリ其淡路トノ海峡甚ク狹レ而シテ其内海  
水盤旋ノ兩落添ヲナス行舟之ヲ觸ル、時ハ萬ニ一モ脱スル能ハヌ誠  
ニ我國第一ノ險峽之ヲ東海ノ尾閘ト云フモ誰カ之ヲ信セザランヤ産  
スル所銅藍塩烟アリ

南北朝ノ季細川頼之此國ニ居リ以テ四國ヲ總督ス其子孫世々京ニ  
在リ管領トナル頼之ノ弟詮春滿之ノ子孫此地及ヒ讃岐ノ間ニ在リ  
戰國ノ時國ニ好氏ニ屬ス後長曾我部元雅土佐ヨリ來リ伐ツ細川三  
好中富川ニ戰フテ大ニ敗ル國長曾我部氏ニ屬ス己ニノ豊臣氏元親  
ヲ征ス元親降ル因テ蜂須賀政家ヲ此地ニ封ス

讃岐誌

讃岐國ハ南阿波ニ正界シ西南伊豫ニ接リ其他三面大海ヲ張テ海ニ臨  
ム而メ海濱岬角甚メ多シ地形敗荷ノ半ノ如シ國中十一郡アリ山多シ  
水多シ極西ニ岡田川本山川アリ其東長岬アリ箱崎ト云フ岬ノ東地勢  
稍退ク其海濱良港アリ多度津ト云フ大市アリ九龜ト云フ其南方ニ象  
頭山アリ山ノ東ニ清濃池アリ是ヨリ出ル水北流メ九龜ノ西ニ落ッ之  
原田川ト云フ九龜ノ南ニ當リテ山アリ飯野山ト云フ東ニ當リテ二  
水アリ二村川ト云ヒ府中川ト云フ皆南境ヨリ流レテ海ニ注ク河上ニ  
越松山アリ則チ崇徳帝ヲ葬ルノ處ナリ此方ニ岬アリ及生崎ト云フ郷  
東川南境ヨリ來リ其東方ニ入ル又東海邊ヲ高松トス國ノ身半ニ當レ  
リ是ヨリ三四水ヲ經テ長岬西向フテ鈎出ス岬頭ヲ八島トスコレ則チ  
源隲州平軍ヲ破ルノ處兵畧ハ人ニ由ルト云フト雖モ東風不與周印便  
焉ソ此ノ大勝利ヲ取ヲ得ンヤ八島ノ東ニ五劍山アリ山巔刻ヲ植ルカ如

シ因テ以テ名ノ或ハ之ヲ八粟山ト云フ其麓ニ港アリ志度ト云フ鴨部川共東ヨリ海ニ入ル而メ此際海濱地勢漸ク東ニ轉ス其東津田横内以下諸水アリ以テ南阿波ニ接ス此國西伊豫ヲ連テテ中國ト海ヲ隔ツ其中大小島嶼甚布星列ス俗之ヲ八百八島ト云フ其大ナルモノ志度ノ北ニ小豆島アリ九龜ノ北ニ塩飽島アリ七島ニ分ツ鳥人皆水ヲ郷トシ舟ヲ家トスト云フ産スル瀝玉石木綿海參アリ

保元ノ亂ニ後白河帝崇徳上皇ヲ此地ニ徙ス數年ヲ經テ崩ス壽永中平氏京師ヲ出テ九國ニ奔リ又來リテ八島ニ據リ南海山陽ヲ徇ヘテ根津ニ據ル己ニメ大ニ敗レ又八島ニ還シ平氏ノ不意ニ源義経遠ニ至リ火ヲ高松ニ縱テ鼓噪メ來ル平氏犬ニ駭キ海ニ泛ヒテ逃ル足利氏ノ時細川氏ニ属ス戰國ノ時三好氏長曾我部氏相尋テ之ヲ奪フ豊臣秀吉長曾我部氏ヲ破ルニ及ヒテ此地ヲ削リ仙石秀久ヲ封ス征西

ノ役秀久秀吉ノ節度ニ違ヒ封トテ收メラル尋テ尾藤知定ヲ封ス幾ハツモ無メ又之ヲ收メ生駒親正ヲ封ス徳川氏ノ時生駒氏罪アリ國除カル

伊豫誌

伊豫國ハ東南一帯土佐ノ膏ヲ受ケ東北僅ニ阿波讃岐ニ接ス北ヨリ西ニ至リテ総テ海ヲ繞ラス而メ岬角交出ソ地形民坤ニ長ク異乾ニ短シ而メ西南ニ至リテ尤モ狹シトス國中十四郡アリ山多シ土佐ノ界東方ニ篠嶺アリ石槌山アリ中間ニ中津明神山アリ唐岩嶺アリ西ニ天赦峯アリ海濱東讃岐ノ指岬ト大湾ヲナス湾口甚ク闊シ其當中ニ川江川野田川アリ其西ニ西條小松アリ西条ノ西ニ過ル水ヲ加茂川ト云ヒ小松ノ西ニ過ル水ヲ玉野江川ト云フ其西北湾ノ盡ル處ヲ今治トス小岬アリテ鉤出ス宮崎ト云フ是ヨリ初間高濱ノ二角ヲ經テ地勢一轉シ西北

ニ向フテ大弓ヲ受ク弓ノ下階ニ逃キ所ヲ松山ト云フ其東北ニ温泉アリ道後湯ト云フ重倍川其西子過テ海ニ入ル其海中孤山屹立スコレヲ伊豫小富士ト云フ弓己ニ盡テ長岬西南ニ奪出入形ヲ象鼻ノ如シ三崎ト云フ西畫後ヲ指シ南海灣ヲ擁ス岬ノ半ニ港アリ三机港ト云フロ北ニ向フ岬ノ本ヲ大洲トス新海ニ速カル脇川南方ヨリ來リ其東ヲ過テ岬ノ本ヨリ北海ニ入ル大洲ノ南ニ當リテ菅生山アリ國ノ中間ニ位ス大洲ノ西南戌土相狂虚入是ヨリ國ノ極南ニ至ルマテ四長岬アリ故ニ其間亦三灣アリ第一灣ノ當中ヲ宇和島トス其後ニ吉野川アリ南土佐ニ注ク九ノ此國ノ海上小嶼甚々多ク白黒碇子ヲ挑スルカ如シ産スル所紙鹽及ヒ木綿アリ

天慶中前伊豫藤原純友平將門ニ應シ南海山陽ニ道ヲ却涼入明年賊軍敗レ純友九州ニ奔ル己ニメ復來リ遂ニ誅セラル後醍醐帝ノ時

河野氏ノ族土居通治得能達言我兵ヲ起シ長門探題ト屋岡ニ戰フテ之ヲ敗ル南北朝ノ時大館氏明兵ヲ擄ケ世田ニ據ル會聯屋我助來リ共ニ四圍ヲ拘フ兵勢大ニ振フ我助卒ス細川頼春來リ攻ム氏明之ニ死ス後西園寺氏難ヲ此地ニ避ケ遂ニ國司トナル公廣ニ至リ河野通直宇都宮豊綱屠兵争ス毛利氏通直ヲ拔ク長曾我部氏豊綱ヲ拔ク而ノ毛利氏ノ兵連ニ教城ヲ拔ク豊綱降ル彼長曾我部氏來討ス西園寺氏成キヲ行フ而メ遂ニ其取ル所トナル豊臣氏長曾我部氏ヲ降スニ及ヒテ小早川隆景ニ共フ己ニメ入 討ス関原 軍起ルニ及ヒテ加藤忠明毛利氏ノ軍ヲ撃ツ軍手キテ後徳川氏加藤藤堂ニ氏ヲ封ス魯ハク七無メ謀 氏ヲ伊賀伊賀ニ徙ス

土佐誌

土佐國ハ形ナ鐘ノ頭ノ如シ背ヲ西北伊豫ニ接シ背後ヲ東北河波ニ接

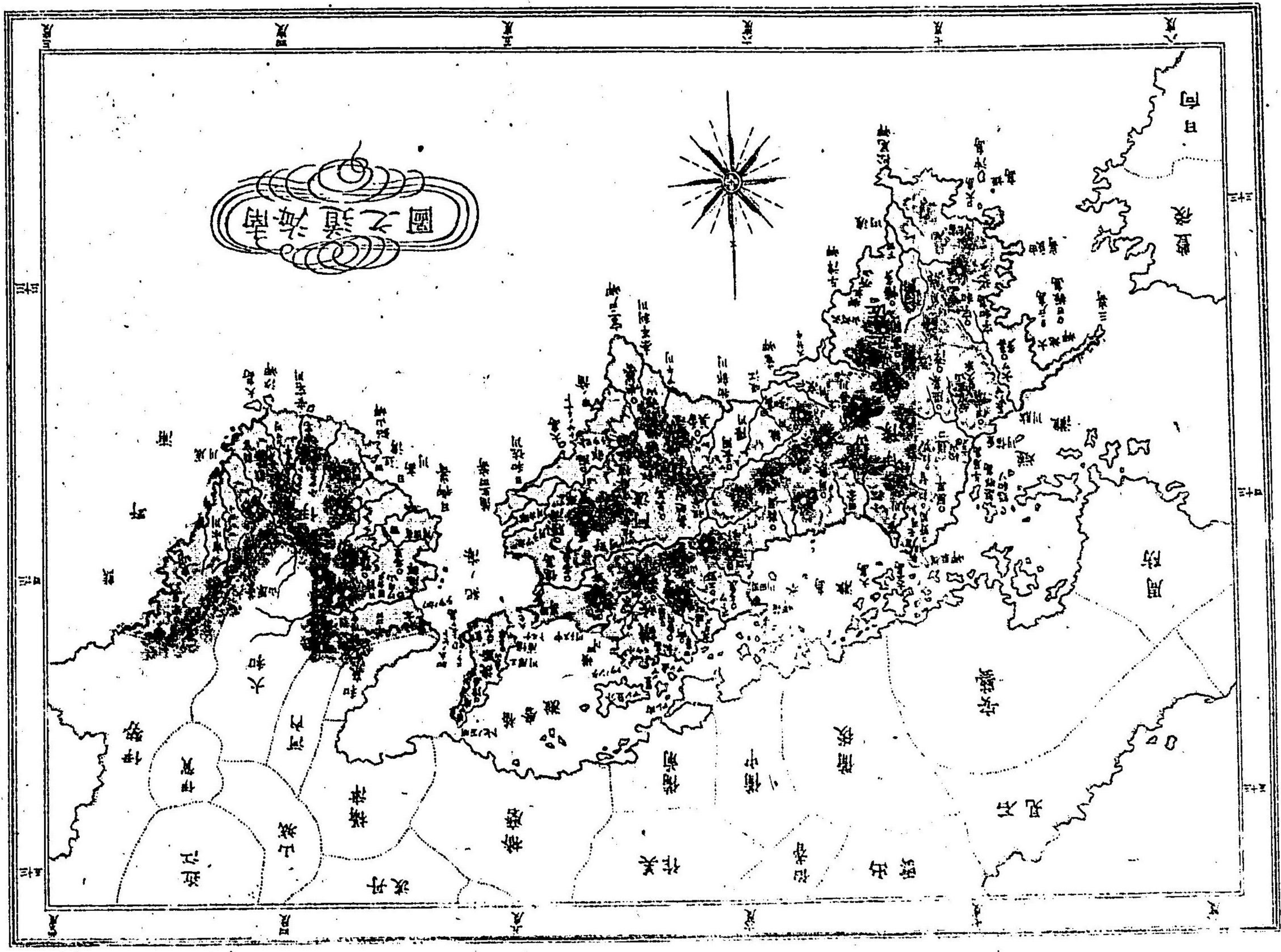


ス而ノ東ト並ト俱ニ南海ニ向フ國中七郡アリ山岳險峻東南隅ニ野狼  
 山アリ阿波ニ近キ野橋山アリ伊豫ノ界ニ白髮山矢野山アリ其南ニ津  
 野山羽山アリ以テ南添<sup>ス</sup>蜘蛛山ニ連ナル其他中央ニ横倉山アリ西南ニ雷  
 リテ波山アリ最モ西南ニ月山アリ國中ノ水阿波ノ境ヨリ發スル者一  
 ハ野根山ノ東ヲ過テ南海ニ入ル其他奈半利井尾吾安蟹物部等ノ水皆  
 西南ヲ指テ海ニ赴ク鏡川北ヨリシ高知ヲ四リテ内海ニ注ク吉野川其  
 北境ニ發水シ東ニ流レテ阿波ニ入ル高知ノ西ニ淀川アリ伊豫ヨリ  
 發源シ横倉山ノ下ヲ過ギ國中ヲ横截シ海ニ入ル之ヲ國中第一ノ大河  
 トス其西南一帶ニ二三小流アリ極西南吉野川ノ下流伊豫ヨリ来リ無  
 数ノ細流ヲ合ヒテ東南海ニ注ク是ヲ四万十川ト云フ國中ノ港阿波ニ  
 近キ龜甲<sup>カウ</sup>瀨アリ東ニ向フ國中問海水東南ヨリ地中ニ入リ一里餘其  
 盡頭ハ即チ高知ナリ南海濱ニ須野佐賀下田大小諸港アリ此ニ繞リテ

清水港天地<sup>チ</sup>淺等アリ國中ノ岬角室津崎東南隅ヨリ伸出ス一二之ヲ東  
 寺島ト云フ西南隅ノ足摺岬ト相對ス足摺岬一ニ西島ト云フ其他<sup>ニ</sup>淡  
 川ノ南ニ龍崎<sup>リウキ</sup>アリ又南ニ興津崎アリ教小港ヲ合セテ總テ又ノ船ノ  
 如シ高知ノ東南海濱江沙席ノ如シ青松備比スルヲ十餘里土佐日記ニ  
 云ク斯<sup>カ</sup>テ宇田ノ松原ヲ行過ク其松ノ數幾<sup>カ</sup>若干數十年<sup>カ</sup>經タリト知ラス  
 ト蓋シ是ヲ云フナリ産スル野瑪瑙<sup>ノ</sup>珊瑚<sup>ノ</sup>肉<sup>ノ</sup>暗銅<sup>ノ</sup>貝<sup>ノ</sup>茶<sup>ノ</sup>紙<sup>ノ</sup>材<sup>ノ</sup>木<sup>ノ</sup>及ヒ木炭石  
 炭アリ

天武帝ノ時國中大夏田園五十餘萬頃陪リテ海トナル青泉中平宗盛  
 人ヲノ流人希義ヲ殺サシム希義ハ賴朝ノ弟ナリ東久ノ乱ニ帝海島  
 ニ越在ス五御門帝獨リ京ニ留ルニ忍玉ハス此地ニ幸ス後阿波ニテ  
 崩ス足利氏ノ時國細川氏ニ屬ス大明中一條房家乱ヲ此地ニ避ケ逃  
 ニ國司トナル七老アリ其一ヲ長曾我部元秀トス元秀專横六教ノ殺

ス所トナル故十年ヲ歴テ其孫元親諸族ヲ伐テ其ハ七ホシ或ハ降シ  
又其主ヲ逐テ國司トナリ遂ニ四國ヲ兼佐ス豊臣氏元親ヲ征スルニ  
及ヒテ其三國ヲ削ル盛親ニ至リ石田三成ヲ援ケ東軍ト関原ニ戰フ  
テ敗ル盛親降ル後故アリテ封ヲ授メラル再テ山内一豊之ヲ領ス



西海道総論

西海道ハ我國ノ西方ニ位シ東ハ中國四國ト海峡ヲ隔テ南ハ太平洋ニ  
 抵リ西北日本海ニ枕山北ヨリ南ニ向フテ九國綴合シ實ニ九縣九十四  
 郡ヲ總有ス魚塩米粟茶烟ノ利甚ク大全地古昔筑紫ト稱シ或ハ之ヲ鎮  
 西ト稱ス後世獨リ筑前地方ヲ以テ筑紫ト云フ其地遐遠ニメ反服常ナ  
 キヲ以テ古時大宰府ヲ置テ之ヲ鈴制ス其府筑前ニ在ルユエンノモノ  
 ハ意ヲニ當時博多ノ港外船渠集ノ處而メ其中國ニ通スルノ道近クメ  
 且美ナルヲ以テナリ故ニ後世探題亦皆之ニ居ル弘安ノ大捷亦之ヲ助  
 ケトナル無ニ非サルナリ筑後筑前ハ地形垣平中間筑後川ノ大流アリ  
 菴池氏ノ敵ヲ此ニ破ル蓋シ地形ヲ熟知スルノ故長崎ハ古來外船ノ至  
 ル處其地ノ繁盛固ヨリ各地小港ノ及フ所ニ非ス肥後ノ地高亢平潤而  
 メ河流亦大鎮西公ノ此國ニ據ル豈其地理ノ宜キヲ見ルカ後世菴池氏

之ヲ以テ室町將軍ニ抗ス又尙ソ雄ナル島津龍造寺氏ノ此國ヲ軍フ又  
其要地クルヲ以テナリ近歲ニ至リ鎮臺ヲ熊本ニ設ク亦唯地形ノ便ニ  
由ルノ三阿蘇山温泉嶽櫻島曾テ一タヒ灰石ヲ噴ス其レ預メ戒メリル  
可シヤ豊後ハ山河險多シ大友氏屬城ノカニ依リ置ニ亡ヒサル者ハ其  
子ノ孫仲謀ニ肖サルヲ以テナリ日向亦一大厚廣ノ地猶西岸ノ肥後  
ルカ如シ伊東氏ノ一起一倒皆其人賢愚ノ致ス所固ヨリ地勢ノ利害ニ  
非サルトリ而メ薩摩大隅皆南邊ニ僻在シ地利宜キヲ得ルト云フ可ラ  
ス而メ一旦其土ヲ廣ムルニエシノ者ハ伊東大友經嗣皆豚犬肥後ノ地  
定主ナシ龍伯眼中已ニ人ナキヲ以テナリ而メ大間ノ船畧ヲ以テ土ヲ  
卷テ來リ攻ム其面縛降ヲ容サル能ハサル者ハ又肥後豊後早ノ已ニ東  
ニ屬スルヲ以テナリ琉球ハ絶海ノ嶋嶼慶長以來源ヤトシテ來朝シ以  
テ不侵不叛ノ臣タリ之ヲ神州ノ右臂ト云フモ豈不可ナランヤ

筑前誌

筑前國ハ地形驪馬ノ首ノ如シ耳ヨリ面ニ至リテ西南肥前豊後ニ界シ  
口頭豊後ニ交ハリ東豊前ノ矩形ヲ受テ頓ト喉トヲ形リ北山岬ヲ抽ン  
テ、頸ト鬚トヲ分ナ以テ耳後ニ至ル國中十五郡アリ而メ山多シ口頭  
ニ白木山三日月寺ノ古城址數處アリ又朝倉山アリ眼鼻ノ間ニ秋月ア  
リ此際諸水合メ北流シ岡港ニ注ク之ヲ蘆屋川ト云フ岡港ノ内小水ア  
リ東南境ノ海湾ニ通ス此際海濱長門ト相對ス其西小岬ヲ鐘崎ト云フ  
即チ頸ト鬚トヲ分ツ處ナリ是ヨリ地勢西ニ一轉ス田島川東南ヨリ來  
リ岬西ニ落ツ河西地稍出ツ而メ其西灣港ヲナス西南岸ハ即チ鈎岬ノ  
小岬ナリ岬本細ク末大志賀ト名ノ其南安水地ヲ食ニ半月形ヲナス其  
南岸當中ハ即チ福岡ナリ其東岸ニ浴フテ埽多箱崎香椎アリ是ヨリ東  
南ニ當リテ大宰府アリ府ノ北ト東ニ龜門山頭巾山米山寒水峠アリ南